

教 育 要 覧

平 成 2 7 年 度



立川市・大町市姉妹都市中学生サミット

大町市教育委員会



市 章

制定：昭和29年12月21日

「大町市」の頭文字「大」の字を図案化したもの。中央の山型は当市が北アルプスの玄関口であり、山岳観光都市であることを披歴し、さらに将来の発展と繁栄を燕が上昇する姿に託しています。

大町市民憲章

- 1 厳しい風雪に耐えてたくましく
心優しく生きる市民です
- 2 麗しい風土と歴史をもち
土の香り高い文化を築く市民です
- 3 豊かな自然と環境を守り育て
教養と創造を重んじる市民です
- 4 つねに自治に励み
役割と責任を持ち合う市民です
- 5 郷土を愛し自己をみがき
未来をつくる幸せを喜び合う市民です

昭和52年7月2日



目 次

I	概 要	1
1	大町市の沿革.....	2
2	位置と地勢.....	3
3	人口と世帯数.....	4
4	教育委員、理事者.....	5
5	関係委員会等.....	6
6	教育委員会の組織.....	8
7	教育委員の事務分掌.....	9
8	教育予算.....	12
9	教育行政のあゆみ.....	14
II	学 校 教 育	27
1	市内小中学校.....	29
2	学校施設.....	48
3	学校別児童生徒及び学級数.....	49
4	小中学校教職員数.....	51
5	外国人英語指導助手.....	52
6	通学区.....	52
7	小規模特認校制度.....	53
8	就学相談委員会取扱件数.....	53
9	就学援助.....	54
10	中学校卒業後の状況.....	56
11	奨 学 金.....	58
12	私学振興.....	59
13	教員住宅.....	59
14	コミュニティスクール.....	60
15	I C T活用事業.....	61
16	キャリア教育.....	62
17	中間教室.....	63
18	いじめ防止対策.....	64
19	児童・生徒の家庭における生活習慣への取り組み.....	67
20	通学の安全確保に関する取り組み.....	68
21	学校給食.....	70

Ⅲ	生涯学習推進と社会教育	73
1	生涯学習・社会教育.....	76
2	青少年.....	78
3	文化財.....	85
4	人権教育.....	97
5	公民館.....	102
6	図書館.....	106
7	山岳博物館.....	113
8	民族資料館.....	116
9	文化会館.....	118
10	女性未来館ピュア.....	121
11	大町市文化財センター.....	123
12	国重要文化財旧中村家住宅.....	123
13	社会教育施設一覧表.....	125
Ⅳ	社会体育	127
1	社会体育.....	128
2	勤労青少年ホーム.....	137
Ⅴ	資料集	139

I 概 要



1 大町市の沿革

今から約900年前、伊勢の内宮御陵として仁科御厨（みくりや）が設定されたとき、この地方に定着していた仁科氏は、この御厨を預かって神宮への神役を果たしつつ勢力を得、周辺地域の開発にも力を入れて領地を拡大し、皇室御陵仁科庄として支配するようになった。

仁科氏は社の館之内に居を構えていたが、鎌倉時代に入ってから大町に居館を移して広く糸魚川方面にまで勢力を張るに至った。この地方が仁科と呼ばれるようになったのは、このような歴史があつてのことである。仁科氏は早くから京都や伊勢と深いつながりをもっていた関係で、中央の進んだ文化を取り入れて、この地方の開発に力を注ぎ、仁科神明宮本殿および中門（国宝）に代表される優れた文化財を残している。

しかし今から400年前、戦国時代の終わり近くに至って、武田信玄のためその家系を絶たれた。信玄はその子盛信を遣わして仁科の名跡を継がせたが、天正10年高遠城で敗死してからまもなく松本城を回復した小笠原氏の勢力下に入ることになり、この地方の支配関係に一大変革をきたすこととなった。江戸時代、松本藩では北安曇地域に大町・池田・松川の3組を置いて治めており、大町平（大町村・高根新田村および平地区9か村）と八郷（社地区8か村）とが大町組に、常盤地区5か村が松川組に、現社地区山ノ寺村が池田組に属していた。

仁科氏が領有していた時代から、この地域には、日本海と松本方面を結ぶ糸魚川街道が通じており、海産物をはじめ多くの物資が流通し、信州における経済的交通路の一つとして重視されていた。それらの物資の集散地であつた大町は、宿駅的性格を基に商業都市として栄えた。

明治維新後、大町市域は一時松本県に属したが、明治4年筑摩県が成立するに及んでその管下に入り、同9年筑摩県が長野県の管下に移ることになった。同8年、村々の合併の議が進み、大町村と高根新田町が合併して大町村、社地区の9か村が社村、平地区の9か村が平村、常盤地区5か村が常盤村となった。同22年には町村制が実施され、昭和29年7月1日、町村合併促進法により、1町3か村の合併が成立し大町市が誕生した。

平成に入り旧合併特例法の期限が平成17年3月31日と定められたのに伴い、平成18年1月1日、大町市、八坂村、美麻村の1市2村が合併し、新「大町市」が誕生した。

2 位置と地勢

位置	東経 137° 51' 3"	北緯 36° 30' 10"
面積	565.15 k m ²	
海拔	726 m	

(測点 大町市役所)

大町市は長野県の西北部、松本平の北側に位置している。

当市一帯の地形は、東西両山地とその間に挟まれた帯状の中央低地（安曇平）で構成され、糸魚川静岡地質構造線に沿って何回か繰り返された垂直的断層によって形成された。現在の地形の原型は洪積世（約 100 万年前）に起こった陥没によって形成され、このとき木崎湖・中綱湖・青木湖のいわゆる仁科三湖も形成されたものと考えられている。

通称中山山地と呼ばれる東部山地は、第三期の水成岩（約 3,000 万年前）を基盤として、造られ、鷹狩山・霊松寺山のようになだらかな起伏を持っている。

西部山地（北アルプス一帯）は、古生代の水成岩（約 3 億年前）を基盤とした険しい地形で、槍ヶ岳をはじめとして、鹿島槍ヶ岳・針の木岳など 2,800m 以上の高峰が連なっている。日本には断層地形が非常に多いといわれているが、北アルプスはその中でも最高最大の断層地形が展開しており、市街地からこれらの雄大な地形を望むことができる。

中央低地はおう盛な堆積作用を持った高瀬川の沖積地を主体として、鹿島川・籠川・乳川などによって形成された扇状地と結合して形成された複合扇状地で、古くから活発な土地利用が行われ、市街地を含めた宅地・農地などはこの中央低地に集中している。

中央低地を流れる高瀬川の左岸には段丘や中山山地の崩土崖錐層（社方面）が発達し、これらの台地は西部山地と平野部の接点で起こった活発な堆積作用により東偏して流れる高瀬川によって区画されている。

右岸は、自然堤防となった河岸で保護され、安定した砂れきの沖積地（常盤方面）は農地・宅地などに利用されている。

これらの中央低地に挟んだ東西両山地は地形・地質のうえで対照的であり、地質時代のごく最近までは相当の地質変動があったと考えられ、現在も緩慢な地殻運動が続けられている。

3 人口と世帯数

各年10月1日現在

年次	世帯数	人口	男	女
昭和5年	3,884 <small>世帯</small>	19,073 <small>人</small>	9,302 <small>人</small>	9,771 <small>人</small>
10	4,163	21,457	11,133	10,324
15	4,567	23,711	11,669	12,042
20	5,492	28,827	13,253	15,574
25	5,749	30,508	14,118	16,390
30	6,229	30,722	14,715	16,007
35	7,508	35,151	17,745	17,406
40	7,700	32,085	15,143	16,942
45	8,122	31,899	15,181	16,718
50	8,983	33,844	16,518	17,326
55	9,605	32,966	15,981	16,985
60	9,565	32,451	15,647	16,804
平成2年	9,710	31,597	15,223	16,374
7	9,941	31,020	15,068	15,952
12	10,403	31,016	15,068	15,948
13	10,452	30,949	14,993	15,956
14	10,422	30,661	14,860	15,801
15	10,425	30,439	14,720	15,719
16	10,596	30,198	14,678	15,520
17	10,970	30,324	14,668	15,656
18	11,812	32,227	15,574	16,653
19	11,871	31,860	15,409	16,451
20	11,909	31,488	15,225	16,263
21	11,927	31,148	15,049	16,099
22	11,966	30,737	14,870	15,867
23	12,007	30,456	14,737	15,719
24	11,820	30,021	14,535	15,486
25	11,790	29,606	14,347	15,259
26	11,825	29,328	14,204	15,124
27	11,828	28,962	14,033	14,929

4 教育委員、理事者

(1) 教育委員

役職名	氏名	就任年月日	住所	備考
委員長	藤井一男	平22.2.6 再任 平26.2.6	大町市大町6912-1	委員長就任 平23.8.25
同職務代理者	川上茂代	平21.5.17 再任 平25.5.17	大町市常盤7701-9	同職務代理者就任 平23.8.25
委員	黒田幸雄	平23.8.13 再任 平27.8.12	大町市社5628-9	
委員	仲原直美	平26.9.26	大町市美麻3388-5	
教育長	荒井今朝一	平21.4.1 再任 平25.4.1	大町市平3745	教育長就任 平21.4.1

(2) 理事者

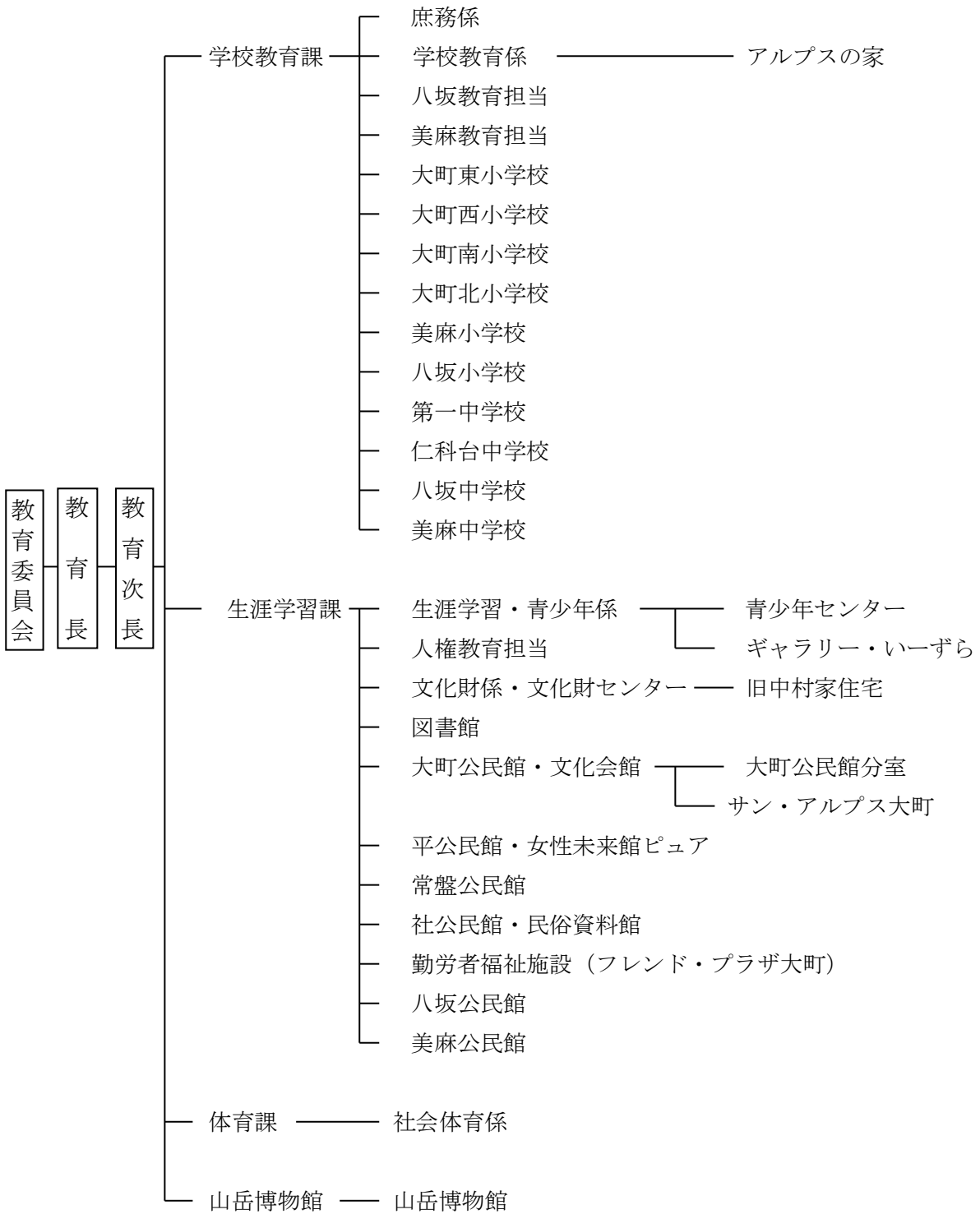
役職名	氏名	就任年月日	住所
市長	牛越徹	平18.7.14	大町市常盤5740-2
副市長	吉澤義雄	平26.8.12	大町市大町5445-7

5 関係委員会等

名 称	根 拠 条 例 等	委員定数	委員任期
教 育 支 援 委 員 会	大町市就学相談委員会設置条例	22 以内	2
学 校 評 議 員	大町市学校評議員設置要綱	8 "	1
キャリア教育推進協議会	大町市キャリア教育推進協議会設置要綱	20 "	2
I C T 教 育 推 進 委 員 会	大町市 I C T 教育推進委員会設置要綱	15 "	2
通 学 路 安 全 推 進 会 議	大町市通学路安全推進会議設置要綱		1
学 校 運 営 協 議 会	大町市学校運営協議会規則	15 以内	1
いじめ問題対策連絡協議会	大町市いじめ問題対策連絡協議会設置要綱	12 "	2
コ ミ ュ ニ テ ィ ス ク ー ル 推 進 委 員 会	コミュニティスクール推進委員会設置要綱	20 "	1
社 会 教 育 委 員	大町市社会教育委員設置条例	10 "	2
大 町 公 民 館 運 営 審 議 会	大町市公民館条例	10 "	2
平 公 民 館 運 営 審 議 会	大町市公民館条例	7 "	2
常 盤 公 民 館 運 営 審 議 会	大町市公民館条例	7 "	2
社 公 民 館 運 営 審 議 会	大町市公民館条例	7 "	2
八 坂 公 民 館 運 営 審 議 会	大町市公民館条例	7 "	2
美 麻 公 民 館 運 営 審 議 会	大町市公民館条例	7 "	2
図 書 館 協 議 会	市立大町図書館設置および管理に関する条例	7 "	2
山 岳 博 物 館 協 議 会	市立大町山岳博物館条例	15 "	2
文 化 会 館 運 営 委 員 会	大町市文化会館条例	10 "	2
女 性 未 来 館 ピ ュ ア 運 営 委 員 会	大町市女性未来館ピュア設置および管理に関する条例	8 "	2
文 化 財 保 護 審 議 会	大町市文化財保護条例	7	2
青 少 年 問 題 協 議 会	大町市青少年問題協議会条例	若干名	2
ス ポ ー ツ 推 進 審 議 会	大町市スポーツ推進審議会条例	10 "	2
ス ポ ー ツ 推 進 委 員	大町市スポーツ推進委員に関する規則	20	2
学 校 施 設 開 放 運 営 協 議 会	大町市立小・中学校の施設の開放に関する規則	15 以内	
解 放 子 ども 会 運 営 委 員 会	大町市解放子ども会運営委員会規程		1
人 権 教 育 推 進 協 議 会	大町市人権教育推進協議会規約		2
学 校 人 権 教 育 研 究 委 員 会	大町市学校人権教育研究委員会設置要綱		1

名 称	根 拠 条 例 等	委員定数	委員任期
企業人権教育推進協議会	大町市企業人権教育推進協議会会則		2
人権・同和教育推進懇談会	大町市同和教育集会所設置および管理に関する条例		2
生涯学習のまちづくり 推進本部	大町市生涯学習推進のまちづくり推進本部設置要綱		2
美術振興専門委員会	大町市附属機関に関する条例	10 以内	2
科学振興会	大町市科学振興会規約		2
八坂、美麻山村留学 推進協議会	大町市八坂・美麻山村留学推進協議会規約		2

6 教育委員会の組織



7 教育委員会の事務分掌

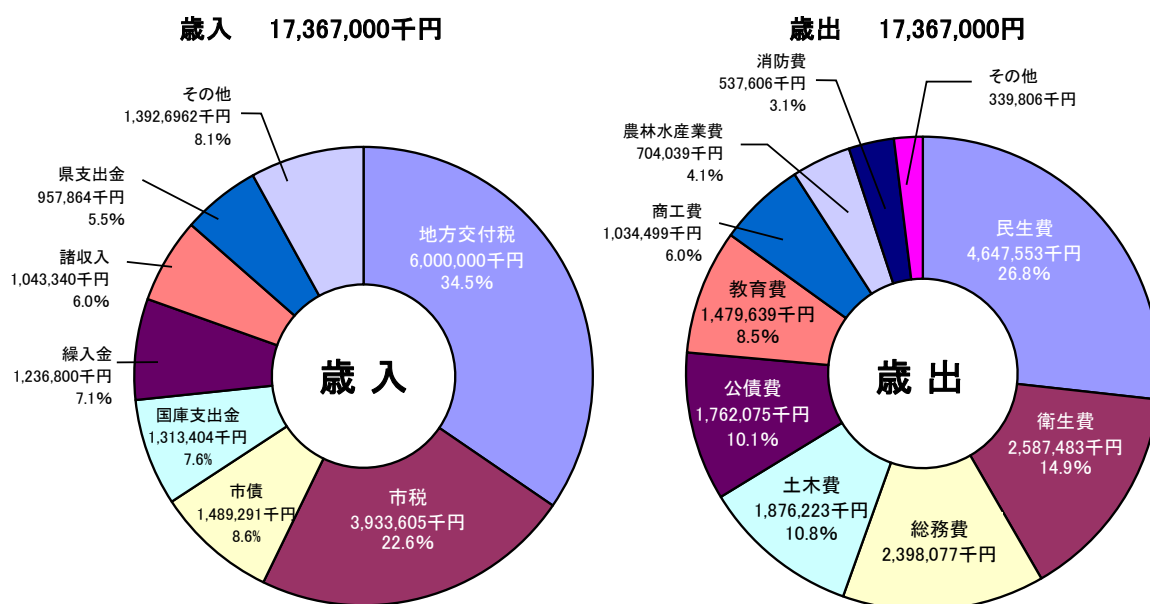
		事 務 分 掌
学校教育課	庶務係	1. 公印の管守 2. 教育委員会の会議 3. 教育委員会規則等 4. 公告式 5. 請願および陳情 6. 寄付採納 7. 栄典 8. 教育財産（整理簿） 9. 教育委員会職員の人事等 10. 公務災害 11. 県費負担教職員の人事内申等 12. 学校医等 13. 児童生徒の就学援助 14. 特別支援教育就学奨励費 15. 奨学金 16. 文書の受付及び発送 17. 公文書の公開 18. 個人情報の保護 19. 私学助成 20. 教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価 21. 児童生徒の就学 22. 教科書
	学校教育係	1. 学校の組織編制 2. 通学区域（通学路） 3. 学校施設の整備及び維持管理 4. 教育支援委員会 5. キャリア教育 6. コミュニティスクール 7. ICT教育 8. 学校運営協議会 9. いじめ問題 10. 教育課程等 11. 教科書選定及び教材備品 12. 学校災害共済 13. 学校事故報告 14. スクールバス 15. 学校給食 16. 教員住宅 17. 中間教室 20. 教育相談
	八坂教育担当	1. 各種申請書の受付及び連絡調整 2. 八坂地区小中学校との連絡調整 3. 通学対策 4. 学校給食 5. 山村留学 6. 体育施設、社会教育施設の利用受付及び維持管理 7. 学校給食共同調理場の運営
	美麻教育担当	1. 各種申請書の受付及び連絡調整 2. 美麻地区小中学校との連絡調整 3. 通学対策 4. 学校給食 5. 山村留学 6. 体育施設、社会教育施設の利用受付及び維持管理

		事 務 分 掌
生涯学習課	生涯学習 ・青少年係	1. 生涯学習推進（推進プラン） 2. 生涯学習のまちづくり推進本部 3. 社会教育計画（事業） 4. 社会教育委員 5. 社会教育関係施設・係の連絡調整 6. 社会教育関係団体の指導助言 7. コミュニティ施設整備支援 8. 大町公民館分室 9. 蔵の音楽館 10. 文化・芸術の振興 11. 美術振興専門委員会 12. ギャラリー・いーずら 13. 成人式 14. 科学振興 15. 信濃木崎夏期大学 16. エネルギー博物館 17. 青少年教育 18. 青少年問題協議会 19. 青少年センター 20. 青少年補導委員協議会 21. 青少年育成市民会議 22. 子ども会育成連絡協議会 23. 青少年関係団体 24. 読み聞かせ（読書推進） 25. 子どもセンター事業
	人権教育担当	1. 人権教育の総合的な計画及び推進 2. 人権教育関係機関、団体との連絡調整 3. 学校及び地域への人権教育 4. 解放子ども会 5. 同和教育集会所 6. 企業内の人権教育 7. 人権教育推進協議会 8. 人権問題についての対応
	文化財係	1. 文化財 2. 文化財保護審議会 3. 埋蔵文化財発掘調査 4. 文化財センター 5. 旧中村家住宅
社会教育施設	公民館	1. 公民館運営審議会 2. 分館の運営活動の援助及び指導 3. 社会教育団体の連絡調整 4. 公民館講座の推進 5. 地区別体育事業 6. 館報の発刊 7. 文化祭 8. 視聴覚教室 9. 生活改善 10. 人権教育 11. 分館長会 12. 生涯教育 13. 文化団体の育成
	図書館	1. 閲覧および貸出し 2. 資料の受入れ整理 3. 図書館協議会 4. 大北図書館協会 5. 関係グループの育成等 6. 調査相談（レファレンス） 7. 園文庫 8. 障害者サービス 9. 広報
	文化会館	1. 自主事業 2. 文化会館運営委員会 3. 文化会館ホールアシスタント 4. 芸術文化団体の育成 5. 施設の貸し出し 6. 文化事業の共催および後援
	勤労者福祉施設	1. 運営、管理

		事 務 分 掌
	女性未来館 ピ ュ ア	1. 女性未来館ピュア運営委員会 2. 職能講座 3. 家庭生活講座 4. 婦人問題講演会 5. 余暇活動の援助 6. 女性団体・サークルの育成 7. 職業・家庭生活等の相談 8. 託児業務
	民俗資料館	1. 案内窓口 2. 常設展示 3. 資料の受入れ 4. 特別展示
	八坂情報コミュニティーセンターアキツ	1. 運営、管理
体 育 課	社会体育係	1. 総合計画 2. 社会体育施設の整備および維持管理 3. 社会体育施設および学校施設の開放 4. 学校施設開放運営協議会 5. スポーツ大会等の計画、運営 6. スポーツ推進委員 7. 市民の保健、体力づくり 8. B&G海洋センター 9. スポーツ大会等の奨励および指導 10. 体育関係団体 11. スポーツ傷害保険
山岳博物館	山岳博物館	1. 案内窓口 2. 「情報シート」の販売 3. 山岳博物館協議会 4. 嘱託員会 5. 常設展示 6. 特別展 7. 調査研究 8. 資料の収集・整理・保管 9. 各種パンフレット・リーフレットの編集 10. 教育資料（手引・解説書）の作成 11. 「山と博物館」の発刊 12. 資料の受贈・受託 13. 資料の特別利用 14. 友の会等関係団体との提携 15. 付属園の動物飼育

8 教育予算

(1) 平成27年度一般会計当初予算



(単位 千円)

歳 入				歳 出			
区 分	予 算 額	構 成 比		区 分	予 算 額	構 成 比	
1 市 税	3,933,605	22.6 %		1 議 会 費	169,716	1.0 %	
2 地 方 譲 与 税	179,000	1.0		2 総 務 費	2,398,077	13.8	
3 利 子 割 交 付 金	7,000	0.0		3 民 生 費	4,647,553	26.8	
4 配 当 割 交 付 金	4,000	0.0		4 衛 生 費	2,587,483	14.9	
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	1,500	0.0		5 労 働 費	130,089	0.7	
6 地 方 消 費 税 交 付 金	400,520	2.3		6 農 林 水 産 業 費	704,039	4.1	
7 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	1,900	0.0		7 商 工 費	1,034,499	6.0	
8 自 動 車 取 得 税 交 付 金	38,000	0.2		8 土 木 費	1,876,223	10.8	
9 地 方 特 例 交 付 金	9,000	0.1		9 消 防 費	537,606	3.1	
10 地 方 交 付 税	6,000,000	34.5		10 教 育 費	1,479,639	8.5	
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	4,600	0.0		11 災 害 復 旧 費	1	0.0	
12 分 担 金 及 び 負 担 金	65,826	0.4		12 公 債 費	1,762,075	10.1	
13 使 用 料 及 び 手 数 料	394,840	2.3		13 予 備 費	40,000	0.2	
14 国 庫 支 出 金	1,313,404	7.6					
15 県 支 出 金	957,864	5.5					
16 財 産 収 入	14,508	0.1					
17 寄 付 金	72,002	0.4					
18 繰 入 金	1,236,800	7.1					
19 繰 越 金	200,000	1.2					
20 諸 収 入	1,043,340	6.0					
21 市 債	1,489,291	8.6					
歳 入 合 計	17,367,000	100.0		歳 出 合 計	17,367,000	100.0	

(2) 平成27年度教育費当初予算 (歳出)

(単位 千円)

項	目	本年度予算額
1 教育総務費		110,318
	1 教育委員会費	3,948
	2 事務局費	106,370
2 小学校費		378,800
	1 小学校管理費	210,493
	2 小学校教育振興費	168,307
3 中学校費		192,332
	1 中学校管理費	101,107
	2 中学校教育振興費	91,225
4 社会教育費		434,030
	1 社会教育総務費	91,926
	2 青少年費	5,948
	3 公民館費	147,371
	4 図書館費	38,854
	5 文化会館費	123,812
	6 文化財保護費	26,119
5 保健体育費		273,235
	1 体育振興費	58,353
	2 体育施設費	78,299
	3 学校給食費	136,583
6 山岳博物館費		90,924
教育費合計		1,479,639
5 労働費		14,690
1 労働諸費	2 労働施設費	14,690

9 教育行政のあゆみ

- 昭和 29. 5.24 大町、平村、常盤村および社村が合併の調印
7. 1 市制施行
教育委員に西沢録四郎、平林悦夫、遠藤嘉久、平林忠雄、宮田清の各氏就任
8. 8 市民登山(白馬岳 34 人)。第 1 回町民登山(鹿島槍ヶ岳 17 人)以来毎年実施 ～
9 日
- 11.24 図書館内に PTA 母親文庫北安曇配本所開設
30. 3.25 教育委員に清水敬一郎、平林悦夫、中村勝則、阿部西与、原又雄の各氏就任
- 5.27 「大町市中学校制度確立に関する意見書」を市議会で議決
- 10.15 小中学校の完全給食を実施
31. 6.18 常盤中学校の普通教室・管理棟が新築落成(工事費 1,425 万円)
8. 8 菅沢幸雄、阿部西与、平林悦夫、中村勝則、竹内周也の各氏教育委員に任命
- 8.15 市公民館、文部省から準優良公民館として表彰される
11. 8 第 1 回市文化祭
32. 1.22 大町中学校制度審議会が大町市中学校制度に関して答申
- 3.27 山岳博物館指導の大映映画「白い山脈」(動物記録映画)完成。文部省特選
8. 8 三沢巖氏教育委員に任命
11. 1 山岳博物館第二期建物、東山樋沢の現在地に落成開館(工事費 360 万円)
33. 1.13 大町市中学校制度推進特別委員会は大町地区に 1 校新設することの必要を市
議会へ報告、市議会これを了承
- 8.11 幡野茂道氏教育委員に任命
- 12.11 子ども劇場(民間)を開設
34. 2.23 中学校の4校を統合し、第一中学校(新設)・第二中学校・第三中学校とすることを
市議会で議決
- 3.12 上原遺跡を買収、復元に着手
4. 1 市立第一中学校・第二中学校・第三中学校となる。第一中学校は校舎が新築され
るまで旧平中学校と第二中学校で学習する
- 6.10 針ノ木岳周辺総合学術調査報告書を山岳博物館で出版、針ノ木自然園の基礎計
画ができる
- 7.10 天然記念物の「噴湯丘」が湯俣沢の増水で流失したことを発見
8. 8 一志五郎氏教育委員に任命
- 8.30 国宝仁科神明宮の防災工事完成(工事費 180 万円)
9. 9 第 12 回県美術展(大町公民館) ～13 日
- 10.30 国宝仁科神明宮の式年造営(工事費 120 万円)
35. 3.31 第一中学校普通教室の北校舎西側が完成
総合グラウンドの野球場完成(工事費 2,800 万円)
- 8.22 片倉甫氏教育委員に任命

- 10.15 総合グラウンドのテニスコート・バレーコート完成(工事費 105 万円、皇太子殿下ご成婚記念)
36. 3.10 上原遺跡の堅穴保存工事完成(工事費 5 万円)
第一中学校北校舎東側完成
- 3.27 皇太子殿下山岳博物館などご視察
- 3.29 第一中学校普通教室・特別教室・管理棟落成(工事費 6,140 万円)
4. 1 第一中学校新校舎に移転し、実質統合中学校となる
山岳博物館が高山植物コマクサの低地栽培に成功
- 6.15 秩父宮妃と高松宮ご夫妻が山岳博物館にご見学
12. 1 第一中学校体育館落成(工事費 2,288 万円)、(第一中学校建設工事が完了)
37. 4. 5 山岳博物館の北ア動物生態グループがライチョウの生態研究結果を学会に発表
- 4.10 皇居外苑保存会からコブハクチョウ一羽が贈られ、木崎湖畔に「白鳥の池」を造って放鳥
6. 8 第 3 回全日本学生ワルデルング(鹿島大谷原)
11. 1 山岳博物館の裏山にカモシカ園を造り、カモシカ「岳子」を放し飼い
38. 1.25 矢口亨氏教育委員に任命
- 2.12 山岳博物館が北アルプス爺ヶ岳で冬期ライチョウ調査
- 5.14 内川金市氏教育委員に任命
- 6.10 針ノ木自然園総合学術調査(黒部の観光開発と並行して、学術的資料を整備)
39. 1. 第三中学校給食室完成
- 5.13 木崎湖「白鳥の池」でコブハクチョウがふ化
- 10.19 西山千明氏、荒井録良氏教育委員に任命
40. 3. 1 山岳博物館が秩父宮記念学術賞受賞
4. 1 仁科台中学校発足。仁科台中学校大町部校、同常盤部校となる
9. 1 山下利彦氏教育委員に任命
41. 4.15 山岳博物館にカモシカ放養園が完成
- 8.22 矢口けさ江氏教育委員に任命
42. 3.31 仁科台中学校完成(工事費 2 億 7,500 万円)
4. 2 中学校 2 校制に伴う新学区による第一中学校の開校式
4. 3 仁科台中学校新校舎で開校式
- 7.27 仁科台中学校体育館完成
- 8.10 五十嵐水卯氏教育委員に任命
43. 9.24 大町小学校校舎1棟全焼
- 12.22 第一中学校技術棟完成
44. 3. 7 百瀬渉氏教育委員に任命
- 11.11 松本明氏教育委員に任命
- 12.10 文化財審議委員会発足
45. 1.31 大町小学校校舎 2 棟完成(工事費 4,980 万円)
- 3.22 平小学校の野口分校(明治 5 年開設)、源汲分校(明治 8 年開設)閉校

- 8. 1 三日町来見原地籍「かしわくずれ1号墳」の埋蔵文化財発掘
- 10.12 大町図書館落成開館(工事費 2,484 万円)
- 11. 2 第一中学校開校 10 周年記念式典
- 46. 8. 4 第一中学校プール完成
- 10 大北地域広域市町村圏事務組合発足
- 10.26 大町小学校開校 100 周年記念式典
- 47. 5. 公民館運営審議会に諮り同和教育事業推進のための年次計画を決定
市内小中学校へ同和教育研究委員を委嘱、学校同和教育の取り組みに着手
- 6.26 同和対策審議会発足
- 8.24 小学校制度審議会「小学校制度」について答申
- 11.20 富山県氷見市と姉妹都市の調印
- 48. 3. 常盤小学校松林の間伐を行い、遊歩道を設けて「健康の森」とする
- 3.25 山岳博物館のニホンカモシカ「太郎」と「辰子」を中国へ贈る
- 3.31 宮下正治氏、横沢監物氏教育委員に任命
- 4. 1 同和対策課を設置、大町市小学校同和教育計画を作成
- 7.30 市民プール完成(工事費約 2,000 万円)
- 49. 1. 5 運動公園建設着工
- 4. 1 教育委員会事務局に社会体育係設置
- 6. 2 常盤小学校東校舎焼失
- 8.22 西山正氏教育委員に任命
- 9. 同和教育推進協議会を設立
- 50. 1. 4 教育委員会内に同和教育係を設置、同和教育指導員 2 名を配置
- 4. 1 大北視聴覚ライブラリー開設
- 7. 1 常盤小学校第 2 グラウンドに夜間照明施設完成
- 8.10 鈴木忠博氏教育委員に任命
- 10. 1 第 24 回長野県公民館大会(大町小学校) ～2 日
- 12. 1 常盤小学校校舎 5 教室完成
- 51. 2.14 第 1 回部落解放市民大会
- 3.31 第一中学校技術棟 2 階増築完成
- 4. 1 少年育成補導センターを教育委員会事務局内に設置
美麻南・北小学校統合により美麻小学校
- 6. 第 1 回同和教育指導者養成講座(常盤地区)
- 7.16 上條為人氏、横沢茂氏教育委員に任命
- 10.31 仁科台中学校開校 10 周年記念式典
- 52. 3.22 平小学校閉校
- 3.31 清水利和氏教育委員に任命
- 4. 1 県からの派遣社会教育主事(スポーツ担当)として花岡実教諭着任(3 年間)
美麻南・北中学校統合により美麻中学校(小中併設校)
- 4. 4 北小学校開校
- 5.13 山岳博物館のニホンカモシカ「岳子」永眠(飼育 21 年 3 か月)

- 6. 企業同和教育連絡協議会設立
- 7. 2 市民憲章を制定
- 7.21 新市庁舎が完成(総工費 11 億 8,000 万円)
- 7.30 国体リハーサル大会の全国選抜少年団サッカー大会 ～31 日
- 11. 解放子ども会設置
- 53. 1.23 常盤小学校で毎週月曜日、弁当持参による米飯給食開始
- 3. 小中学校同和教育計画書を改訂
- 3.10 北小学校校歌・校旗できる
- 4. 同和教育推進教員を配置、市内 6 校を同和教育指定校に指定
- 4. 1 学校体育施設の一般開放始まる
- 部落解放都市宣言
- 大町総合病院に院内学級開設
- 青少年育成会連絡協議会を設置
- 6. 第 1 回市内教職員同和教育研究会
- 7. 9 運動公園陸上競技場(第 3 種公認)完成
- 8. 2 市公民館平支館、旧平小学校へ移転
- 8.15 成人式を夏に変更
- 9.24 遠藤正賢氏教育委員に任命
- 10. 隣組同和教育講座を開設
- 10.15 第 33 回国民体育大会やまびこ国体 ～20 日
- 10.16 やまびこ国体サッカー競技大会
- 10.19 常陸宮両殿下サッカー競技ご観覧
- 11. 5 第 1 回全国健康マラソン大会
- 54. 4. 1 同和教育集会所開設
- 6.20 図書館 2 階へ学習室・収蔵庫を増築完成
- 7. 常盤小学校第 1 グラウンドの高低差 90cm をなくす工事を行う
- 7.23 常盤小学校プール完成
- 9.26 西公園グラウンド夜間照明点灯式
- 11. 9 市史編纂(さん)室設置
- 11.16 仁科神明宮遷宮祭 ～18 日
- 11.29 B&G 財団大町海洋センターオープン
- 55. 4. 市内学校同和教育研究委員会に高校も参加、幼・保・小・中・高一貫の学校同和教育を推進
- 7.25 平グラウンドの夜間照明点灯
- 10. 1 市公民館常盤支館、旧第三中学校へ移転
- 10.31 第一中学校開校 20 周年記念式典
- 56. 2.13 B&G 大町海洋センター武道館完成
- 3.31 社小学校閉校
- 4. 1 一志開平氏教育委員に任命
- 4. 4 東小学校開校

- 4.22 パンダ「ランラン」のはく製を山岳博物館で公開(貸し出し第1号)
～5月5日
- 12.20 北小学校給食棟完成
- 57. 2. 1 砂田繁雄氏教育委員に任命
- 3.13 東小学校校歌発表会
- 3.16 仮称大町西小学校プレイルーム・特別教室完成
- 4. 1 常盤小学校プレハブ校舎特別教室分新設
- 4.28 (財)大町エネルギー博物館開館(工事費 3億 2,000万円)
- 6. 5 山岳博物館第三期建物落成開館(工事費 4億 9,300万円)
- 7. 9 B&G 大町海洋センター多目的広場完成(旧社小跡地)
- 7.13 児童生徒健全育成推進モデル地区に指定
- 8.18 仮称大町西小学校高学年棟完成
- 58. 3. 小中学校同和教育指導書を作成
- 4. 企業同和教育推進連絡協議会を企業同和教育推進協議会に改称
- 4. 1 市役所出張所(平・常盤・社)を廃止、平・常盤・社に独立公民館を設置
- 5.17 春の花壇コンクールで、第一中学校、文部大臣賞受賞
- 6.25 仮称大町西小学校管理棟完成
- 8.12 北小学校 2 教室増築工事完成
- 8.17 仮称大町西小学校給食棟完成
- 11. 6 第1回常盤少年駅伝大会
- 59. 3.18 仁科台中学校、花壇コンクールで、文部大臣奨励賞受賞
- 4. 1 平公民館・働く婦人の家(複合施設)開館(工事費 3億 500万円)
西小学校開校
図書館に障がい者用便所を増築、完成
- 5. 2 運動公園に全天候テニスコート開設
- 6.28 常盤小学校第2グラウンドに夜間照明灯増設
- 7. 1 市制 30 周年記念式典
市史第 1 巻・第 5 巻刊行
- 7. 9 西小学校プール完成
- 9.26 第一中学校大規模改修工事(校舎)終了
- 10.10 第 1 回大町健康シティーマラソン
- 10.26 ニホンカモシカ 2 頭、オーストリア・インスブルック市のアルペン動物園を通じて、
ウィーン市のシェーンブルン宮殿動物園へ贈る
- 11.30 国宝仁科神明宮の防災設備が完成(工事費 1,359万円)
- 12.27 仮称大町南小学校プレイルーム棟完成
- 60. 2.15 シェーンブルン動物園へ贈った雌カモシカの死亡により、再び雌1頭贈る
- 2.18 大町市とインスブルック市、山岳博物館とアルペン動物園が友好提携の調印
- 3.22 仮称大町南小学校普通教室棟完成
- 4. 1 教育委員会事務局に課制を敷き、学校教育課と社会教育課が発足

- 民俗資料館が開館(工事費 1 億 3,000 万円)
 解放子ども会指導委員会を解放子ども会運営委員会に統合
 青少年センターを教育委員会事務局内に設置(旧少年育成補導センター)
 少年教育電話相談開設
- 4.27 アルプスマーモットふたつがいがインスブルック市から山岳博物館に到着、一般公開開始まる
7. 3 青少年育成市民会議発足
- 8.10 B&G 財団大町海洋センターが市へ無償譲渡される
- 8.17 第一中学校大規模改修工事終了(配線工事ほか)
- 8.19 仮称大町南小学校給食棟・特別教室棟が完成、使用開始
9. 1 市史第 2 巻・第 4 巻刊行
11. 1 長野建設労働者研修福祉センター・愛称「サン・アルプス大町」開館(工事費 3 億 5,000 万円)
61. 1.20 仮称大町南小学校管理棟完成
3. 1 市史第 3 巻刊行(全 5 巻完結)
- 3.15 市制 30 周年記念「大町ーきのう、きょう、あした」、県自作教育ビデオ最優秀賞
- 3.24 オオライチョウ 1 つがいインスブルック市から山岳博物館に到着(雌は輸送中に死亡)
4. 1 働く婦人の家、長野建設労働者研修センター補助執行
- 4.20 運動公園野球場落成記念・高等学校招待野球
- 5.10 オオライチョウの卵(5 個)をインスブルック市アルペン動物園長持参(ふ化せず)
- 5.28 大町公民館・文化会館(複合施設)開館(総事業費 16 億 8,800 万円)
- 7.25 第 7 回北信越国民体育大会・山岳競技の部 ～27 日
- 8.10 夏期巡回 NHK ラジオ体操会
- 8.29 第 7 回北信越国民体育大会・サッカー競技 ～31 日
- 9.26 西山謙次氏教育委員に任命
- 9.27 仮称大町南小学校体育館完成(工事費 1 億 8,900 万円)
11. 1 北小学校開校 10 周年記念式典
11. 2 仁科台中学校開校 20 周年記念式典
- 12.30 重要文化財若一王子神社本殿防災施設完成(工事費 1,291 万円)
62. 1.14 仮称大町南小学校屋外環境整備等完成(工事費 3,439 万円)
- 2.11 第 1 回綱引きトーナメント
- 3.20 運動公園弓道場・相撲場完成(工事費 1,860 万円)
- 3.27 南小学校開校祝賀式(総工事費 11 億 2,600 万円)
- 3.30 家庭教育指針「子どもとともにあゆむ」No.1 発刊
4. 3 南小学校開校・入学式
4. 6 加藤寿々子氏、著名作家書簡等を市へ寄贈
- 4.20 運動公園多目的広場完成(工事費 5,710 万円)
5. 5 オオライチョウの卵(9 個)アルペン動物園長持参、30 日ふ化(雌雄各 2)

- 8.13 藤沢彌五衛氏教育委員に任命
- 8.28 第一中学校校舎、体育館大規模改修完了(工事費 4,015 万円)
- 9.20 アルペン動物園開設 25 周年記念行事に市民訪問団参加(13 人) ～30 日
- 11. 3 加藤朝鳥・寿々子両氏にかかわる「著名作家書簡展」文化会館で開く
- 63. 3.30 第一中学校玄関ポーチ、校名板設置(工事費 98 万円)
「市内遺跡分布調査報告書」発刊
家庭教育指針「子どもとともにあゆむ」No.2 発刊
- 3.31 「社会教育計画」発刊
「来見原遺跡調査報告書」発刊
- 4. 南小学校、体力づくり推進校として文部省指定(3 年)
- 4.25 同和教育相談員(4 人)設置
- 7.23 チョモランマ／サガルマタ友好登山記念講演会(文化会館)
- 8. 1 外国青年英語指導助手招致、アラン・ラインステイン氏(米)発令(3.3.31 まで)
- 9.28 運動公園マレットゴルフ南コース完成
- 10.25 県宝若一王子神社三重塔防災施設完成
- 11. 6 運動公園総合体育館完成(工事費 9 億 8,448 万円)
- 12.20 北小学校みどりの少年団結団式
- 平成元 1.21 総合体育館落成記念全日本バレーボール男女選抜リーグ大町大会
- 1.28 運動公園を主会場に「大町雪と氷の博覧会」が開かれる(延べ 6 万 7,000 万人が来場) ～30 日
- 1.31 「大町市の文化財」発刊
- 3.31 「小海戸発掘調査報告書」発刊
- 4. 1 教育委員会事務局に体育課、文化財係設置
勤労青少年ホームを補助執行
- 4. 2 矢口格氏教育委員に任命
- 5.13 附属資料館完成により、夏期大学の再建終わる(総事業費 3 億 4,000 万円)
- 5.17 金田國武氏教育委員に任命
- 5.25 北小学校、春の花壇コンクールで環境庁長官賞受賞
- 7. 山岳博物館で英文パンフレット製作
- 7.15 大町高校初の学校開放講座(書道に 37 人受講)
- 9.13 仁科台中学校大規模改造工事終了
- 9.28 文化会館、北小学校を会場に県公民館大会開催 ～29 日
- 10. 1 共同福祉施設「フレンド・プラザ大町」開館 教育委員会が補助執行
- 10.29 常盤小学校(南小学校)開校 100 周年記念式典
- 12.22 美術博物館構想懇話会が、美術館・歴史民俗博物館構想を市長に報告
- 2. 2. 6 石曾根佐和江氏教育委員に任命
- 3. 2 重要文化財盛蓮寺観音堂防災施設完成(総事業費 1,081 万円)
- 3. 8 シャモア(アルプス・カモシカ)3 頭がインスブルック市から山岳博物館に到着(雄 1、雌 2)

- 3.15 市科学振興賞 第1回授与式
- 3.31 「海の口・一津遺跡調査報告書」発刊
- 7.30 文化公園完成(2億300万円)
- 10. 8 仁科台中学校大規模改造(体育館ほか)終了
- 10.19 県視聴覚放送教育研究大会(第一中ほか)750人 ～20日
- 10.21 県PTA連合会研究大会大北大会(文化会館)
- 10.28 東小学校開校10周年記念式典
- 11. 2 第一中学校開校30周年記念式典
- 12. 1 生涯教育リーダーバンク設立
- 3. 3.25 保健センター・大町公民館分室完成(5億900万円)
東京・立川市と姉妹都市提携
- 4. 1 子どものための郷土冊子発刊、4～6年生に配布
仁科台中学校運動部活動研究推進校として文部省指定(3年間)
- 6.15 IOC総会で長野が1998年冬期五輪開催都市に決まる
- 6.19 暴力追放市民協議会設立総会
- 8. 1 外国人英語指導助手にジョン・クーパー氏(英)発令(5.7.31まで)
- 9.30 仁科台中学校大規模改造工事(技術・家庭科棟)終了
- 10.19 北小学校5年3組、『いいとこカルタ』の作成などで地域づくり大賞を受賞
- 11. 1 山岳博物館開館40周年。記念式典、特別展など実施。インスブルック・アルペン動物園からオオヤマネコ1つがいが贈られる
- 4. 2.14 市婦人団体連絡協議会発足
- 3.31 「中城原・南入日向・西の原遺跡調査書」発刊
- 4.28 エネルギー博物館開館10周年
- 7.14 常盤公民館竣工式(工事費 3億4,600万円)
- 7.26 大町野外美術展「'92夏 アルプス wa ミュージアム」、大町スキー場で開催
～8月25日
- 8. 1 山本茂實文化講演会および「葺」の仲間作品展
- 9. 1 学校週5日制スタート(月1回第2土曜日)
- 9. 7 紀宮清子親王山岳博物館ご来館
- 9.16 皇太子殿下(徳仁親王) //
- 9.22 仁科台中学校大規模改造工事(理科・廊下棟)終了
- 12.15 中学校コンピューター導入
- 5. 2.26 山岳博物館展示改修完成(改修費5,489万円)
- 3.22 「中世・須沼氏居館跡調査概要報告書」発刊
- 3.31 第2期「社会教育計画」策定、発刊
郷土学習冊子改訂
- 4. 1 大町市子ども会育成連絡協議会を設置(旧青少年育成会連絡協議会)
- 4. 2 牛越充氏教育委員に任命
- 5.17 佐々木敬次氏教育委員に任命

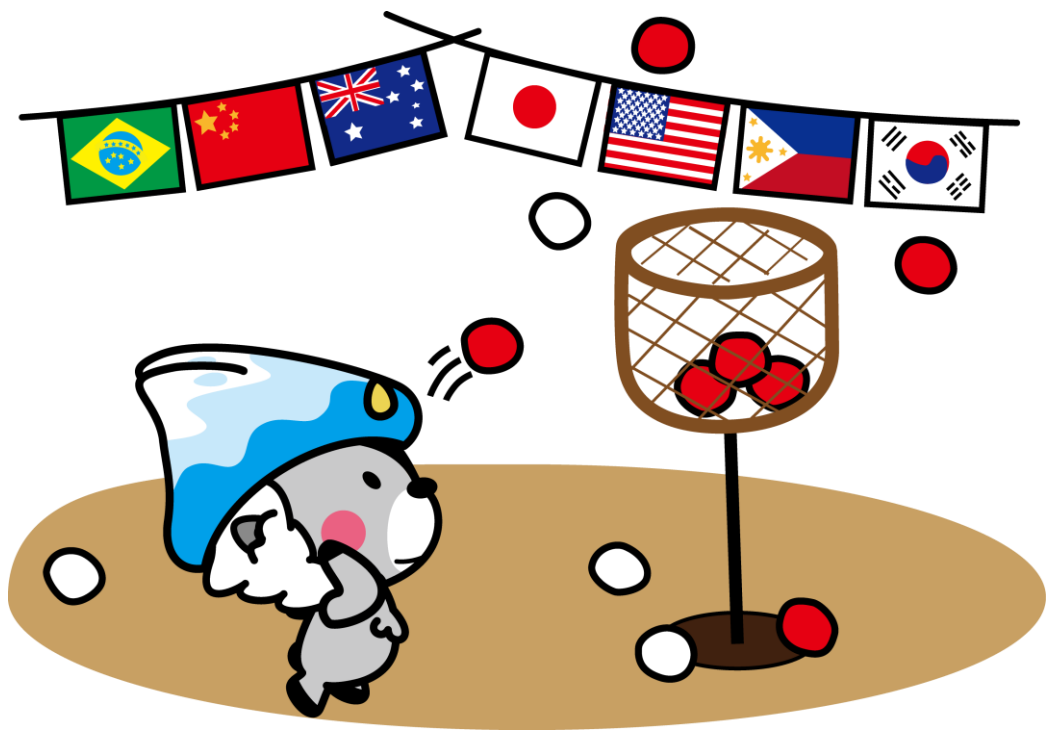
- 6. 2 カモシカ 2 頭をオーストリアのシェーンブルン動物園へ贈呈
- 7.19 外国人英語指導助手布林デーキャサリン・トムシ氏(加)発令
- 9. 3 長野県女と男ふれあいフェスティバル開催
- 9.14 仁科台中学校大規模改造工事(管理棟)終了
- 10. 8 長野県社会教育委員研修会開催
- 10.26 生涯学習推進の基本的な考え方、体制について社会教育委員が答申
- 6. 2.24 「山岳博物館総合案内書」発刊
- 3.10 「5,000 年前のムラ跡の調査概要報告書(後山・大行原遺跡)」発刊
- 3.22 「中世・須沼氏居館跡調査概要報告書」No.2 発刊
- 「1,700 年前のムラ跡の調査概要報告書(中城原遺跡)」発刊
- 3.24 西小学校体育館竣工式(事業費 4 億 700 万円)(起工 5.6.21・竣工 6.2.25)
- 4. 1 社会教育課を生涯学習課に、社会教育係を生涯学習係、同和教育係を同和推進係に改称(同和対策を補助執行)
- 大町公民館分室に社会教育指導員設置
- 7.18 生涯学習推進プラン策定委員会発足(17 名、委員長に菅沢徹夫氏)
- 9.20 女性行動計画策定委員会発足(10 名、委員長に牛越充教育長)
- 9.26 西澤徳市氏教育委員に任命
- 10. 1 市民意識調査「女性プランにあなたの声を」を実施
- 10.15 第 1 回生涯学習推進フォーラム開催(サン・アルプス、岡本包治氏講演)
- 10.29 アルプスマーモット 1 つがいがアルペン動物園から山岳博物館に到着
- 11.11 長野県青少年育成県民大会開催(文化会館)
- 12.27 運動公園屋内体育館完成
- 7. 3.10 「5,500 年前の耳飾り製作ムラ跡の調査概要報告書(藪沢 I・II 遺跡)」発刊
- 3.15 「居谷里湿原保存調査報告書」発刊
- 3.18 「中城原 II(中城原遺跡報告書)」発刊
- 3.23 市制 40 周年記念国際交流事業大町市少年少女合唱団インスブルック訪問
～30 日
- 3.31 大町市生涯学習推進プラン「いきいき学習エンジョイライフ大町」策定、発刊
おおまち女性プラン「ともに生きる喜びめざして」策定、発刊
- 4. 1 教育次長および青少年女性係を新設
- 6.23 生涯学習のまちづくり推進本部発足
- 6.28 女性問題懇話会発足
- 8. 生涯学習のまちづくり出張講座開設
- 8.13 遠藤正人氏教育委員に任命
- 9.23 第1回ロマン街道「塩の道」産業と文化フェスティバル開催 ～24 日
- 10.23 大町市文化会館開館 10 周年記念式典
- 11. 生涯学習リーダーバンク開設
- 11.20 山岳博物館イヌワシ舎竣工(1,066 万円)
- 11.26 第 1 回男女共生フォーラム開催
- 8. 3. 6 「大町市指定文化財調査書第 2 版大町市の文化財」発刊

- 4. 1 学校教育指導員を配置
- 9.30 「大町市の絵馬」発刊
- 11. 2 大町北小開校 20 周年記念式典
- 9. 1.14 大町南小児童クラブ開所(常盤公民館)
- 4. 2 荒井和比古氏教育委員に任命
- 4. 7 「ギャラリー・いーずら」オープン
- 10. 3 「郷土学習冊子」新訂版発行
- 3. 新図書館竣工
- 5. 学社融合推進委員会設置
- 10. 4 第 3 期「大町市社会教育計画」策定
- 11. 3 幸町教員住宅竣工(12 戸)
- 11.10. 1 新図書館オープン
- 人権擁護審議会設置
- 12. 1. 大町市人権教育のための国連 10 年推進本部設置
- 5. 人権と暮らしに関する意識調査実施
- 8.31 第 1 回ライチョウ会議
- 13. 4. 2 丸山一由氏教育委員に任命
- 4.22 平運動場整備竣工式。記念ソフトボール大会
- 5.17 中山弘幸氏教育委員に任命
- 7. 1 市内全小中学校に学校評議員会設置
- 8. 6 宇宙飛行士(若田光一氏)講演会(文化会館)
- 9.24 山岳博物館創立 50 周年記念登山。爺ヶ岳
- 9.28 第 15 回全日本シニアソフトボール大会開催(48 チーム) ～30 日
- 10. 「第 2 次大町市生涯学習推進プラン」発刊
- 10.13 山岳博物館 50 周年記念式典、シンポジウム(文化会館)
- 10.28 チルドレンズミュージアム開催(サンアルプス)
- 11.20 長野県青少年育成県民大会開催(文化会館)
- 14. 2. 6 横澤幸子氏教育委員に任命
- 3.15 山岳文化都市宣言
- 3.16 山岳博物館展示改修完成(改修費 3,980 万円)
- 4. 6 こども体験学習号(バス)運行開始
- 5.24 第 20 回全国シニアソフトボール大会開催(96 チーム) ～27 日
- 6. 同和対策「特別措置法」失効に伴い、関係する市条例、規則等を改正
- 9.26 眞嶋強志氏教育委員に任命
- 15. 3. . 「人権教育のための大町市行動計画」策定
- 4. 第 4 期「大町市社会教育計画」発刊
- 8.13 矢口博文氏教育委員に任命
- 16. 4. 1 働く婦人の家を「女性未来館ピュア」に名称変更する
- 4. 4 大町市蔵の音楽館竣工
- 5.15 大町市文化会館スケートボードパーク竣工

- 7. 6 第一中学校全面改築工事起工式
- 7.26 外国人英語指導助手ウィリアム・ハビントン、タミー・クライトン(加)発令
- 10.16 市制施行 50 周年記念式典
- 17.11.25 第一中学校新校舎開き
- 18. 1. 1 大町市・八坂村・美麻村合併 新大町市誕生
 - 1.24 大町高校と大町北高校の存続を守り育てる市民会議設立
 - 2.11 合併記念式典(文化会館)
 - 2.22 県立高校の発展と存続を願う会県庁包囲行動(県庁)
 - 3.24 青色パトロール車出発式
 - 3.27 新児童センター完成
 - 5.27 第 30 回長野県知事杯争奪選手権マレットゴルフ大会(運動公園)
 - 6.10 第 44 回北信越壮年ソフトボール大会(～11)
 - 第 10 回北信越シニアソフトボール大会(～11)
- 10.28 大町北小学校 30 周年記念式典
- 11.10 仁科台中学校 40 周年記念式典
- 11.25 八坂中学校 60 周年記念式典
- 11.26 美麻小中学校 30 周年記念式典
- 12.22 第一中学校竣工式
- 19. 3 「第 3 次大町市生涯学習プラン」発刊
 - 4 第 5 期「大町市社会教育計画」発刊
- 19.12.25 美麻公民館移転
- 20. 3.30 「大町市人権教育及び人権啓発に関する基本方針」策定
 - 8. 5 仁科台中学校全面改築工事起工式
- 21. 4. 1 荒井今朝一氏教育委員に任命
 - 4. 文部科学省人権教育総合推進地域事業指定(3年間)
 - 5.17 川上茂代氏教育委員に任命
 - 7.27 外国人英語指導助手ソン ティリム発令
 - 8. 3 // チェロ アントニー発令
- 11. 6 大町南小 120 周年記念式典(新型インフルエンザ流行のため印刷物等の配布)
- 12.18 仁科台中学校新校舎開き
- 22. 2. 6 藤井一男氏教育委員に任命
 - 9.26 布施知子氏教育委員に任命
 - 12.14 仁科台中学校完成式
- 23. 8.13 黒田幸雄氏教育委員に任命
 - 11.3 山岳博物館 60 周年記念式典(JAホール アプロード)
- 24. 3. 第 6 期「大町市社会教育計画」発刊
 - 4.20 山岳図書資料館開館
- 25. 4. 1 荒井今朝一氏教育委員に任命(再任)
 - 5.17 川上茂代氏教育委員に任命(再任)
 - 7.29 外国人英語指導助手クリーバ ブリトニー発令

- 26. 2. 6 藤井一男氏教育委員に任命(再任)
- 3.29 山岳博物館リニューアルオープン
- 26. 3 「第4次大町市生涯学習プラン」発刊
「大町市スポーツ推進計画」策定
- 26. 4. 1 美麻小学校及び美麻中学校に学校運営協議会設置
(コミュニティスクール化、小中一貫教育導入)
- 8. 3 外国人英語指導助手マッケイクリストファー発令
- 9.26 仲原直美氏教育委員に任命
- 10.11 大町市制施行60周年・合併10年記念『未来を担う子どもたちの芸術交流事業』
(小学校児童絵画展、中学生吹奏楽演奏、和太鼓演奏)実施
- 27. 4. 1 八坂小学校及び八坂中学校に学校運営協議会設置
(コミュニティスクール化)
八坂小学校、美麻小学校、八坂中学校、美麻中学校で小規模特認校制度開始
- 7. 4 山岳博物館ライチョウ舎竣工式
- 7.18-19 大町市・立川市姉妹都市交流中学生サミット開催
- 8.13 黒田幸雄氏教育委員に任命(再任)
- 10.31 大町東小学校 35周年記念式典
- 11.17 第1回大町市総合教育会議
- 28. 3.31 長野県大町高等学校及び長野県大町北高等学校閉校

II 学 校 教 育



学 校 教 育

基 本 方 針

これからの学校教育は、生涯学習の基礎づくりをすることを前提において、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応しうる心豊かでたくましい人間性を培うことを目標とします。そのために、以下のことを視点にすえて具現を図っていきます。

- 1 常に、自発的・創造的に学び続ける強い意志と態度を育むために、一人ひとりが自分の課題をもち、自ら追求する問題解決的な学習や体験学習をとおして、学び方が身につくようにします。
- 2 発達段階に応じた基礎的・基本的な学習内容の習熟、生活の仕方についての能力と習慣の形成を図ります。
- 3 一人ひとりの個性や能力を生かすことを中心として、個性ある学級、特色ある学級づくりを進めます。
- 4 大町市の宝である自然や、仁科文化、山岳文化などを土台とした、豊富な地域素材を学習課程に位置づけて、郷土に対する理解と郷土愛の心を育てます。
- 5 学校の教育機能や施設を地域へ広く開放するとともに、地域の教育力を学校へ生かしていくように努めます。また、児童生徒の調査や観察、実習などの体験活動を地域ぐるみで促進します。
- 6 心身に障がいをもつ児童生徒が社会的に自立できるよう、障がいの種類や程度に応じた教育を推進します。
- 7 児童生徒が助け合い支えあう中で、各種ボランティア活動への積極的な参加を図るとともに、福祉教育や環境教育、安全教育、同和教育、性教育などの内容を充実します。

1 市内小中学校

(1) 小学校

学 校 名	開設年月日	所 在 地	校 長 名	T E L F A X 有 線
大町東小学校	昭和56年4月1日	大町市社6700番地	やま だ あきら 山 田 晃	TEL. 22-0611 FAX. 23-3174 有線 22-0611
大町西小学校	昭和59年4月1日	大町市大町4733番地3	やま ぎき しげ のり 山 崎 茂 則	TEL. 22-0019 FAX. 22-1133 有線 22-0019
大町南小学校	昭和62年4月1日	大町市常盤3543番地1	て つか じゅ おお 手 塚 善 雄	TEL. 22-0521 FAX. 22-0647 有線 22-0521
大町北小学校	昭和52年4月1日	大町市大町5806番地8	とく ぼら つぎ ひさ 徳 原 嗣 久	TEL. 23-0190 FAX. 22-0740 有線 23-0190
八坂小学校	昭和61年4月1日	大町市八坂1090番地	い とう ひろ みつ 伊 藤 浩 光	TEL. 26-2010 FAX. 26-2144
美麻小学校	昭和51年4月1日	大町市美麻27503番地	しお しま まなぶ 塩 島 学	TEL. 29-2004 FAX. 29-2667

(2) 中学校

学 校 名	開設年月日	所 在 地	校 長 名	T E L F A X 有 線
第一中学校	昭和34年4月1日	大町市大町4528番地	しお ぼら まき じゆ 塩 原 雅 由	TEL. 22-1262 FAX. 22-4779 有線 22-1262
仁科台中学校	昭和40年4月1日	大町市大町3759番地	きた ざわ たけ し 北 澤 猛 史	TEL. 22-1817 FAX. 22-0290 有線 22-1817
八坂中学校	昭和22年4月1日	大町市八坂11648番地	い で じゅ いち 井 出 寿 一	TEL. 26-2020 FAX. 26-2020
美麻中学校	昭和52年4月1日	大町市美麻27503番地	しお しま まなぶ 塩 島 学	TEL. 29-2004 FAX. 29-2667

(3) 中間教室

名称	開設年月日	所在地	適応指導員	T E L
大町市 アルプスの家	平成6年6月20日	大町市大町4710番地	丸 山 峯 男 竹 内 千代子 清 水 眞 弥	TEL. 23-6418

東大町東小学校



大町東小学校 校歌

作詞 高橋 恭男
作曲 飯沼 信義

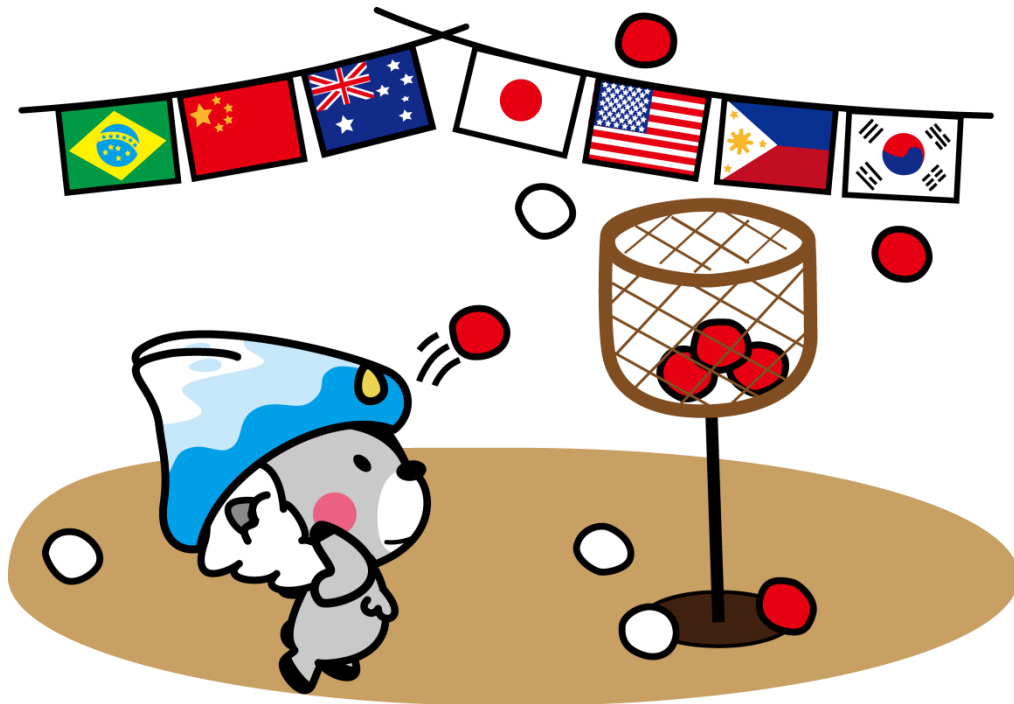
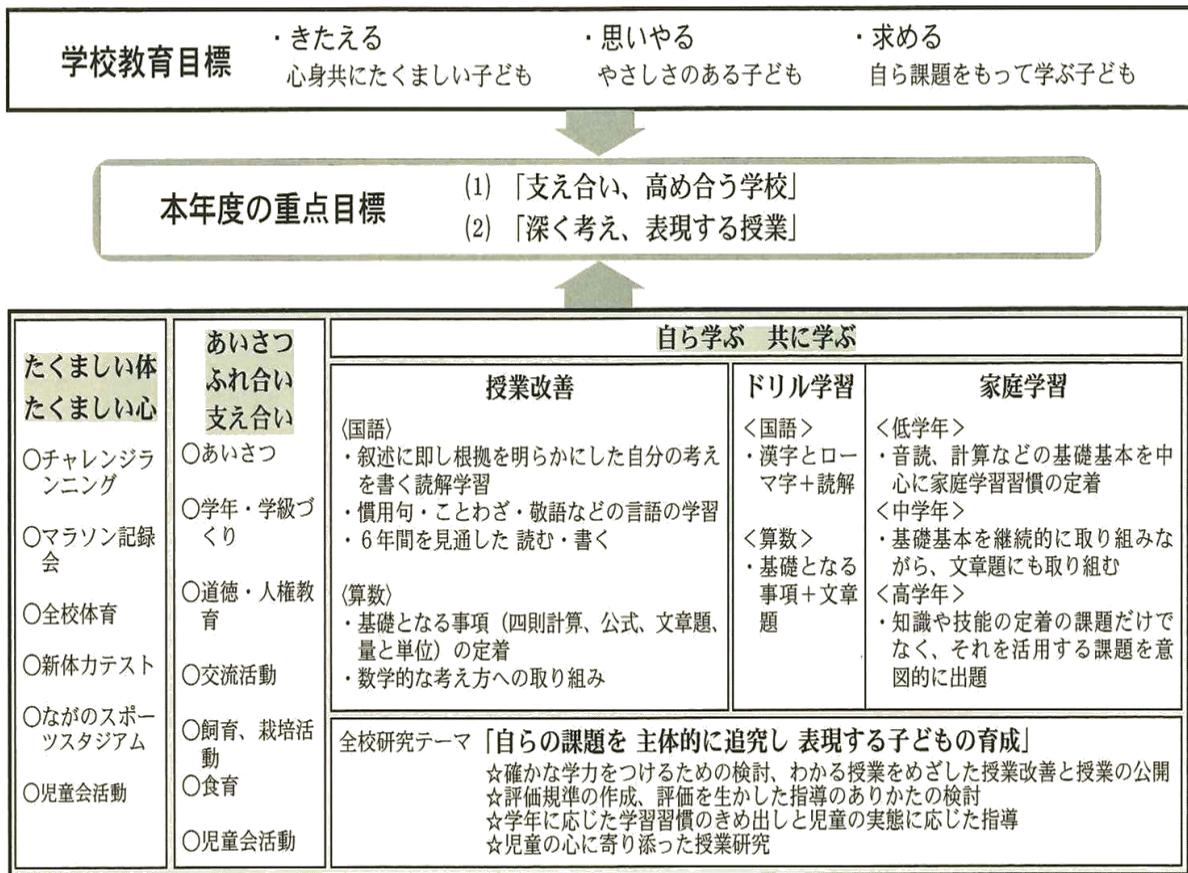
- 一、仁科の里の 城あとに
緑も深く 風かおり
朝陽に映ゆる 学舎は
豊かな理想 育みて
永久に栄ゆる 東小
- 二、鹿島の峰や 爺蓮華
千古の雪の アルプスを
仰ぎて鍛う 身と心
大きな希望 掲げつつ
ともに励まん わが友の
文化の息吹き 豊かなる
歴史の郷に 生うけし
誇りをわれら 受けつぎて
学びの道を めざしつつ
ともに進まん わが母校
- 三、

◆標高 7 1 4 m ◆東経 1 3 7 度 5 2 分 ◆北緯 3 6 度 2 9 分

URL <http://higashisho.city-omachi.ed.jp/>

Email higashisho@higashisho.city-omachi.ed.jp

◎グランドデザイン



大町西小学校



大町西小学校 校歌

一、日本の屋根よ 信濃なる
北安曇野の 大空に
朝日の光 照り映ゆる
大山脈の 峯々や
千古の雪を 頂きて
我等をいだき そびえたり
瀬の音清き 高瀬川
三湖に澄みし 水みちて
流れ静けき 農具川
祖先ら代に ひらきたる
仁科の里の ゆえふかき
我等は此処に 生まれたり
豊かに広き 学園に
楽しからずや 集い来て
明るき窓に 大庭に
まことのおしえ 学びつつ
心をみがき 身をきたえ
我等正しき 人たらん
世界の文化 日に進む
ひらけしゆく 思わばや
希望に燃ゆる この我等
睦び励まん 時の間も
わが大町の 名を負いて
つとめ果さん もろともに
わが秀霊の大自然
わが学園に光あれ

作詞 藤沢 古実
作曲 高木 東六

◆標高 729.7m ◆東経 137度51分 ◆北緯 36度30分

URL <http://nishisho.city-omachi.ed.jp/>

Email nishisho@nishisho.city-omachi.ed.jp

◎グランドデザイン

1 平成27年度 本校の求める教育の願い(グランドデザイン)

学校教育目標 ○たくましい子どもに ○思いやりのある子どもに ○進んでやる子どもに

◀めざす子ども▶ ◎この学校で学んで本当によかったよ

- ・やる気がでてきたよ
- ・わかるようになったよ
- ・みんなの役に立ったよ
- ・こんなにがんばれたよ
- ・できるようになったよ
- ・いい友だちができたよ





大町南小学校



大町南小学校 校歌

一、大町南小学校

作詞 関口 武
作曲 飯沼 信義

ここは瞳の輝く広場
明るいあいさつ呼びかう広場
きょうも ともだちいっぱいだ
ほほえみかわす 顔と顔
さしのべる 心の手
この地 このまちこの学校で
ぼくたち わたしたち
結ぼう 互いの心のきずな

二、大町南小学校

ここは力のみなぎる広場
すてきな若さのはじける広場
ホップ ステップさいジャンプ
流れ出る 熱い汗
高鳴る 鼓動のハーモニー
この地 このまちこの学校で
ぼくたち わたしたち
作ろう磨こう からだどころ

三、大町南小学校

ここは光のあふれる広場
みどりの風のがれる広場
大地のぬくもり 樹のかおり
冴えわたる 高い空
自然のめぐみが いっぱいの
この地 このまちこの学校で
ぼくたち わたしたち
学ぼう励もう 未来をめざして



◆標高 685 m ◆東経 137度 51分 ◆北緯 36度 27分

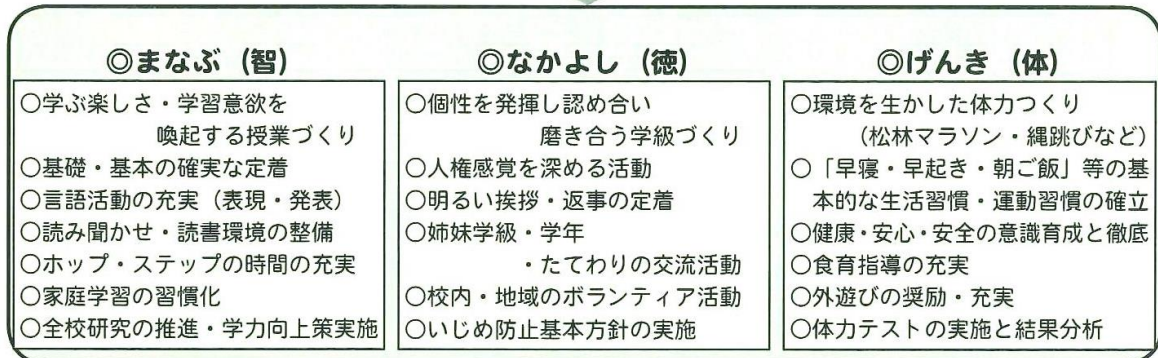
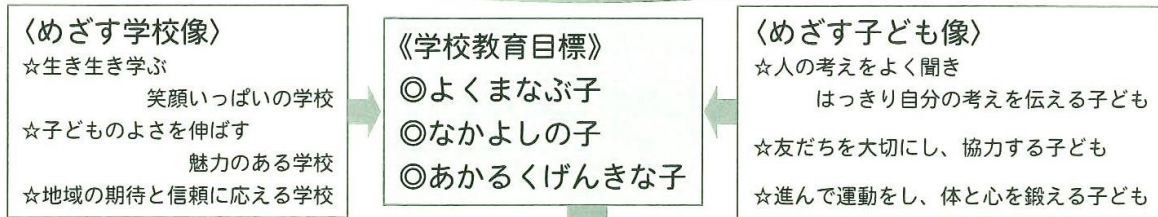
URL <http://minamisho.city-omachi.ed.jp/>

Email minamisho@minamisho.city-omachi.ed.jp

◎グランドデザイン

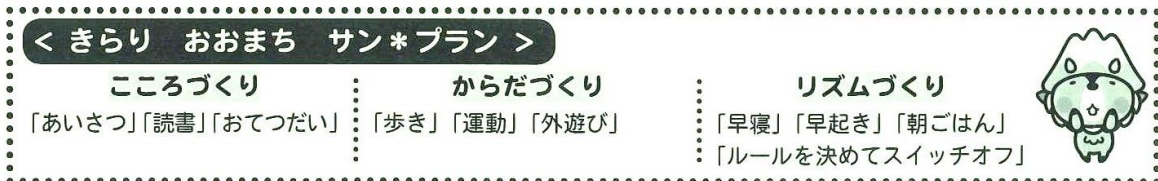
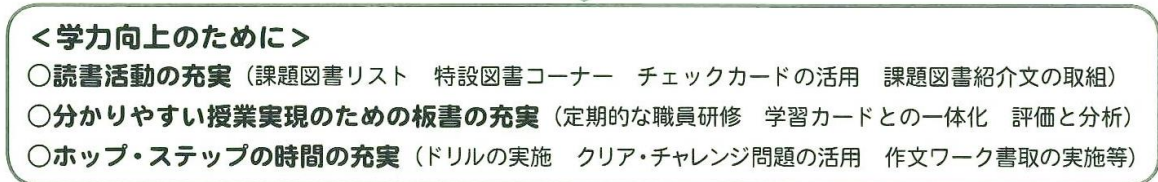
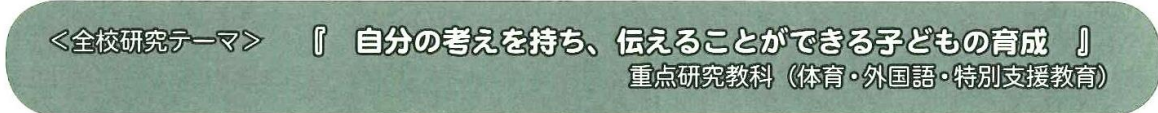
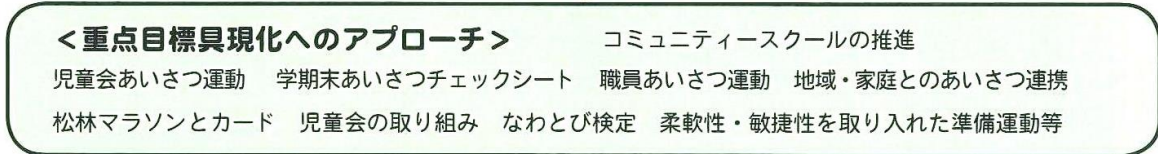
平成 27 年度

大町南小学校の教育



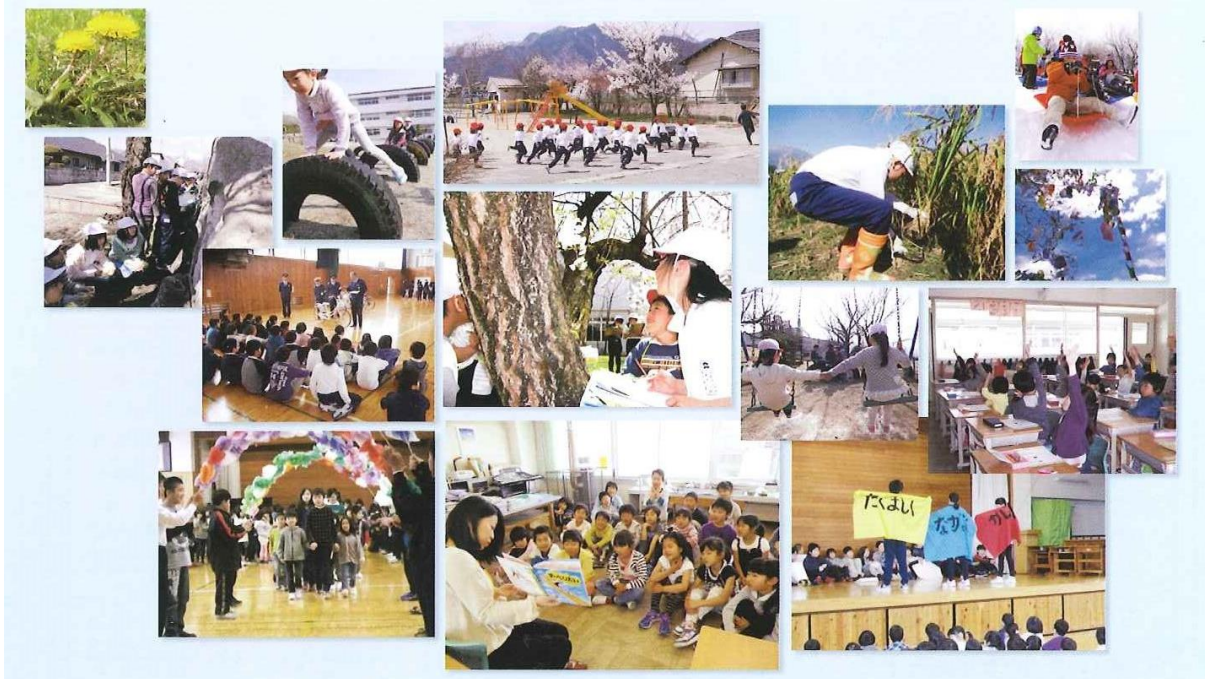
本年度の重点目標

すすんであいさつ すすんで運動





大町北小学校



大町北小学校 校歌

作詞 勝野 義人
作曲 飯沼 信義

一、鹿島に爺に 蓮華岳

銀の山なみ 高くして

窓辺にせまる 学舎の

声ははるかに こだまする

励もうわれら たゆみなき

努力の先に 希望あり

二、静かに澄める 木崎湖や

青木・中綱 水清し

心はぐくむ 学舎の

われらつなごう 愛の手を

体をきたえ 胸はって

進む未来に 夢はあり

三、仁科の里は 豊かにて

流れは遠し 高瀬川

白く輝く 学舎の

窓に理想の 旗かかげ

きのうに重ね あすへゆく

われらの日々は 新たなり



◆標高759.1m ◆東経137度51分 ◆北緯36度31分

URL <http://kitasho.city-omachi.ed.jp/>

Email kitasho@kitasho.city-omachi.ed.jp

◎グランドデザイン

平成27年度 大町北小学校グランドデザイン【概略版】



八坂小学校



八坂小学校 校歌

作詞 高橋 渡

作曲 中田 喜直

一、こぶし湧き咲く 春の日 青葉の夏よ

夢 美しくふくらませ

いきいきと育ちゆく

いのちのいのち もえる花

心は豊か ぼくもわたしも

八坂の小学生

二、かえで色づく 秋の日 吹雪の冬よ

意思 たくましく培って

はつらつと伸びてゆく

ちからのちから 翔ける鷹

心は強く ぼくもわたしも

八坂の小学生

三、光したたる ふるさと 未来の時よ

知恵 しなやかに磨きあげ

りんりんと進みゆく

のぞみのぞみ つける道

心は弾む ぼくもわたしも

八坂の小学生

◆標高 748.34m

◆東経 137度54分

◆北緯 36度29分

URL <http://yasakasho.city-omachi.ed.jp/>

Email yasakasho@yasakasho.city-omachi.ed.jp

◎グランドデザイン

平成27年度 グランドデザイン 大町市立八坂小学校

学校長の願い
 ○きらり輝く八坂小
 ○共に学び共に育つ
 ○自ら考え、表現できる

学校教育目標
 「やさかの心」で
 がんばる子ども
 ○やりぬく ○さがす ○かわいがる

地域の願い
 ○知徳体の調和のある教育
 ○挨拶や言葉遣いに配慮できる子
 ○登下校の安全

～学びたい 学ばせたい きらり輝く 楽しい八坂小～

つながる八坂コミュニティ・スクール

地域と共に歩む（つくる まなぶ そだつ）

「さんがくきょういく」
 の推進

三学教育

- 【個に応じた指導を基本にし、三つの学びを大切にしたい教育】
- 学び合いの学習
学びを深め、広げるための小人数活動・縦割り班活動による学び合い
 - 体作り・健康作り・心作りの学習
マラソン／歯っぴーチェック／運動の日／自分の時間（清掃を通して）／挨拶運動／道徳教育／人権教育
 - 基礎・基本の徹底
読書／音読／書く活動／学びの振り返りと定着（はげみの時間の活用・家庭学習の充実）

山学教育

- 【地域環境を活かした体験教育】
- 八坂の自然にふれあい楽しむ体験を大切にする。
 - 山間小規模校の良さを活かした体験学習の充実
 - 体験を活かした教材化の推進
- ＜花作り＞
 地域の方と花作り／地域花壇／地域への苗頒布／一人一鉢／FBC参加
- ＜体験学習＞
 棚田の米作り／野菜作り／八坂探検

参楽協（共）育

- 【地域の参加参画により共に楽しく学ぶ教育】
- 交流学習
郷土学習交流会（おやき、わら細工、そば料理等）／みさか／保育園／育てる会（通学合宿）／中学校との交流
 - 学校支援ボランティアの活用
米作り／授業支援／クラブ活動／お話カリヨン等
 - 地域事業との連携
かるたもちつき大会／文化祭／ふれあい運動会／老人スポーツ大会／敬老会

目指す八坂学校

- 学校、家庭、地域、行政が共に元気な八坂を共に創り出す。
- 八坂の人、自然、文化、産業について深く理解し、「ふるさと八坂」を誇り、大切にしていこうとする子どもの育成。
- 保、小、中の連携の中で知・徳・体をバランスよく育み、自分の成長を実感して次の段階に進んでいける子どもの育成。

全校研究テーマ

自ら進んで取り組み、自分の考えや判断によって行動することができる子どもの育成
 ～小人数を生かして～

開かれた学校づくり

- 八坂型コミュニティ・スクールの推進 保護者、地域、保育園、中学校、育てる会との連携。
- PTA事業の推進 子どもたちの学びや育ちにつながる活動。（「八坂体験の日」などの企画、運営）
- 学校の公開 日常的に地域の方が来校できる環境づくり。

教師としての研鑽

- 自己課題を持ち、互いに共有しながら授業や子どもを通して磨き合う。子ども理解。全児童を全職員で指導。
 - わかる授業、子どもに力のつく授業構築のための研究。
- 積極的な研修参加。ユニバーサルな授業づくり。

第一中学校



第一中学校 校歌

作詞 勝 承夫

- 一、仰ぐ紺碧 信濃の空は
若い力の あふれる空だ
つらなる嶺も 清らかに
自立の英気 湧くところ
大町一中 われらの誇り
- 二、仁科三湖に 高瀬の谷に
春は夢よぶ こぶしの花よ
いろどる秋の 紅葉にも
平和の理想 なごやかに
大町一中 こころの故郷
- 三、すさぶ寒風 吹雪も堪えて
芽ぶく若草 われらの胸に
白聖の窓も アルプスも
明日待つ夕 晴れわたり
大町一中 かがやく母校

◆標高730m ◆東経137度51分 ◆北緯36度30分

URL <http://daiichi.city-omachi.ed.jp/>

Email daiichi@daiichi.city-omachi.ed.jp

一 中学生心得

峻嶺に輝く一中生たれ

一 中生へ

君たちは 大きな夢を持つのです
そして その夢を 実現させようとする
強い「意志」を持つのです

そのとき
高くそびえる あの山よりも もっと高く
立派に君たちは輝くのです

君たちは 厚い感謝の心を持つのです
そして 相手を深く尊敬する
「謙虚な心」を持つのです

そのとき
清くそびえる あの山よりも もっと高潔
に君たちは輝くのです

君たちには どうか そういう本当の
中学生になってほしいのです
そして 本当の中学生になろうとする
「精神」がいつまでも受け継がれて
いつてほしいのです

それが「願い」なのです

平成27年度 輝きの姿



3つの姿をめざすために

- 一 一時間の学びの構造を明らかにし、「聴く・つなぐ・もどす」指導の充実を図ります
- ① 「聴く、問う」からはじまる対話活動を基盤とする「協同の学び」の授業を、全ての教科、領域で実践する。
- ② 振り返りシートの作成と、それを用いた「見とどけ・振り返り」の充実を図る。
- ③ セミナー学習や朝ドリルを取り入れ、一人ひとりの弱点克服を図り、基礎・基本の学力を定着させる。
- ④ 学習に向かう姿勢づくりを大切に、学習習慣の形成や、家庭学習の定着を図る指導を継続して行っていく。
- ⑤ P D C A 調査において、県平均を上回る問題数を P 調査よりも C 調査で増やす。
- 二 いつでもどこでも誰にでも挨拶します
- ① 授業の開始、終了の挨拶を徹底する。
- ② 部活動では礼儀と挨拶を大切にすることを基本の心構えとする。
- ③ 地区生徒会を中心に、地域ボランティアや資源物回収を通し、地域に挨拶の輪を広げる。
- 三 黙々と汗して掃除します
- ① 生徒会では縦割り清掃を企画し、上級生が下級生の手本となって「一中の清掃」を推進する。
- ② 「百年使える校舎」を合い言葉とし、無言・膝着き・気つき清掃を全校で行う。
- ③ 清掃前に全員が黙想を行い、清掃に向かう心構えを作る。

- 一 自尊感情と他者尊重の心をはぐくむ道徳教育と人権教育の実践
- ① 「聴く、問う」からはじまる対話活動を基盤として、より良い人間関係を構築していく。
- ② 人権感覚を磨き、相手意識を高めた日常生活を送れるよう努力する。
- ③ 真摯に生徒の話に耳を傾け、親身になって相談を行う。
- ④ Q-U 検査を利用した学級づくりを進めるため、検査及び研修会を年2回実施する。
- 二 地域・保護者とのより深い連携
- ① 「心の通い合う P T A」
授業参観、学年・学級 P T A を基盤に、一つ一つの活動を大事にして共通理解を図る。
- ② 「保護者の気持ちになつて」
健全育成を大切に、誠実に相談を進める。
- ③ 「峻嶺の目」の地域ボランティア活動（全校五月、農具川清掃（三学年七月）「資源回収（全校八月）」「地域子育てセミナー」参加（十一月）「平地区市民の集い参加（二月）」等、地域の活動へ積極的に取り組む。
- 三 開かれた学校作りの推進
- ① 年5回の参観日を終日公開とし、地域の方が誰でも参観できるようにする。
- ② 「学校便り」を定期的に発行し、地域・保護者に学校の様子を知らせる。



仁科台中学校



仁科台中学校 校歌

作詞 諏訪 和夫

作曲 岡本 敏明

一、ああ さわやかな 安曇野の

蓮華に爺に 鹿島槍

銀の山なみ 高き下

みよ 眉あげて 自主の意気

掲げてはゆる 仁科台

二、ああ 水清き 高瀬川

絶壁くんだり 谷めぐり

ひらく豊かな 地と文化

おお ここに建つ 友愛の

灯ともる母校 仁科台

三、ああ 氷雪の いく月か

耐えてもえいず いっせいに

郷土の色の あざやかさ

みよ 希望もて ねばりぬく

わが誇りみつ 仁科台



◆標高725m

◆東経137度51分

◆北緯36度29分

URL <http://nishina.city-omachi.ed.jp/>

Email nishina@nishina.city-omachi.ed.jp

平成27年度 仁科台中学校グランドデザイン

学校目標と目指す生徒の姿

自主：勉強に魂を打ち込む生徒
 友愛：礼儀に篤い生徒
 根性：勤労に喜びを持つ生徒、健康安全に気を配る生徒



『本校のよさと課題』

保護者の意見より

- 物事に一生懸命取り組む生徒たちである。
- 伝統を受け継いでいこうと取り組んでいる。
- 伝える力の伸びが見られる。
- 学習習慣を身につけ、「わかった」「できた」と実感できる。
- あいさつの声や発言の声がさらに響き合う。

職員アンケートより

- 明るく素直で、人なつこい生徒が多い。
- 指示されたことは受け入れて取り組むことができる。
- 寄り添うと素直に受け答えできる。
- 自ら進んで学習や生活に取り組んでいく。
- 個人や集団をより向上させようとする。
- 相手の気持ちを尊重して仲間と関わることができる。

●よさ ●課題

① 学力・体力を伸ばす

主体的・協働的に学ぶ

全校研究テーマ

『「伝える力」を育む指導のあり方』
 (重点研究：総合、人権、特活、技術)

(1) 授業改善を進めるための重点的な取り組み

① 学力向上に向けた態度の育成

- ・ 始業、終業時間厳守 ・ 机上の整理整頓 (学習準備) ・ 聴く姿勢、挨拶、返事の定着、ノート指導の徹底・「朝読書」の充実 (1人40冊以上)

② 基礎・基本の確実な定着を図り、伸びる力を伸ばす「分かる授業」の推進

- ・ 伝える力の伸びを実感できる授業実践
- ・ 「見とどけ」時間の確保の徹底
- ・ 数学、英語での少人数指導等の工夫改善
- ・ 家庭学習への支援 (家庭学習プリント等の活用、家庭学習の手引きの作成)
- ・ 新体力テスト実施と対策

(2) 生徒につける力がついたかどうかを評価するための検証方法

- ・ 授業評価を生かした実践
- ・ 「わかった」「できた」の肯定的評価が8割を超える
- ・ C調査において県平均を下回る生徒数をP調査よりも減らす

② 伝統を継承・創造する

地域とともに生きる

① 自主性を育む生徒会の充実

- 生徒会スローガン
「昇華」～咲き誇れ 仁の華～
- ・ 伝統ある活動の充実 (仁中の礼、黙想・身支度・無言清掃、残食ゼロ)
- ・ ボランティア活動の充実 (ごみゼロ運動、アルミ缶回収、募金活動、校内外のボランティア活動：社会貢献)

② 「3つのD.O」を大事に自律した生活

- (・チャイム着席・集会時の無言・ネーム着用)

③ 地域の中で生きる自分

- ・ 「地域を知る」(1年)、「地域に学ぶ」(2年)、「地域に貢献する」(3年)

④ 「キャリア教育を重点に」

- ・ 「仁科タイム」の3年間を見越したカリキュラムづくり

⑤ 歌声の響く学校

- ・ 生徒会と連携した全校音楽・学級の歌の充実

③ 仁の心を育む

人やものを慈しむ

① 心の内面に寄り添う支援

- ・ チーム支援体制の機能の充実 『チームですばやく丁寧に』
- ・ 小中連携による受入体制の確立
- ・ 不登校の未然防止・早期対応

② 人権教育の充実

- ・ 言葉遣いの感性を職員生徒ともに磨く
- ・ 「いじめ」問題の継続的な指導
- ・ 定期的な職員研修の実施

③ 特別支援教育の充実

- ・ 子どものよさを伸ばす実践

④ 部活動で学んだことを日頃の生活に生かす

- ・ 気持ちのよいあいさつ
- ・ 礼儀、感謝の気持ち
- ・ けじめのある行動

⑤ 安全安心な居場所づくり

- ・ 命やものを大切にす指導
- ・ 交通安全教室、街頭交通安全指導、避難訓練の充実

⑥ 気持ちや姿をそろえる

- ・ 職員、生徒による「あいさつ」の励行
- ・ 生徒の自治活動としての週番活動や教室・下足箱・自転車置き場等の整美

研修の充実
 信頼される
 質の高い
 教師集団

信頼される、質の高い教師をめざし、教員研修を充実する

- 生徒とともに創りあげていく授業づくり
- 積極的に授業公開を行うなど、学び合う集団づくり
- 教育課題にかかわる研修の充実
- 自ら求める研修への積極的参加



八坂中学校



八坂中学校 校歌

作詞 高橋 渡
作曲 中田 喜直

一、耳を澄ませて

聴こうよ きみ ぼく

せせらぐ金熊 わきたつ希望

風青く わたつて谷を

あなた わたし

愛は夢を 夢は愛を

かがやく瞳に注ぎ

三年をここに 八坂のわれら

健やかに

二、空の高みを

あおぐよ きみ ぼく

白い馬は駆け たかなる理想

城が嶺 けだかい姿

あなた わたし

真理さがし 誠もとめ

清かに心ははずみ

その名も雄々し 八坂のわれら

聴くあれ

三、りんと顔あげ

進むよ きみ ぼく

悲しみ悩みも つきぬく英知

鷹狩を いろどる朝陽

あなた わたし

熱い祈り 冴える思い

漲る生命を染めて

未来の時へ 八坂のわれら

高く翔ぶ

◆標高 610m ◆東経 137度55分 ◆北緯 36度30分

URL <http://yasakachu.city-omachi.ed.jp/>

Email yasakajh@yasakachu.city-omachi.ed.jp

◎グランドデザイン

平成27年度 八坂中学校グランドデザイン

学校教育目標 [やさかの心] とめざす生徒像

◇やりぬく根性
[たくましい子ども]

◇さがし求める気迫
[進んで学ぶ子ども]

◇かわいがる心情
[思いやりのある子ども]

学校評価アンケートより

[地域・保護者の願い]

- ・地域の方たちに感謝の気持ちを持ち、挨拶をきちんとしてくれる。
- ・自分に自信を持って行動したり学習して欲しい。
- ・地元生と山留生が共に切磋琢磨し、たくましく育て欲しい。

[生徒の姿]

- ・明るく素直で諸活動に誠実に取り組む。
- ・異年齢集団の中で共に協力することができる。
- △限られた人間関係の中、より良い人間関係を築くことが苦手。

八坂コミュニティ・スクール

学校運営協議会を設置し、地域の方々が学校づくりに積極的に参画できるようにします。

学校支援
ボランティア

- ・学習支援部
- ・環境整備部
- ・行事・安全部

[本年度の重点目標]

- ① 命・ものを大切にする思いやりの涵養
- ② 友とのかかわり、思いや考えを積極的に伝える表現力の向上
- ③ 生徒自らが求め、目標達成に向かう態度の育成

協働

小さくてもキラリと光る学校

◆小規模・少人数を生かす

全校研究テーマ

「少人数集団を生かし、個を伸ばす指導のあり方」

①表現力を高め、友とのよりよい関係を築く授業

- ・個に応じた学習指導
- ・持ち味を生かす表現活動

②学力向上に向けた態度の育成

- ◆50分授業づくりの基本
 - ・始業1分前に授業者は入室
 - ・始業前に欠席者・準備確認

③学力向上を目指す取組の充実

- ・「言語活動」を各教科で重視
- ・全国学力状況調査やPDCAサイクル事業の実施と振り返り
- ・家庭学習の見直し

地域とともにある学校

◆学校・地域両方の一体化

①生徒の自主性を育む生徒会の充実
生徒会スローガン
勇往邁進

- ～限りない可能性を信じて～
- ・自分の意見を積極的に出して、より良い生徒会を目指そう。
- ・挨拶や奉仕活動で、八坂や地域の方に感謝の気持ちを表そう。
- ・当番活動を確実にに行い、授業と休み時間のけじめをつけよう。

②環境美化・奉仕活動

③地域特産そば学習

④地域交流活動

⑤山留センターとの連携活動

明るく楽しい学校

◆心身の健康・自立心を育む

①気持ちのよい挨拶

②落ち着いた学習環境づくり

③学級活動や短学活の充実

④学級経営の毎学期見直し

⑤相談日の充実

⑥生命・人権・福祉学習の充実

⑦読書の充実

⑧全校体育

⑨気づき清掃を中心に清掃を重視

⑩保健・給食指導

⑪安全意識の喚起

教師としての
自覚の高揚

信頼される
質の高い教師集団

①授業改善

- ・授業がよくなる3観点の日常化
- ・小規模集団の特長を生かしたペア学習やシェアリングの充実
- ・全校研究授業(理科・道徳)の推進

②力量を高めるための職員研修の充実

- ・職員会を精選し、生徒理解や生徒指導等の充実を図る。

③危機管理体制の強化

- ・自然災害への対応
- ・生徒や保護者への啓蒙
- ・個人情報管理の徹底

④綱紀粛正

- ・職員の規範意識の高揚
- ・研修の充実



美麻小中学校



美麻小中学校 校歌

作詞 中山 渡
作曲 小林 秀雄

一、白樺芽吹く日 紅葉の日々も

きたえる体 たくましく

はぐくむ心 すこやかに

白馬の 気高き求め

伸びゆくわれら

美麻 美麻 はずむ響の

おお美麻

二、緑葉そよぐ日 吹雪の日々も

知恵の輪ひろげ つつましく

友情あつく あたたかに

戸隠の きびしきひめて

輝くわれら

美麻 美麻 清きすがたの

おお美麻

三、浅間嶺あおぐ日 希望の日々よ

梨の木峯の 丘に立ち

文化の光 かかげつつ

山川の流れのように

未来へわれら

美麻 美麻 はばたく夢の

おお美麻



◆標高 952m ◆東経 137度53分 ◆北緯 36度34分

URL <http://yasakachu.city-omachi.ed.jp/>

Email yasakajh@yasakachu.city-omachi.ed.jp

◎グランドデザイン

1 平成27年度 美麻小中学校の教育

自律した学習者が育つ夢の合校 経営ビジョンの具体

【経営ビジョン】

- 学校像1 simpleでslimな教育を行う学校
- 学校像2 学校づくりの根幹は授業づくりと考える学校
- 学校像3 子どもをとりまく問題を授業で解決する学校

【一貫校のねらい】

個の生き方や考え方を尊重する学校づくりと、児童生徒が心と体をひらいて学ぶ授業実践を通して、生涯学び続けるための基礎力を養い、自律した学習者を育成する

【教育システム】

- 自律した学習者へと導く学習システム
 - ・義務教育9年間で4・3・2に区分し、3つの課程を協同の学びでつなぐ。
 - ・5年生以降は教科担任制で学習指導を行う。
- 地域との協働システム
 - ・地域や保護者と一緒に学校を作る。
 - ・学校運営協議会の声に耳を傾け、パートナー会議との協働を推進する。
- 職員の研修システム
 - ・課題研修、共通研修、マネジメント研修により、職員一人ひとりのライフステージに応じた力を高める。

平成27年度 美麻小中学校 グランドデザイン



2 学校施設

(平成 27 年 4 月 1 日現在)

学 校 名	校 舎		給 食 棟 他		屋 内 運 動 場		校			地				
	保有面積 m ²	構 造 m ²	保有面積 m ²	構 造 m ²	保有面積 m ²	構 造 m ²	校舎敷地 m ²	屋外運動場敷地 m ²	他 m ²					
小 学 校	大町東小学校	鉄筋 鉄骨	5,899	5,625 274	404	鉄筋 鉄骨	315 89	1,002	鉄筋	1,002	17,107	13,715	2,605	33,427
	大町西小学校	鉄筋 鉄骨	7,360	6,963 397	409	鉄筋 鉄骨	308 101	1,218	鉄筋	1,218	21,626	13,169	1,138	35,933
	大町南小学校	鉄筋 鉄骨	5,812	5,608 204	375	鉄筋 鉄骨	294 81	1,092	鉄筋	1,092	19,207	9,275	7,028	35,510
	大町北小学校	鉄筋 鉄骨 木造	6,636	6,415 194 27	347	鉄筋 鉄骨	270 77	1,051	鉄筋 鉄骨	982 69	17,158	11,750	3,439	32,347
	八坂小学校	鉄筋 鉄骨	2,861	2,678 183	255	鉄筋	255	1,027	鉄筋	1,027	7,040	8,190	13,385	28,615
中 学 校	美麻小学校	鉄筋	1,346	1,346	504	鉄筋 鉄骨	379 125	574	鉄骨	574	10,634	992	1,579	13,205
	計		29,914	28,635 1,252 27	2,294	鉄筋 鉄骨 木造	1,821 473	5,964	鉄筋 鉄骨	5,321 643	92,772	57,091	29,174	179,037
	第一中学校	鉄筋 木造	6,681	6,375 306	304	鉄骨	304	2,123	鉄筋	2,123	14,508	12,455	3,552	30,515
中 学 校	仁科台中学校	鉄筋 鉄骨	6,983	6,695 288	420	鉄筋 鉄骨	350 70	2,511	鉄筋	2,511	16,926	17,331	—	34,257
	八坂中学校	鉄筋 鉄骨 木造	2,167	2,136 22 9	216	鉄骨	216	1,198	鉄筋	1,198	6,781	9,388	—	16,169
	美麻中学校	鉄筋 鉄骨	2,015	1,847 168	—	—	—	653	鉄骨	653	175	11,956	988	13,119
計		17,846	17,053 478 315	940	鉄筋 鉄骨 木造	350 590	6,166	鉄筋 鉄骨	5,513 653	38,390	51,130	4,540	94,060	

3 学校別児童生徒および学級数

(1) 小学校

(平成27年5月1日現在)

学校名	1学年		2学年		3学年		4学年		5学年		6学年		計		特別支援学級の児童数										
	男女	計	学級	男女	計	学級	男女	計	学級	男女	計	学級	男女	計	学級	教員数	学年	1	2	3	4	5	6	計	
大町東小	20 (1)	35 (1)	1	19 (3)	33 (4)	1	14 (1)	24 (1)	1	21 (1)	40 (3)	2	19 (1)	39 (2)	2	110 (8)	知的障害	1	1					2	
大町西小	15 (0)	15 (1)		15 (1)	15 (2)		10 (0)	10 (1)		19 (2)	3	20 (1)	20 (2)	2	93 (5)	情緒障害	1	3	2				3	2	11
大町南小	26 (2)	45 (4)	2	19 (2)	43 (2)	2	29 (0)	51 (0)	2	26 (0)	49 (1)	2	28 (1)	51 (3)	12	34	知的障害	1	1	1			1	3	
大町北小	19 (2)	19 (4)		22 (0)	22 (4)		22 (0)	22 (0)		23 (1)	1	23 (2)	23 (2)	3	133 (5)	情緒障害	3	2	3				1	2	11
大町南小	25 (4)	45 (4)	2	27 (8)	51 (8)	2	16 (2)	56 (3)	2	25 (1)	47 (3)	2	27 (0)	70 (0)	12	33 (2)	知的障害	1		1	1	2		4	
大町北小	20 (0)	20 (4)		24 (0)	24 (8)		40 (1)	40 (3)		22 (2)	3	43 (0)	43 (0)	3	164 (3)	情緒障害	3	8	4	2	1			18	
大町北小	30 (1)	61 (1)	2	28 (2)	52 (2)	2	23 (1)	57 (2)	2	37 (0)	69 (0)	3	38 (1)	72 (2)	13	35 (2)	知的障害	1	1	2				4	
八坂小	1 (0)	4 (1)	1	3 (0)	11 (0)	1	4 (0)	5 (0)	1	3 (1)	8 (1)	1	2 (0)	11 (0)	6	15 (1)	知的障害							0	
美麻小	2 (2)	4 (2)	1	3 (1)	8 (1)	1	2 (1)	7 (2)	1	3 (0)	8 (0)	1	5 (0)	7 (1)	6	19 (9)	知的障害	1	1	1	1		1	3	
合計	104 (10)	194 (13)	9	99 (15)	198 (17)	9	88 (5)	200 (8)	9	115 (3)	221 (8)	10	119 (3)	250 (8)	57	161 (16)	計	13	17	11	8	8	8	65	
	90 (3)	133 (13)		86 (1)	112 (8)		112 (3)	112 (8)		106 (5)	106 (8)		131 (5)	131 (8)	15	117 (15)									

(2) 中学校

学校名	1学年			2学年			3学年			計			特別支援学級の生徒数			計		
	男女	計	学級	男女	計	学級	男女	計	学級	男女	計	学級	学年	教員数	生徒数			
	男	女		男	女		男	女		男	女		知的障害	情緒障害	知的障害			
第一中	39	89	3	40	92	3	55	94	3	134	275	9		35(1)	1	2	3	
	(2)	(2)	(0)	(3)	(3)	(0)	(3)	(4)	(1)	(8)	(9)	(2)	知的障害			1	2	3
仁科台中	57	123	4	68	136	4	59	124	4	184	383	12		41(1)	1	2	3	6
	(4)	(8)	(4)	(2)	(6)	(4)	(3)	(7)	(1)	(9)	(21)	(3)	知的障害			2	4	4
八坂中	4	11	1	9	13	1	3	8	1	16	32	3		13(2)				0
	(0)	(0)	(1)	(0)	(1)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(1)	知的障害					
美麻中	9	17	1	5	14	1	3	8	1	17	39	3		10(19)				0
	(0)	(1)	(1)	(0)	(1)	(0)	(1)	(0)	(0)	(1)	(2)	(1)	知的障害					
合計	109	240	9	122	255	9	120	234	9	351	729	27		99(23)	11	10	12	33
	(6)	(11)	(9)	(6)	(11)	(9)	(7)	(12)	(5)	(18)	(33)	(7)	計					
	131			133			114			378				78(15)				
	(5)			(5)			(5)			(15)								

※ 児童・生徒数の()内の数字は、特別支援学級の数を外数で表す
 ※ 教職員数の()内の数字は、兼務校で配置されている数を外数で表す

4 小中学校教職員数

(平成27年5月1日現在)

学校名	県										市										費			合計		
	校長	副校長	教頭	教諭	教諭	養護教諭	養護助教授	講師	事務職員	栄養職員	計			教員	事務職員	図書館事務員	栄養職員	給食調理員	校務員	計			男	女	計	
											男	女	計							男	女	計				
大町東小学校	1		1	11	1			1	1					2	1	1	1	3	1	1	1	8	9	17	25	
大町西小学校	1		1	16	1			4	1	1				2	1	1		4	1	1	1	8	9	17	34	
大町南小学校	1		1	18	1			1	1					2	1	1	1	4	1	2	2	8	10	18	33	
大町北小学校	1		1	17	1			3	1	1				2	1	1		5	1	2	2	8	10	18	35	
八坂小学校	1		1	6	1			2	1	1				1					1	1	1	1	2	3	15	
美麻小学校				9	1				1					1		1	1	3	1	1	1	6	7	13	19	
計	5	1	5	77	6	0	11	6	3	45	69	114	10	4	5	3	19	6	6	8	39	47	53	108	161	
第一中学校	1		1	18	1			3	1	16	9	25	2	1	1	1	4	1	3	3	7	10	19	16	35	
仁科台中学校	1		1	22	1			4	1	20	10	30	2	1	1	1	5	1	3	3	8	11	23	18	41	
八坂中学校	1		1	7	1	1			1	6	6	12							1	1	0	1	0	7	13	
美麻中学校	1			8						5	4	9								0	0	0	5	4	9	
計	4	0	3	55	3	1	7	3	0	47	29	76	4	2	2	2	9	3	7	7	15	22	54	44	98	
合計	9	1	8	132	9	1	18	9	3	92	98	190	14	6	7	5	28	9	15	12	54	69	107	152	259	

※ () は臨時職員を内数で表す
※ 育児休業代替者を含む

5 外国人英語指導助手（中学校配置）

氏 名	国 籍	契約期間
クリーバー ブリトニー ケイト CLEAVER BRITTANY KATE	オーストラリア	平成25年7月29日～平成28年7月28日
マッケイ クリストファー ウィリアム MCKAY CHRISTOPHER WILLIAM	アメリカ合衆国	平成26年8月3日～平成28年8月2日

6 通学区

（1）小学校

学 校 名	通 学 区 域
大町東小学校	社の全区域および大町のうち八日町、神栄町、五日町、旭町、日の出町、仁科町、光明町、東町、下白塩町、昭電アパート
大町西小学校	大町のうち大黒町、相生町、九日町、六九町、上仲町、下仲町、名店街、高見町、南原町、堀六日町、白塩町、山田町、北山田町、宮田町、幸町、北原町、十日町、桜田町、若宮町、東若宮町、西若宮町、高根町、大新田町、和町
大町南小学校	常盤の全区域
大町北小学校	平の全区域および大町のうち居谷里、三日町、俵町、不二塚町、大原町、大原2号団地、中原町、東中原町、栄町、若原町
八坂小学校	八坂の全区域
美麻小学校	美麻の全区域

（2）中学校

学 校 名	通 学 区 域
第一中学校	平の全区域および大町のうち居谷里、三日町、俵町、不二塚町、大黒町、相生町、九日町、六九町、白塩町、山田町、北山田町、大原町、大原2号団地、中原町、東中原町、栄町、幸町、宮田町、若原町、和町
仁科台中学校	常盤および社の全区域ならびに大町のうち上仲町、下仲町、名店街、八日町、神栄町、五日町、旭町、日の出町、仁科町、光明町、高見町、南原町、堀六日町、東町、下白塩町、北原町、十日町、桜田町、若宮町、東若宮町、西若宮町、大新田町、高根町、昭電アパート
八坂中学校	八坂の全区域
美麻中学校	美麻の全区域

7 小規模特認校制度

大町市では、平成27年4月から、八坂小学校、美麻小学校、八坂中学校及び美麻中学校は、市内全域から通学できる小規模特認校となりました。小規模学校ならではの特色を生かして、地域と連携した学校づくりに取り組んでいます。

8 就学相談委員会取扱件数

(平成26年度)

区 分	取扱件数	相 談 結 果					
		通常学級	通級指導	特別支援学級	特別支援学校	就学猶予	その他
在 籍 者	48	6	8	31	3	0	0
来 入 児	32	18	0	13	1	0	0
計	80	24	8	44	4	0	0

9 就学援助

(1) 要保護および準要保護児童生徒援助費

(平成26年度)

区 分	小 学 校		中 学 校	
	人 員	金 額	人 員	金 額
学用品・通学用品・校外活動費 (宿泊を伴わないもの)	138人	2,124,675円	105人	2,421,526円
体 育 実 技 用 具 費	12	255,252	1	33,800
校外活動費 (宿泊を伴うもの)	13	36,866	50	335,736
新入学児童生徒学用品費等	24	500,520	33	777,150
修 学 旅 行 費	20	608,438	39	2,615,462
医 療 費	29	244,468	5	34,848
学 校 給 食 費	138	6,927,670	104	5,807,737
計	139	10,697,889	106	12,026,259

(2) 特別支援教育就学奨励費

(平成26年度)

区 分	小 学 校		中 学 校	
	人 員	金 額	人 員	金 額
学 用 品 購 入 費	38人	211,745円	17人	182,280円
校 外 活 動 費 (宿泊を伴うもの)	2	2,944	7	13,889
新入学児童生徒学用品費等	6	62,140	5	47,100
修 学 旅 行 費	9	93,960	7	197,295
校 外 活 動 費 (宿泊を伴わないもの)	36	21,889	4	2,844
体 育 実 技 用 具 費	0	0	0	0
学 校 給 食 費	38	981,942	17	477,521
計	38	1,374,620	17	920,929

(3) 遠距離通学費補助

スクールバスの運行状況

(平成26年度)

	利用者数	委託金額
東小スクールバス	27	10,819,230
北小スクールバス	51	9,556,810
北小・第一中スクールバス	73	10,013,403
仁科台中スクールバス	25	4,354,182
八坂小中スクールバス	21	2,829,600
美麻小中スクールバス	82	8,748,000
臨時運行スクールバス		3,649,994
計		49,971,219

距離通学扶助の状況

(平成26年度)

	金額
小学校遠距離通学扶助費	287,700
中学校遠距離通学扶助費	4,231,040
計	4,518,740

10 中学校卒業後の状況

(1) 年度別状況

(平成27年3月卒業)

年 度	卒 業 者			進 学 者			就 職 者			そ の 他					
	男	女	計	男	女	計	率	男	女	計	率	男	女	計	率
平成 19	157	169	326	155	169	324	99.4%	1	0	1	0.3%	1	0	1	0.3%
20	170	153	323	169	151	320	99.1%	0	0	0	0.0%	1	2	3	0.9%
21	186	124	310	184	123	307	99.0%	1	0	1	0.3%	1	1	2	0.6%
22	167	145	312	166	144	310	99.4%	0	0	0	0.0%	1	1	2	0.6%
23	162	170	332	160	169	329	99.1%	0	0	0	0.0%	2	1	3	0.9%
24	169	149	318	168	149	317	99.7%	1	0	1	0.3%	0	0	0	0.0%
25	155	123	278	154	123	277	99.6%	0	0	0	0.0%	1	0	1	0.4%
26	165	144	309	164	140	304	98.4%	0	0	0	0.0%	1	4	5	1.6%

※進学者には就職進学者を含む
(平成27年3月卒業)

(2) 学校別状況

年 度	卒 業 者			進 学 者			就 職 者			そ の 他					
	男	女	計	男	女	計	率	男	女	計	率	男	女	計	率
第一中学校	61	42	103	61	41	102	99.0%	0	0	0	0.0%	0	1	1	1.0%
仁科台中学校	91	95	186	90	94	184	98.9%	0	0	0	0.0%	1	1	2	1.1%
八坂中学校	8	1	9	8	1	9	100.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%
美麻中学校	5	6	11	5	4	9	81.8%	0	0	0	0.0%	0	2	2	0.0%
計	165	144	309	164	140	304	98.4%	0	0	0	0.0%	1	4	3	1.0%

※進学者には就職進学者を含む

(3) 進学の様況

(平成27年3月卒業)

学校名	進学者数	高校(公立)		高校(私立)		高専	その他	地域別			
		定時制		定時制				市内	郡内	県内	県外
		全日制	定時制	全日制	定時制						
第一中学校	102	83	1	14	0	1	3	33	20	48	1
仁科台中学校	184	161	3	18	0	1	1	77	34	72	1
八坂中学校	9	8	0	1	0	0	0	3	1	3	2
美麻中学校	9	8	0	0	0	0	1	4	1	2	2
合計	304	260	4	33	0	2	5	117	56	125	6

(4) 就職の様況

(平成27年3月卒業)

学校名	就職者数	就職地域別				産業別			
		市内		県内		県外	第1次産業	第2次産業	第3次産業
		市	郡	市	郡				
第一中学校	0	0	0	0	0	0	0	0	
仁科台中学校	0	0	0	0	0	0	0	0	
八坂中学校	0	0	0	0	0	0	0	0	
美麻中学校	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	

1 1 奨 学 金

(1) 奨学金の貸し付け

ア 貸し付けの対象者

高等学校（高等専門学校等課程及び専修学校高等課程を含み、通信制の課程を除く）
又は大学（短期大学、高等専門学校専門課程及び専修学校専門課程を含み、大学院及び通信制の課程を除く）に在学する者で次の要件に該当する者

- (ア) 市内に居住する者又は生活の根拠を有する者
- (イ) 成績が優秀で身体が強健であること
- (ウ) 品行方正であること
- (エ) 経済的理由により就学が困難と認められること
- (オ) 独立行政法人日本学生支援機構、県その他の団体から別に学資等を受けていないこと

イ 貸付金額

高 校 生 月額 15,000 円以内

大 学 生 月額 30,000 円以内

ウ 返済方法

卒業後6か月後から貸付期間の倍の期間以内に返済する。

(2) 貸付数

年 度 対象区分	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
高 校 生	4 ^人	3 ^人	6 ^人	5 ^人	4 ^人	1 ^人	0 ^人	1 ^人	3 ^人	3 ^人
大 学 生	14	13	15	15	7	7	5	2	2	4
計	18	16	21	20	11	8	5	3	5	7

年 度 対象区分	23	24	25	26	27
高 校 生	2 ^人	0 ^人	0 ^人	0 ^人	0 ^人
大 学 生	2	2	1	1	2
計	4	2	1	1	1

1 2 私学振興

(1) 私学に対する父母負担の軽減

(平成26年度)

補助対象者	基準人数	補助単価	補助人数	補助金額	備考
朝鮮学園在籍者	1人	9,000円	2人	18,000円	学園に補助
私立高校在籍者	1人	22,000円	94人	2,068,000円	保護者に補助

1 3 教員住宅

平成27年5月1日現在)

住宅名	所在地	建設年度	床面積 (m^2)	戸数	使用料 円
幸町教員住宅	大町市大町4692-1ほか	平成10年	33.7	6	19,000
			78.3	6	29,000
旭町教員住宅	大町市大町2794-1	46	43.6	6	7,000
館の内教員住宅	大町市社5610-2	47	43.6	6	8,000
俵町教員住宅	大町市大町5722-5	60	80.7	2	21,000
		62	80.7	2	21,000
		平成元年	45.6	2	14,000
桜田町教員住宅	大町市大町3841-1	63	80.7	1	23,000
旭町教員アパート (借上)	大町市大町2952-2ほか	平成13年	31.2	6	26,000
			50.2	6	29,000
大平教員住宅	大町市八坂1008-イ3	53	66.0	1	4,000
	大町市八坂1112	56	66.0	1	4,000
明野教員住宅	大町市八坂701-1	平成7年	50.0	4	20,000
長平教員住宅	大町市美麻11291-1	50	67.0	1	4,200
		49	58.0	1	5,300
北原教員住宅	大町市美麻11566ほか	50	58.0	2	4,200
	大町市美麻11568	54	45.4	2	3,200
	大町市美麻11569-1	58	45.4	2	3,200
前田教員住宅	大町市美麻11727-1	55	45.4	2	3,200

14 コミュニティスクール

コミュニティスクールとは

コミュニティスクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。コミュニティスクールには、保護者や地域住民などから構成される学校運営協議会が設けられ、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べるといった取組が行われます。学校運営協議会の主な役割として、

- ・「校長の作成する学校運営の基本方針を承認する」
- ・「学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べる」
- ・「教職員の任用に関して教育委員会に意見が述べられる」

の三つがあります。これらを通じて、保護者や地域の皆さんの意見を学校運営に反映させることができ、自分たちの力で学校をより良いものにしていこうとする意識が高まり、継続的・持続的に「地域とともにある、特色ある学校づくり」を進めることができます。

(1) 学校運営協議会を置く学校

ア 大町市立美麻小中学校

学校運営協議会指定日 平成26年4月1日

イ 大町市立八坂小学校・中学校

学校運営協議会指定日 平成27年4月1日

(2) 信州型コミュニティスクール

長野県教育委員会独自に行っている学校と地域の連携・協力を推進する事業で、学校運営に保護者や地域住民が参画・評価を行う国の「コミュニティスクール」と地域ぐるみで支える 国の「学校支援地域本部事業」を組み合わせた機能を持つ仕組みです。地域住民の皆さんに、日常的に学校に来ていただき、子どもたちのことを支援していただいたり、子どもの教育や学校運営について話し合う、学校運営委員会を設置し、学校と地域が「こんな子どもを育てたい」という願いを共有しながら、一体となって子どもを育てる持続可能な仕組みを持った地域と共にある学校で、学校と地域の協働を推進します。

ア 学校運営委員会の設置を予定している学校

- ・大町市立大町東小学校
- ・大町市立第一中学校
- ・大町市立大町西小学校
- ・大町市立仁科台中学校
- ・大町市立大町南小学校
- ・大町市立大町北小学校

15 ICT活用事業

ICT活用事業について

教育の情報化が飛躍的に進み、教育現場におけるICTを活用した授業は、パソコンが学校に導入されたころと比較すると新たな局面を迎えている。また、社会情勢を踏まえると、情報化のみならず、グローバル化、少子化の急速な進展への対応は喫緊の課題であり、次代を担う児童生徒の知識、技能を高めること、併せて新たな時代に対応できる素質・能力を育成することが急務となっている。

そこで大町市では、これらの課題に対応するべく、ICTを学習の効果的なツールとして活用しながら、アクティブ・ラーニングによる授業の活性化を図り、児童生徒の資質・能力の基盤となる思考力・判断力・表現力を高めることを推進していく。また、小学校・中学校の連携や一貫教育を進め、義務教育9年間を通してアクティブ・ラーニングによる授業を実践していく。

(1) ICTを活用した教育推進自治体応援事業

平成27年度より2年間、文部科学省による「ICTを活用した教育推進自治体応援事業」の採択を受け、市内5校を実証校として、理科、算数、数学を中心としてモデルカリキュラムを作成することとした。事業の推進のために、大町市ICT活用推進委員会、大町市ICT活用推進調査研究委員会が信州大学、長野県教育委員会等と緊密に連携して事業を実施するとともに、モデルカリキュラムの検討及び評価を行うこととした。また、作成したモデルカリキュラムについては、市内学校間で情報共有することとしている。

(2) 研究内容

ア 平成27年度の研究

(ア) 調査研究のガイダンスとなる研修会等の実施

- ① 授業参観による研修
- ② 研修会等による研修
- ③ ICT機器利用の研修

(イ) 公開授業研究会の実施

(ウ) 小中連携または一貫教育におけるカリキュラムの作成

(エ) ICTを活用した授業の蓄積

2 平成28年度の研究(予定)

(ア) ICT利活用に関する研修会等の実施

(イ) 公開授業研究会の実施と学習指導案の整理

(ウ) 小中連携または一貫教育におけるカリキュラムの完成

(エ) ICTを活用した授業の蓄積と整理

(オ) まとめ

(カ) 報告および活用

16 キャリア教育

大町市では市内の幼稚園及び保育園、小学校及び中学校並びに高等学校が連携して行うキャリア教育を推進するため、大町市キャリア教育推進協議会を設置して子どもたち一人ひとりの社会的及び職業的自立に向けた取組を支援している。また、市独自に教育委員会内にキャリアサポーターを配置して、中学校や高校を卒業したものの進学や就労をせずに家に引きこもったり、ニート状態にある若者への支援（就職や進学への支援等）に直接あたっている。

(1) 活動の重点

ア 小学生の職場見学及び中学生と高校生との職場体験学習の充実

- 中学校職場体験学習期間の調整
- 受入事業所の開拓（小学校での職場見学を含）
- 学校での事前・事後指導の充実（講師派遣を含）

イ 保護者、地域、事業所等へのキャリア教育の啓発

- 広報紙やケーブルビジョンや地域文化祭等で職場体験学習の発表機会を提供

ウ キャリアサポーターによる若者支援の充実

- 高校徒指導担当者との情報交換の実施
- 市内教頭会で卒業生の動向や不登校生の状況等の情報交換
- 就労や進学支援のために該当する各種機関と随時連携して取り組む
- 不登校生やひきこもり者への支援研修会の実施

(2) 活動内容

- 平成27年度大北地区高等学校生徒指導担当者とのキャリア支援懇談会（年2回）
- 各学校で行われるキャリア教育講演会（進路講話等）の講師紹介
- 平成27年度職場体験学習受け入れ事業所一覧表の作成と各学校への紹介
- 高等学校生徒指導及び学級担当とのキャリア支援のための懇談会（一学期中に各校へ訪問）
 - ・エクセラン高校、むつみ高校、つくば開成高校、KTC高校、筑摩高校、創造学園
 - ・大町高校、大町北高校、白馬高校、池田工業高校（定時制含）
- 市内中学・高校生の職場体験学習への支援
 - ・第一中学校 2年生94名（7月2～3日）
 - ・八坂中学校 1・2・3年34名（6月16～17日）
 - ・仁科台中学校 2年生142名（9月9～10日）
 - ・美麻小中学校 7・8年32名（10月29～30日）
 - ・大町北高等学校 2年生希望者43名（夏休み）、1年生は全員（12月8～9日）
- 夏休み小学生親子工場見学（商工労政課との共催で2日間）
 - ・「AWウォーター」、「ラインハルト」、「傳刀組」、巴産業」の見学（小学生31名、

保護者 2 2 名参加)

- 平成 2 7 年度大町市キャリア教育推進協議会開催
 - ・職場体験学習での実践発表・・・美麻中学校生徒 2 名、大町北高等学校生徒 3 名
 - ・市内中・高生による職場体験学習実施状況と課題
 - ・キャリアサポーターによる若者支援の状況と課題
 - ・平成 2 8 年度キャリア教育推進計画について
- 平成 2 8 年度小学生の職場見学及び中学生及と高校生の職場体験学習受入事業所調査
 - ・来年度は市内 1 0 0 事業所より子どもたちの職場見学及び職場体験を受け入れる旨の回答
 - ・受入事業所一覧表を作成して市内小・中・高等学校へ紹介

1 7 中間教室

中間教室（アルプスの家）では、学校と家庭の連携を密にしながら、児童生徒一人ひとりの状況に応じた支援を行います。それぞれの子どもの状態を見ながら、一日の日課や活動内容を工夫し、集団活動や学ぶことの楽しさ、充実感が実感できるよう支援しています。

(1) アルプスの家

- 設置場所 大町市大町 4 7 1 0 番地
- 電話番号 0 2 6 1 - 2 3 - 6 4 1 8
- 開所時間 月曜日～金曜日 9 時から 1 5 時 3 0 分
- 平成 2 6 年度利用者数（実人数）

	男	女	計
小学校	1 人	2 人	3 人
中学校	1 人	6 人	7 人
合計	2 人	8 人	1 0 人

18 いじめ防止対策

学校におけるいじめの問題は、これまでは生徒指導と人権教育の両面を中心として、その防止に取り組んで来たが、平成24年度の天津市での事件を受けて、いじめ防止に向けた一層の取り組みが求められている。そこで大町市では、「いじめ防止対策推進法」と「国の基本方針」及び「長野県いじめ防止等のための基本方針」を踏まえ、教育委員会、学校、家庭、地域それぞれの取り組みについて明らかにした「大町市いじめ防止等の基本方針」を定め、これに基づいて子どもたちのいじめ防止に向け積極的に取り組んでいる。

(1) 教育委員会におけるいじめ防止の取組

教育委員会では、いじめ防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進するために「大町市いじめ防止等の基本方針」を定め、設置する学校でいじめ防止等の対策が適切に実施されるよう、その支援に取り組む。

ア いじめ防止等に関わる組織の設置

いじめの防止等に関係する機関及び団体との連携を図るため、校長会、PTA連合会、児童相談所、地方法務局、警察署、人権擁護委員会等の代表で構成する「大町市いじめ問題対策連絡協議会」を設置し、いじめ防止等に向けた取組を推進する。

イ いじめ相談ホットラインの設置

市教育委員会内にいじめ相談のための専用電話（教育相談専用電話）を設置して、いじめで悩んでいる子どもたちや保護者への相談にあたる。

ウ 関係機関との連携及び啓発活動の推進

- ・いじめ防止等に向けて学校、家庭、地域や関係機関等との連携を図る。
- ・教育相談やいじめへの対処に関し助言を行うために、学校からの求めに応じて、県教育委員会と連携し、心理や福祉等に関する専門的知識を有する者を派遣する。
- ・いじめ防止等に関わる研修会等を企画実施する。
- ・学校や社会教育団体等が実施するいじめ防止等のための活動を積極的に支援する。
- ・いじめ防止等の重要性及びいじめに関する相談窓口等について広報や啓発を行う。
- ・インターネット等を通じて行われるいじめについては、県教育委員会のネットパトロールによる監視の取組を活用し、適切に対処する。

エ 学校に対する支援

- ・学校からいじめの報告を受けた場合、市教育委員会は学校に対して必要な支援と指導助言を行う。
- ・学校におけるいじめ防止等の取組の点検と充実を支援する。

(2) 学校におけるいじめ防止の取組

学校では、県及び市の方針を受け、校長のリーダーシップのもとに全職員が一丸となっていじめ防止等に取り組む。

ア 基本方針の策定と環境づくり

- ・学校は、県及び市の基本方針に基づき、その学校の実情に応じた「学校いじめ防止基本方針（いじめ防止対策マニュアルを含む）」を策定し、児童生徒や保護者、地域等に周知し連携しながらいじめ防止等に取り組む。
- ・学校は、全ての児童生徒にとって安心・安全で、楽しく充実していると実感できる「心の居場所」となるよう、家庭や地域等と連携し、全校をあげていじめの防止等に取り組む。
- ・全ての教育活動を通じて、道徳教育や人権教育等の充実を図り「心の教育」と「いのちの教育」を推進する。
- ・学級や学年、児童会や生徒会の活動など、いじめを生まない学校とするための児童生徒自らによる主体的な取組を積極的に支援する。

イ いじめ防止及びいじめへの組織的な対処

- ・学校は、いじめ防止等に関する措置を実効的に行うため「いじめ防止等対策委員会」を設置する。
- ・いじめが発生したときは、学級担任等特定の教員が抱え込むことなく、校長のリーダーシップのもと、職員間の緊密な情報交換や共通理解を図って全校体制で対応し、解決するまで継続的に取り組む。
- ・学校においていじめを把握した場合には、速やかに教育委員会に報告するとともに、保護者にも知らせ、必要に応じ主任児童委員、民生児童委員、子ども会育成会、自治会等関係機関と連携を図って対処する。

ウ 児童生徒理解と早期発見・早期対応

- ・日常的な行動観察に加え、定期的なアンケート調査等を実施し、全校的な指導体制でいじめの早期発見・早期対応に努める。
- ・全員の面接実施やスクールカウンセラー等の活用など、教育相談体制を充実する。
- ・いじめにつながるインターネット上での誹謗中傷や不適切な書き込み等を行わないよう、児童生徒への情報モラル教育を充実するとともに、保護者への情報提供と家庭での指導の徹底を求める。

(3) 家庭におけるいじめ防止の取組

家庭では、子ども誰もが「いじめる側」にも「いじめられる側」にもなる可能性があることを理解し、寄り添い支えながらいじめの問題に取り組む。

ア 保護者の責務

- ・保護者は、子どもの教育の第一義的責任を有することを自覚し、子どもがいじめを行うことのないよう規範意識を養うとともに、その他必要な指導を行う。

イ いじめの理解と対処

- ・保護者は市や学校が講ずるいじめ防止等の対策に協力する。
- ・インターネットを通じたいじめの現状について知り、家庭におけるネットモラルの指導とルールづくりを行い、子どもがいじめの加害者や被害者にならないようにする。
- ・いじめが疑われたときは、家庭だけで悩まず、積極的に学校や関係機関等に相談し連携して対応する。

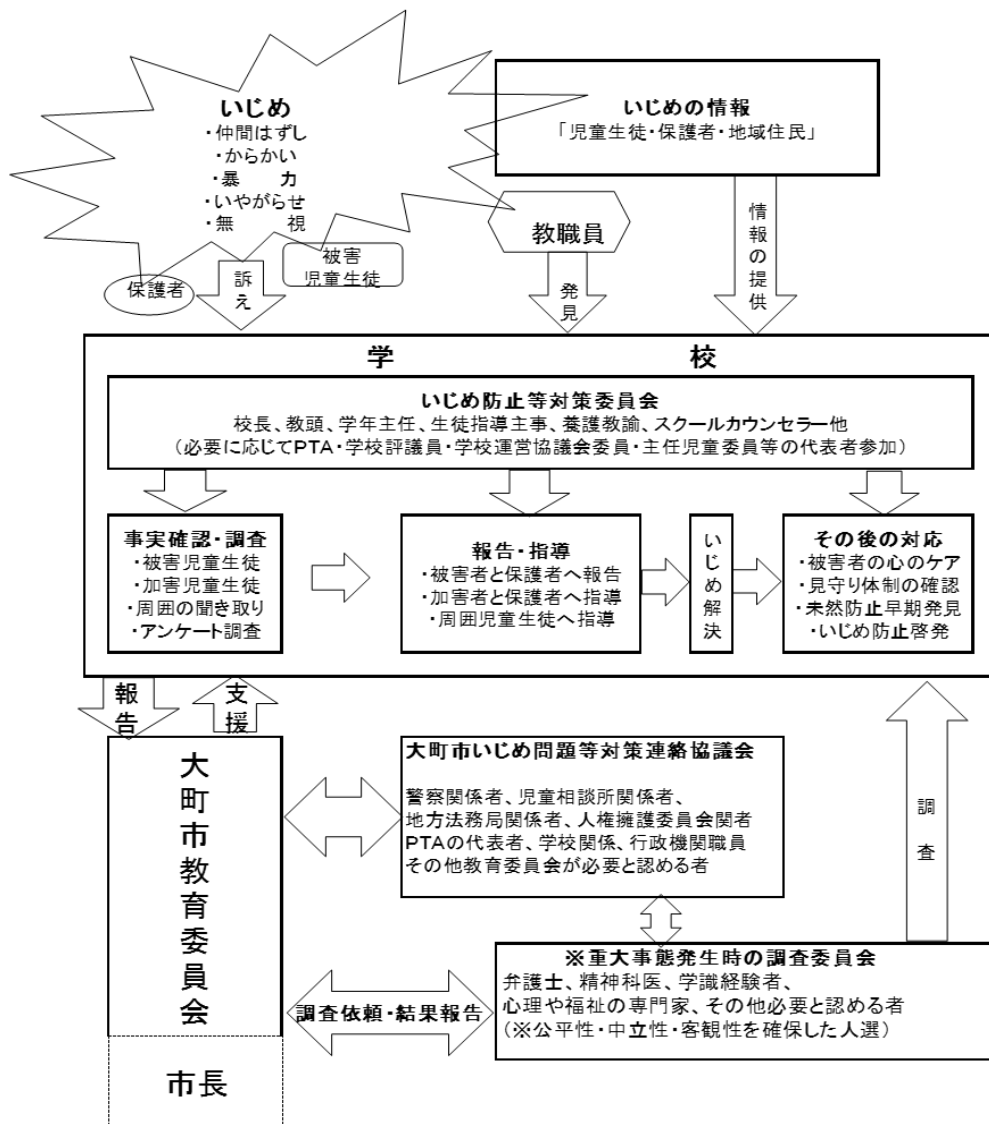
(4) 地域における取組

地域では大勢の大人が子どもたちと関わることによっていじめを生まない地域ぐるみのつながりづくりに取り組む。

- ・いじめは地域においても行われることがあるところから、登下校時等において、地域として子どもたちを温かく見守り、積極的な声かけを行う。
- ・地域の行事や文化活動、スポーツ活動等においても規範意識や思いやりの心、さらには社会性を育みながらいじめ等の防止に努める。
- ・学校や保護者、地域諸団体と連携し、いじめのない社会の実現に努める。
- ・いじめを発見したら、その場で「いじめは許されない行為であること」を指導し、保護者や学校に知らせ、連携して対処する。

いじめへの対応(フローチャート)

大町市教育委員会



19 児童・生徒の家庭における生活習慣への取り組み

今日の情報化社会や多様化社会と呼ばれるような社会システムの大きな変化は、児童・生徒を取り巻く環境にも様々な影響をおよぼしてきている。

特に、多機能性を持つメディア機器であるスマートフォン等の急速な普及に伴い、無料通話アプリやSNS、オンラインゲーム等のいわゆるソーシャルメディアにより高い利便性が得られる一方、長時間利用による生活習慣の乱れや、不適正な利用による青少年の犯罪被害、いじめやプライバシー上の問題等につながるケースも見られることから、青少年がこのようなリスクや対応策を理解した上で、スマートフォン等を正しく利活用できる環境を整えることが、従来にも増して重要となっている。

この様な背景から、家庭における規則正しい生活の確立とテレビやゲーム、携帯電話等の使用をはじめとする生活習慣の改善について、その解決を家庭だけに委ねるのではなく、学校、家庭、そして地域と行政が一体となって取り組むため、「家庭における児童・生徒の生活習慣改善検討委員会」を平成25年度に設置し、「児童・生徒の家庭生活習慣の確立とメディア漬け危機への対策」への取り組みを、大町市青少年育成市民会議、大町市子ども会育成連絡協議会、大町市PTA連合会、大町市教育委員会と連携、共同して展開している。

○「きらり おおまち サンプラン」

児童・生徒の生活習慣や情報機器の利用状況等の実態調査を基に、望ましい生活習慣の確立を促すため、親子でより良い生活習慣づくりに取り組む指針として「きらり おおまち サンプラン」を作成し、市内全戸に配布するとともに、機会あるごとに周知活動に取り組んでいる。

【こころづくり・からだづくり・リズムづくりの3つのプラン（サンプラン）をキャッチフレーズに取り組みを進めている。】

○「インターネットの安全な利用に関するリーフレット」

スマートフォン等を正しく利用するための家庭におけるルールづくりを推奨するため「インターネットの安全な利用に関するリーフレット」を作成し、幼稚園、保育園、小中学校、高等学校において、全児童・生徒に配布するとともに、携帯電話等の購入シーンに合わせて、販売店等において対象者へ配布。

20 通学の安全確保に関する取り組み

(1) 子どもの安全を守る地域連絡会

平成17年に小学校区ごとに、地域の関係諸団体に参画いただき発足。

(2) 安心安全マップの作成・公開

ア 学区内の交通安全上の危険・注意箇所等の情報を地図上に「安全マップ」として作成し、各家庭に配布して注意喚起を図る。

イ 「安全マップ」の情報を集約し、GIS（地理情報システム）を活用した「おおまち子ども安心・安全マップ」を平成23年に構築、インターネット上に公開し、情報を学校や地域間等で共有し、さらなる児童生徒の安全確保の徹底を図る。

○安心・安全マップ掲載箇所数

学校名	交通に気をつけるところ	水路に気をつけるところ	冬季に気をつけるところ	その他の危険に気をつけるところ	計
東小学校	35	21	7	6	69
西小学校	35	6	2	7	50
南小学校	3	37	7	1	48
北小学校	36	23	1	12	72
美麻小・中学校	5	4	7	1	17
第一中学校	13	7	9	2	31
仁科台中学校	10	1	1	0	12
八坂小・中学校	8	17	4	12	41
計	145	116	38	41	340

(3) 緊急合同点検の実施

ア 平成24年に、小学校、教育委員会、大町警察署、交通安全の関係機関、道路管理者が緊急合同点検を実施。

各小学校から40項目に及ぶ危険箇所の報告を受け、見通しの悪い交差点や、歩道がなく狭い道路で交通量の多い場所、道路脇に大きな水路がある場所などの現地調査を行い、関係機関や地域と連携し、計画的に危険箇所の改善に取り組み、40箇所中32箇所について対策を実施。

イ 平成26年度に、再度各小学校区の合同点検を実施し、現在危険箇所の改善を進めている。

○対策状況（平成 27 年 11 月 1 日現在）

学校区	点検箇所総数	対策予定箇所数		対策未定箇所
		27年度中	28年度以降	
東小学校	6	5(5)	1	
西小学校	7	6(5)	1	
南小学校	8	5(2)	3	
北小学校	9	9(4)	0	
八坂小学校	3		3	
美麻小学校	3	2(1)	1	
総数	36	27(20)	9	0

※（ ）内数は、一部対応箇所数（内数）

（4）大町市通学路交通安全プログラムの策定（H27.3策定）

【通学路の交通安全の確保に向けた取組みの基本的方針】

- 学校及び保護者、道路管理者、警察署等の関係者が連携して、児童及び生徒の通学路における交通安全の確保を図り、着実かつ効果的な取組みを推進するため、大町市通学路安全推進会議を平成26年設置。
- 委員構成
長野国道事務所、大町建設事務所、大町警察署、長野工業高等専門学校、大町市PTA連合会、大北PTA連合会、大町市校長会及び庁内関係部署（学校教育課、市民課、建設課）から選出された11名で構成。
- 今後の取組み
各小学校区ごとに継続的に合同点検を実施し、対策実施後の効果把握、対策の改善・充実を図るため、PDCAサイクルによる取組みを実施。

【通学路の安全確保のためのPDCAサイクル】



2 1 学校給食

(1) 学校給食の基本方針

児童生徒に安全で安心な学校給食を安定的に提供するため次のとおり基本方針を定める。

- 児童生徒の健康の増進、体位の向上及び正しい食習慣の形成を図る。
- 栄養管理や望ましい食生活形成に関する家庭の教育力の活性化を図る。
- 食についての衛生管理を体験させる。
- 食や栄養に関する正しい知識を身につけ、自らの食生活を判断する能力を習得させる。
- 地域の水や農作物などの豊かな資源や自然環境、地域内循環について知り、自然の恵みや生産に係る人々へ感謝する心を育む。
- 地産地消の推進及び郷土食などを通じて、地域の食材や食文化を理解し郷土愛を育む。
- 児童生徒に集団生活を体得させ、協働・協調の精神を身につけさせるとともに、児童生徒間や教師と児童生徒の心の触れ合いを育む。

(2) 学校給食の重点施策

上記の基本方針を実現するため次の施策を行う。

- 当面小中学校では「自校直営方式」（平成 18 年市村合併による八坂共同調理場を除く。）とする。
- 施設状況を調査し、効率的で計画的な施設整備を行う
- 「大町市食育推進計画」を基本とした食育の推進に努める。
- 衛生管理については、調理員、栄養士を対象とした講習会、研修会を開催のほか食品管理、作業管理、事故発生時の適切な対応等についてマニュアル化を進めている。
- アレルギー児童生徒の対応については、県のマニュアルに準拠し、アレルギー食（代替食・除去食）での対応に努める。
- 地産地消については、地域の生産者や生産組合等と連携を図り、積極的に取り組む。
- 安心で安全な学校給食を提供することを第一に、福島原子力発電所事故に伴い汚染等が心配させる地域からの食材について放射能物質検査を実施し、安全性を確認した食材を提供する。

(3) 学校給食の実施状況

27年5月現在

学校名・施設名	給食提供数 (児童生徒分)	一食当たり 給食費	市から学校給食への 補助金(年間)
大町東小学校	216食	275円	1,490円/人
大町西小学校	298食	275円	1,490円/人
大町南小学校	334食	275円	1,490円/人
大町北小学校	385食	275円	1,490円/人
八坂小学校 (共同調理場)	44食	275円	1,490円/人
美麻小中学校	85食	1～6年生275円	1,490円/人
		7～9年生315円	1,860円/人
第一中学校	284食	305円	1,860円/人
仁科台中学校	404食	305円	1,860円/人
八坂中学校 (共同調理場)	33食	315円	1,860円/人

Ⅲ 生涯学習推進と

社会教育



いきいき学習 エンジョイライフ 大町

生涯学習推進と社会教育

生涯学習基本方針

生涯学習とは、一人ひとりが健康で豊かな生活を営むことや、仕事や生活に役立つ知識や技術を身につけ、生きがいのある人生を送るために、自発的意思に基づき、自分に適した方法を選んで生涯を通じて行う学習と言われています。

生涯学習にはあらゆる学習活動が含まれています。学校や社会の中で行われている意図的・組織的なものから、趣味、資格取得、企業内研修、スポーツ活動、レクリエーション活動、芸術・文化活動、ボランティア活動、自然体験活動、地域づくり活動、世代間交流活動など幅広いものがあります。

また、学習の方法には、読書、テレビ、通信教育、インターネットなどを利用して行う個人の学習もあれば、学校や公民館、民間機関などで行われるものもあります。したがって私たちは分野や程度の違いはあるとしても、だれでも既に生涯学習をしているといえます。

このように学習を楽しみながら続けることで、個人の達成感や仲間との充実感、一体感などが私たちの生活の支えになり、いきいきとした豊かな人生が育まれます。また、学習の成果を地域で生かすことは地域社会の活性化やまちづくりの大きな力になります。

今後、人々が充実した人生を築くためには、生涯にわたる自主的な学びを通し、その成果を生かすことのできる生涯学習社会の実現が求められています。

そして、こうした社会を実現するための重要な機能として、家庭教育、学校教育、社会教育が相互に連携・協力していく必要があります。

生涯にわたって、自主的に、かつ快適に学び、その成果を生かせる生涯学習社会の実現に向け、平成 26 年度から平成 30 年度を計画期間とする生涯学習推進プランの三つの基本方針を掲げ、全市的に取り組めます。

- 生涯学習の基盤づくり
- 地域全体で取り組む子育て支援
- 協働を基本とした地域コミュニティの再生

社会教育基本方針

社会教育とは、教育基本法第12条で「個人の要望や社会の要請にこたえ、社会において行われる教育」とされており、社会教育法第2条で「学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーションの活動を含む。）」と規定されています。

一般的には学校教育を除いた包括的な教育概念として理解されており、人々の生活の向上や職業能力の獲得と開発、個人の学習要求の実現や能力開発、さらに地域社会の形成や発展に貢献することなどを目的として実施される教育活動を言います。

社会教育は、学校教育にとらわれない幅広い内容を持っており、学習活動の内容は様々で、学校教育を補充・補完し、発展・拡張する内容を持っていることから、家庭教育を含めて生涯学習社会実現の中核を担うものです。

近年の社会環境は、高度情報化・少子高齢化による社会構造の変化や家庭生活の変化、価値観の多様化、貧困や格差の顕在化、そして震災や豪雨などの自然災害、原発問題など急激な変化を遂げています。このような時代背景の中で、市民の学習要求の多様化・高度化や、様々な地域課題の解決に対応するために、社会教育の果たすべき役割は極めて大きいといえます。新しい時代の生活に即した知識や技術、教養を高め、心の豊かさや生きる力を育むためにも、学校や地域、民間の諸活動、市長部局などとの幅広い連携の下、学習ニーズを的確に把握し、市民の生涯にわたる自主的な学習活動のための、様々な学習機会の提供や内容の充実、推進体制の整備が求められています。

希薄化傾向にある地域社会のつながりを取り戻し、個人の学びが地域に循環・還元することにより、活力あるまちづくりの推進を目指すため、社会教育計画を基本として、次の三つの柱を重点に社会教育の推進を図ります。

- 生涯各期における学習活動の充実
- 多様な分野の学習活動の充実と促進
- 自由に学び成果を生かせる学習環境の整備



文化祭の様子

1 生涯学習・社会教育

大町市の生涯学習・社会教育の推進には、「生涯学習推進プラン」「社会教育計画」を基本として全市的な取り組みが進められています。多様化する市民のニーズに応じた学習を展開するとともに、習得した知識・技術・能力を地域に還元できるよう、関係機関と連携協力し、調整を図りながらまちづくりを進めます。

(1) 重点施策

ア 生涯各期における学習活動の充実

- (ア) 郷土愛につながる学習活動の充実
- (イ) 青少年の非行防止・健全育成
- (ウ) 自然体験などの体験活動の充実

イ 多様な分野の学習活動充実と促進

- (ア) 芸術文化の振興
- (イ) 自然や環境に関する学習の促進
- (ウ) 科学の振興

ウ 自由に学び成果を生かせる学習環境の整備

- (ア) 学社融合・学校開放事業の促進
- (イ) 生涯学習ボランティア活動などの促進
- (ウ) 情報提供・相談事業の充実
- (エ) 社会教育推進体制の強化と施設機能の充実
- (オ) 学習成果の評価と活用
- (カ) 市民の自主的・主体的活動支援の推進

(2) 主な事業

ア 生涯学習の推進

- (ア) 生涯学習推進体制づくり…生涯学習のまちづくり推進本部体制の強化
- (イ) 生涯学習リーダーバンク（ボランティアを含む）の充実
- (ウ) 職員派遣制度（出張講座）の拡充
- (エ) 学習情報の集約、提供による学習支援
- (オ) 学校開放の推進
- (カ) 学社連携・融合事業の推進……学社融合事業の実施

イ 社会教育の推進

- (ア) 基盤整備
 - ①社会教育計画に基づいた事業の推進
 - ②社会教育関係団体の育成・活動支援
 - ③社会教育関係課、係、施設の連絡調整
 - ④社会教育指導員設置事業
 - ⑤社会教育施設の整備

⑥大町公民館分室の管理運営とその体制の充実

⑦蔵の音楽館の運営と体制の充実

⑧コミュニティ施設等整備事業補助

⑨信濃木崎夏期大学への協力

(イ) 芸術・文化の振興

①美術振興や美術品収集、施設の充実

②「ギャラリー・いーずら」における企画展示及び一般貸し出し

③市所蔵の美術品の台帳整備

④安曇野アートライン推進協議会関連事業の推進

⑤美術館めぐりの実施

(ウ) その他

①成人式の実施

②エネルギー博物館の運営支援

③科学振興会の運営支援事業

④大町市史・郷土学習冊子の発行

ウ 職員研修

(ア) 生涯学習、社会教育関係全般

2 青少年

次代を担う青少年の健全育成を図ることを、社会全体の課題としてとらえ、家庭、学校、地域社会が一体となった市民ぐるみの取り組みとして根付くよう努め、青少年育成市民会議、子ども会育成会活動の活性化、青少年センターにおける活動等の充実を図る。

(1) 重点施策

ア 青少年の健全育成

「健全な明るい家庭づくり」「たくましい青少年づくり」「心のふれあう地域づくり」を基調として、市民の理解と協力を得ながら、総合的かつ効果的な取り組みを推進する。

- (ア) 青少年育成市民会議を通じた市民ぐるみの運動の推進
- (イ) 子ども会育成会等関係団体との連携、組織強化と活性化
- (ウ) 青少年センターの運営による教育相談、補導活動等の充実
- (エ) 青少年リーダーの養成

イ 市民の連帯意識の高揚

明るくおもしろい心のある心を育て連帯の気風を高めるため、市民総参加による「あいさつ運動」を進める。

(2) 主な事業

ア 青少年の健全育成

○青少年関係

- (ア) 地域子育てセミナーや家庭教育懇談会の開催
- (イ) 子ども会育成会の少年リーダー養成研修会開催
- (ウ) 青少年リーダーの養成
- (エ) 全国子ども会安全共済会への加入
- (オ) 青少年育成啓発事業推進
- (カ) 小・中・高生徒指導連絡会開催
- (キ) 子どもセンター事業の展開による、情報収集・情報提供及び、相談業務

○補導関係

- (ア) 街頭補導の充実
- (イ) 地域における青少年の健全育成と非行防止
- (ウ) 環境浄化活動の実施
- (エ) 関係機関との懇談会、連絡会開催
- (オ) 電話相談、面接相談の実施
- (カ) 青少年センターだよりなどの広報啓発活動の充実

イ 市民の連帯意識の高揚

自治会・学校・企業などの協力を得ながら、市民総参加による「あいさつ運動」の推進

平成27年度 青少年対策事業推進計画一覧表

(1) 育成関係

事業名	事業のねらい	実施内容 (参加対象)	実施時期	実施場所	備考
1 地域子育てセミナー ・家庭教育懇談会	○青少年の諸問題の要因が「家庭のあり方」「家庭教育力」の低下に起因することが多い。 6公民館ごとにセミナーを開催し、乳幼児から青年期まで系統的に対応の仕方を学んで親や地域の自覚を高めるとともに、家庭・地域の教育力の向上を図る。	・セミナー 6地区公民館 (地域住民) ・家庭教育懇談会 市内6会場 (地域住民)	・10月～3月	・6地区公民館等 ・地区集会施設	
2 大町市子どもセンターの情報提供	○子どもの地域における様々な体験活動を充実させ、家庭教育を支援するための情報収集と情報の提供を民間と協力して行う。	・「がったつうしん」の編集と発行 ・学習相談 (一般市民)	・年間4回 ・随時	・コンビニ郵便局等 ・市教委 (大町市子どもセンター事務局)	
3 「明るい家庭のあり方」「家庭の日」の普及	○豊かな社会の中で、青少年がたくましく「生きる力」をどう育成したらよいかを検討し、「家庭のあり方」「家庭の日」について啓発、実践に努める。	・広報おおまち、有線放送等による啓発	・年間	・全市	
4 「あいさつ運動」の実施	○日常のあいさつを通して、市民一人ひとりの心の結びつきを強め、連帯感のあるまちづくりを推進するため、「あいさつ運動」を普及し、明るい大町市づくりに向けて運動をすすめる。	・広報、有線放送による啓発 ・街頭啓発強調期間 全市民 (自治体の計画による取り組み)	・年間 ・4月・9月	・市内全域	
5 青少年の社会活動参加促進 子ども会の育成	○児童・生徒の社会参加活動を通して、活力あふれた子ども会を育成するとともに、郷土理解、住民意識、仲間づくり、奉仕の精神など青少年の自己形成と、次代の社会のよりよき担い手となる青少年を育成する。 ・社会連帯意識の醸成を図る。 ・中・高校生の地域活動参加促進	・子ども主体の行事 ・奉仕活動 (クリーン活動など) ・伝統文化の継承 〔単位育成会 子ども会〕 ・各自治体	・年間	・全市	

事業名	事業のねらい	実施内容 (参加対象)	実施時期	実施場所	備考
6 全国子ども会安全共済会加入	○安全思想の普及に努め、相互扶助の精神に基づき子ども会活動に起因する傷病に見舞金を給付し、子ども会活動の充実発展に寄与する。	・幼児・小中学生 ・高校生 ・育成者	・普及 4月1日～ 3月31日	・単位育成会	市費補助
7 子ども会育成会リーダー研修会	○団体生活を通じて、自主性・創造性・協調性・指導性等を養い、将来青少年団体のリーダーにふさわしい資質の向上を図る。 ・青少年リーダーの養成 大町市子ども会育成連絡協議会青少年リーダー研修会	・講義・座談会 ・実習、野外活動など ・6地区小中学生	・6～3月 ・年間7～8回 (5～2月)	・各地区 ・市内の施設	
8 青少年育成啓発推進	○市民の意識の高揚と運動の活性化を図るため、県、国の事業と活動に合わせ、集会や広報等を通して健全育成のための啓発活動を行う。 ・「青少年の非行被害防止全国強調月間」 「青少年に有害な社会環境排除県民運動強調月間」 「第64回社会を明るくする運動」 ・第31回大町市青少年育成市民大会 ・「青少年健全育成全国強調月間」	・チラシ、パンフレットの配布、ポスター掲示、広報、有線放送による啓発 ・街頭啓発(全戸) ・保護司、民生児童委員、補導委員、育成会等関係者による懇談会 関係団体及び市民	年間 7月1日～ 7月31日 8月22日 11月1日～ 11月30日	・市内 ・サンアルプス大町	



青少年育成市民大会



雪遊び交流会



リーダー研修会 工作体験

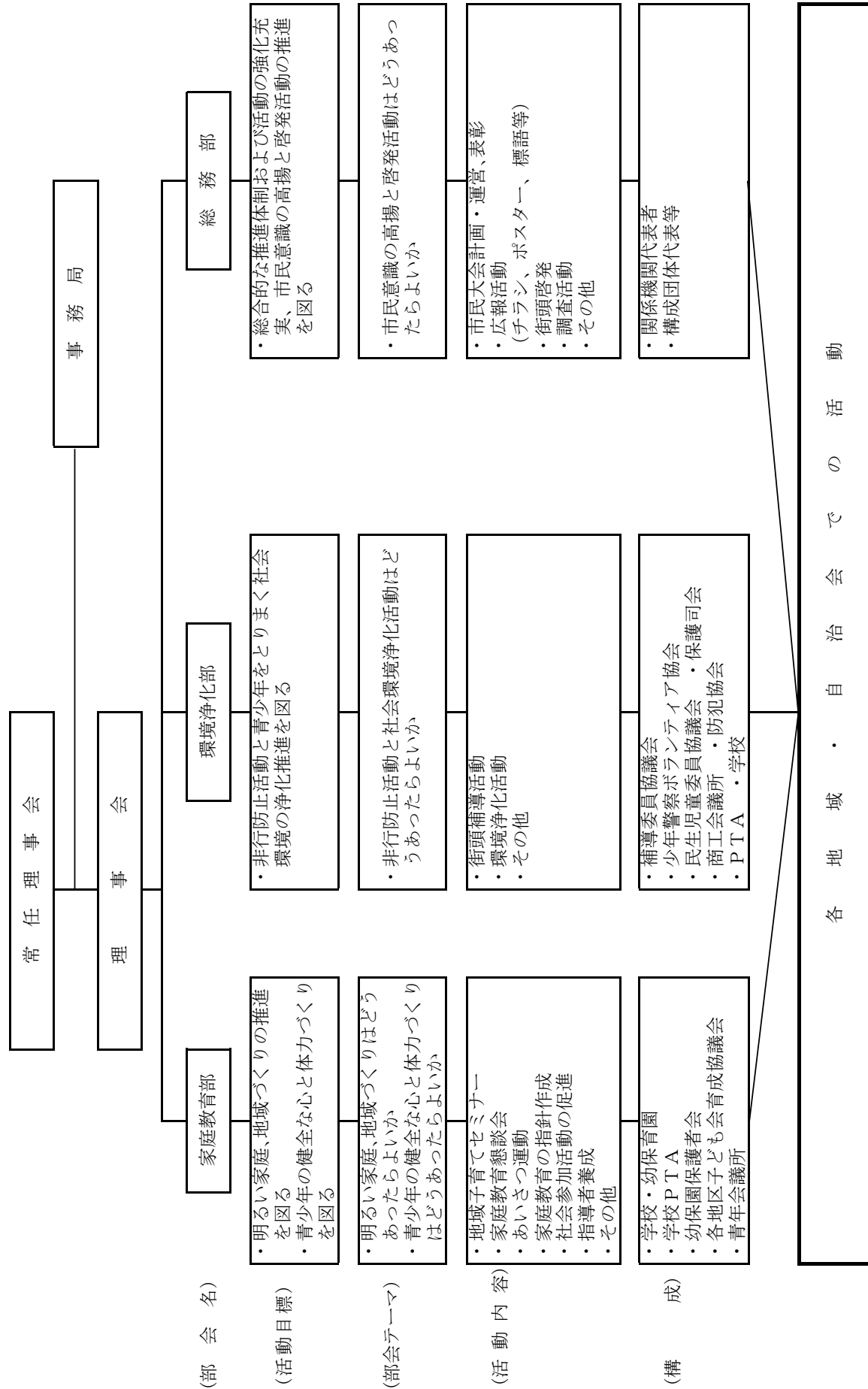


リーダー研修会 カヌー体験

(2)補 導 関 係

事業名	事業のねらい	実施内容 (参加対象)	実施時期	実施場所	備 考
1. 街頭補導活動	○少年非行や問題行動にともない、街頭に出て非行防止と指導に当たるとともに実態把握に努める	<ul style="list-style-type: none"> ・80人の補導委員により年間56回の街頭補導を実施 ・小中PTAとの合同補導 ・市内小・中学校においてあいさつ運動 ・児童・生徒の下校時の巡視 ・列車内補導 ・補導活動に関する会議、研修会 ・祭典時の補導活動 	年 間 (7.8.9.10月) 年間適宜	市全域	
2. 地域内における非行防止、早期発見活動	○地区内関係機関、団体と連携懇談を通して非行の早期発見に努める	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内関係機関、団体との懇談 (自治会、育成会、PTA等) 	夏休み前	市全域	
3. 環境浄化活動	○青少年のための環境浄化改善を推進し、環境浄化部会と連携し、青少年の非行防止と健全育成を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・補導員による担当地区内環境浄化活動 ・有害自動販売機NO運動の推進 ・青少年に係る店舗への聴き取り調査 ・子どもの「居場所」づくり 	年 間	市全域	
4. 他機関との連絡会議	○関係機関との連絡を密にし、情報交換を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・県補導センター会議 ・小中PTA地区懇談会参加 ・中信四市補導センター連絡会議等 	年 間		
5. 少年教育電話相談・面接相談	○少年の悩み相談、安定した生活への援助を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・小中高と保護者 ・有職無職少年 	毎週月～金曜日	市役所	
6. 広報活動	○補導の実情、非行の現状等を広く市民に公開し、青少年の健全育成についての意識高揚を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年センターだより ・広報おおまち ・有線放送 ・チラシ等 	年3回 (7月・11月・2月) 他は必要に応じて		

◎青少年育成市民会議の組織



3 文化財

当市は、県下でも国宝・重要文化財をはじめ、県や市指定の文化財を数多く有する文化財の宝庫である。この貴重な文化財を保護し、後世に伝えていくことは市民の責務である。このため、広く市民の理解を求め、意識の高揚を図るとともに、新しい地域文化の創造のため大町市文化財センターを中心に、積極的な活用を図る。

(1) 平成27年度事業計画

ア 埋蔵文化財関係

(ア) 開発予定地内（大町高等学校ほか）及び、学術的な発掘調査・試掘調査

イ 一般文化財関係

(ア) 居谷里湿原環境整備事業

(イ) 国・県指定文化財パトロールへの協力

(ウ) 市指定文化財パトロールの実施

(エ) 未指定文化財の調査、指定候補文化財の選定、諮問

(オ) 古文書のリスト化

ウ 広報啓発関係

(ア) 大町市文化財センターの運営・展示

(イ) 市指定文化財等説明板設置事業

(ウ) 市指定文化財等講演会

(エ) 文化財強調週間（11/1～11/7）における発掘調査報告展など

(オ) 文化財防火デー消防訓練

(カ) 文化財めぐり、文化財講座の開催

(キ) 国重要文化財 旧中村家住宅の公開（4月～11月）

(2) 指定文化財
ア 国指定文化財

(平成27年3月31日現在)

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
仁科神明宮本殿・ 中門（前殿） S28. 3. 31	国宝	2棟	仁科神明宮 社1, 159 (宮本)	本殿は桁行3間、梁間2間、神明造、 檜皮葺。中門は四脚門、切妻造、檜皮葺。 古式を遺す。釣屋附属指定。
木造棟札 S25. 8. 29	重文	27枚	仁科神明宮 社1, 159 (宮本)	仁科神明宮にある20年に一度の式年遷 宮の際の棟札。永和2年（1376）から 安政3年（1856）までの27枚が指定。
御正体 S36. 12. 17	重文	5面	仁科神明宮 社1, 159 (宮本)	銅製円盤に神明宮の本地仏大日如来等 を取り付けた懸仏。11面が附属指定。 裏面に年代銘のあるものもあり。
盛蓮寺観音堂 S24. 5. 30	重文	1棟	盛蓮寺 社2, 937 (曾根原)	桁行3間、梁間3間、寄棟造、松本平で は最古の寺院建築。室町中期の建造物 と考えられる。
鉄鰐口 S32. 2. 19	重文	1口	木舟地区 社4, 866-2（木舟） 保管は山岳博物館	鉄製で年代の明らかな鰐口としては わが国最古のもの。面径24cm。 表面に安貞2年（1228）の陽刻銘あり。
若一王子神社本殿 S30. 2. 12	重文	1棟	若一王子神社 大町2, 097 (俵町)	一見豪壮華麗な桃山風を思わせる一間 社、隅木入春日造、檜皮葺。承応3年 （1654）の棟札1枚が附属指定。 地方としては大社の風格を備える。
高瀬溪谷の噴湯丘 と球状石灰石 T11. 10. 12	天記		国（農林省） 平湯俣	温泉沈殿物が河床に堆積して、火山状 の噴湯丘になり、中央の湧き口に白い 小豆粒大の球状方解石ができる現象。
木造千手観音立像 S25. 8. 29	重文	1軀	覚音寺（藤尾） 八坂1, 625番地	檜材、寄木造、像高168.2cm、造像年代 が、平安時代末期である。木像の胎内 には、願主・仏師などの名前や治承3 年（1179）3月と年代など造像事情を 記した墨書木札、白銅製菊花双雀文鏡、 紙本千手観音摺仏が納入され、白銅鏡 は附属指定。
木造持国天立像・ 木造多聞天立像 S25. 8. 29	重文	各1軀	覚音寺（藤尾） 八坂1, 625番地	2 軀は覚音寺千手観音立像の脇持で、 檜材、寄木造。像高は、持国天161.5cm、 多聞天157.6cm。像の背面には、持国天・ 建久5年（1194）、多聞天・建久6年 （1195）年と年号の陰刻銘が刻まれて おり、これが造像年代と考えられる。
旧中村家住宅 主屋・土蔵 H19. 12. 3	重文	2棟	大町市（青具） 美麻17, 668番地	主屋は、桁行14間、梁行6間、建坪84 坪（約278㎡）の木造平屋・茅葺・寄棟 造で、元禄11年（1698）建立と建築年 代が明らかな民家として県内最古。 土蔵は、桁行6間、梁行4間の切妻造で、 安永9年（1780）と建築年代が判明す るものとしては県下で古い例に属す。 るものとしては県下で古い例に属す。

注：重文＝重要文化財 天記＝天然記念物

イ 県指定文化財

(平成26年3月31日現在)

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
若一王子神社三重塔 S41. 1. 27	県宝	1基	若一王子神社 大町2, 097 (俵町)	木食故信法阿の発願で宝永8年(1706)に造営。松本平では唯一の塔。棟札4枚が、附属指定。
木造観音菩薩立像 S40. 1. 14	県宝	1躯	弾誓寺観世音保存会 大町4, 188 (九日町)	平安初期の貞観様式を多分にもつ平安中期の作。檜材の一木造。像高約161.5cm。
天正寺三重小塔 S41. 1. 27	県宝	1基	天正寺 大町4, 729-4 (十日町)	若一王子神社三重塔の原型と伝えられる。江戸中期の作。
仁科神明宮の神楽 S44. 7. 3	無民		仁科神明宮神楽保存会 社1, 159(宮本)	9月15日例祭に奉納される、能を取り入れた荘重典雅な神楽。
上原遺跡 S35. 2. 11	史跡		大町市ほか 平1, 955-355ほか (上原)	昭和25年から数次にわたる発掘調査により、2群の配石遺構と竪穴等の遺構、遺物が発見された。
居谷里湿原 S46. 8. 23	天記		傘木篤ほか12人 大町8, 279-10 ほか (居谷里)	多種の食虫植物のほか、湿原特有の木本・草本がみられる。特にハナノキの隔離分布地、暖地性のハッチョウトンボの生息地として貴重。指定面積約21,000㎡。
若一神社社叢 S40. 4. 30	天記		若一王子神社 大町2, 097-1ほか (俵町)	指定面積約17,000㎡。300本に及ぶスギと、130本程のヒノキを主体にし、生育する。
仁科神明宮の社叢 S44. 3. 17	天記		仁科神明宮 社1, 159 (宮本)	指定面積約19,000㎡。スギ・ヒノキが主で、他にアカマツ・クリ・コナラ・ツガ・モミなどがあり、いずれも巨木。
大黒町舞台 S62. 8. 17	県宝	1基	大町市大黒町 大町2, 199 (大黒町)	諏訪の宮大工立川富棟・富昌父子によって江戸後期の製造とされる。2層構造、切妻起屋根三輪形式の可動舞台。
仁科神明宮作始め 神事 H2. 2. 19	無民		仁科神明宮神楽保存会 社1, 159(宮本)	毎年3月15日に行われる神事。一連の水田耕作の所作をユーモラスに演じ、その年の作況を占う。
霊松寺山門 H5. 8. 12	県宝	1棟	霊松寺 大町6, 655-イ (山田町)	入母屋造、桁行3間、梁間2間の楼門形式。各所に建築彫刻が施される。名工藤森広八の代表作であり幕末期の信州を代表する社寺建築の一つ。
大町市のカワシンジ ユガイ生息地 H19. 1. 11	天記	2箇所	国土交通省 農具川水系 平20, 677番地2先から 15, 637番地1先まで 居谷里沢水系 大町8, 267番地11先から 8, 194番地先まで	北緯40～55度の範囲に分布する純北方系の淡水生二枚貝。氷河期には多く生息していたが、その終わりとともに高冷地の溪流にのみ姿を残すようになった「生きた化石」とも言える貴重な生物。中部農具川と居谷里沢の生息地2箇所を地域指定。

注：天記＝天然記念物 無民＝無形民俗文化財

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
銅造十一面観音坐像 御正体残闕 H11. 3. 18	県宝	1軀	若一王子神社 大町2, 097 (俵町)	同社観音堂の本尊。本来は懸仏であったが、鏡板を失い仏体のみとなっている。 铸造。像高19cm。
山寺廃寺跡出土品 H11. 9. 16	県宝	6点	大町市教育委員会 社3, 945-2 大町市民俗資料館 (関田)	四耳壺1、 ^{へいし} 瓶子2、 ^{はじき} 土師器1、 ^{せいはいくすいちゆう} 青白磁水注1、 ^{ぼくしよしやきようせき} 墨書写経石1。 古瀬戸の四耳壺、瓶子は鎌倉期の国産。 水注は中国の景德鎮での製造と見られる。
流鏝馬の神事 H13. 9. 20	無民		若一王子神社 流鏝馬保存会 大町2, 097 (俵町)	7月29日に若一王子神社で行われる神事。 7～8歳の男子が化粧し、狩衣の装束をつけ、馬に乗り、神社参道奥の馬場で弓に矢を番えて射る。
大塩のイヌ桜 S37. 7. 12	天記		藤川毅徳ほか8名 美麻3, 342番地 (大塩)	静御前がこの地を通ったときに持っていた杖をさしたのが根付いて大きくなったという伝承から「静かの桜」と呼ばれる。 目通り幹囲は8.45m、桜は四方に良く伸びており、樹姿が雄大である。
若一王子神社観音堂 及び ^{くうてん} 宮殿 H23. 9. 29	県宝	1棟及び 1基	若一王子神社 大町2, 097 (俵町)	観音堂は江戸中期の宝永3年（1706）に 建立された寄棟造、茅葺・三間四面の和 様建築。宮殿（ ^{ずし} 厨子）は豪華な ^{わとうせつちゆう} 和唐折衷様式。 棟札附属指定。

注：天記＝天然記念物 無民＝無形民俗文化財



長野県天然記念物 居谷里湿原観察会

ウ 市指定文化財

(平成26年3月31日現在)

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
広形銅戈 (海の口上諏訪社) S46. 12. 10	有文	1口	海の口上諏訪社 平14, 505 (海の口) 所有・保管は大町市 文化財センター	全長24. 5m。弥生時代後期初頭。弥生文化の伝 採 のありさまを物語る貴重な資料。 出土地・伝世地が不明なのがおしまれる。
オオヤマザクラ S46. 12. 10	天記	20本	加蔵栄ほか (団体を含む) 平22, 419-3ほか (青木)	群生地としては本州の南限。 淡紅色のはなやかな色彩をもち、北アル プス山麓の景観構成要素となっている。
宮本・松崎紙紙すき 用具コレクション S50. 4. 15	民資	1式	大町市教育委員会 社3, 945-2 大町市民俗資料館 (閨田)	江戸時代から使われていた和紙製造用 具。 この地方の紙漉業の全容を知る上で貴重 な資料。
山寺廃寺跡出土遺物 H18. 3. 25	有文	2点	大町市教育委員会 社3, 945-2 大町市民俗資料館 (閨田)	墨書経石1、灰釉小皿1。県宝指定「山寺 廃寺跡出土品」に付随すると考えられる 出土遺物。
盛蓮寺木造不動明王 立像 S57. 3. 3	有文	1軀	盛蓮寺 社2, 937 (曾根原)	仏丈65cm。総丈98cm。鎌倉末期の製作。
盛蓮寺木造薬師如来 坐像 S57. 3. 3	有文	1軀	盛蓮寺 社2, 937 (曾根原)	檜材寄木造。胎内に「文安第四丁卯三月 廿四日、願主、喜香叟」の墨書銘あり。 文安4年(1447)の製作。
天正寺仁科氏居館跡 S59. 10. 6	史跡		天正寺ほか 大町4, 729-4ほか (十日町)	仁科氏が館之内から居館をこの地に移し たと考えられる鎌倉末期から、室町末期 に滅亡するまでの居館跡。外堀・内堀の 2重の堀や土居を囲わせた居館。
大町市のヌマカイメ ン S62. 3. 2	県宝		中綱湖ほか	県下では当市のみで生息するといわれる 淡水海綿。中綱湖が主な生息地。「種」 の指定。
大町市のカワシンジ ュガイ S62. 3. 2	天記		中部農具川ほか	県下では当市と戸隠に生息する淡水生二 枚貝。約3万年前から存在している「生 きた化石」。中部農具川、居谷里沢のみ に生息。「種」の指定。
大沢寺木造阿弥陀如 来立像 S62. 3. 23	有文	1軀	大沢寺 大町4, 156 (堀六日町)	像高49cm。総高78cm。檜材寄木造、 頭部は藤原様に近い。
西正院木造大姥尊坐 像 S63. 1. 14	有文	1軀	大姥堂世話人会 平1, 298 (野口)	像高39. 5cm。檜材、寄木造。室町中期 の作。立山信仰の本尊。裏山道の入口に あたるこの地に、本像を将来したか。
霊松寺のオハツキイ チョウ S63. 1. 14	天記	1本	霊松寺 大町6, 665-イ (山田町)	オハツキイチョウとは「お葉付銀杏」の 意で、ギンナンが葉の上に結実する先祖 返り的な珍奇な現象をもっている。全体 の約1割にこの現象が見られる。

注：有文＝有形文化財 天記＝天然記念物 民資＝民俗資料

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備考
天正寺山門 S63. 1. 14	有文	1棟	天正寺 大町4, 730-1 (十日町)	和様の薬医門。元禄元年(1688)の建立。 棟札あり。
長性院木造聖観世音 菩薩立像 H1. 3. 28	有文	1軀	長性院 大町3, 682-4 (南原町)	像高107cm、総高184.3cm。 檜材寄木造。江戸中期。木食山居の作。
高瀬川の基盤岩 H2. 10. 23	天記		下一高瀬川河川敷 共有地組合 常盤6, 720-3 (上一近藤紡東南)	松本盆地内部で確認された唯一の岩盤。 この存在によって松本盆地の地下の様子やでき方を知り、また、糸魚川静岡線の通過位置に知る手がかりが得られる。
盛蓮寺木造如意輪観 音坐像 H3. 5. 31	有文	1軀	盛蓮寺 社2, 937-1 (曾根原)	像高77.6cm。檜材寄木造。 後補個所が多いが造像年代は鎌倉時代後期。
木舟薬師堂木造 薬師如来立像 H3. 5. 31	有文	1軀	木舟地区 社4, 886-2 (木舟)	像高113.0cm。総高122.8cm。檜材寄木造。 後補個所が多いが造像年代は鎌倉時代後期。
市立大町山岳博物館 のトキ標本 H4. 5. 19	天記	1体	市立大町山岳博物館 大町8, 056-1 (神栄町)	トキは天然記念物であり、国際保護鳥として保護されてきたが、野生のものは絶滅してしまっている。また、現在飼育下のものも、繁殖を試みるが未だ成功を見ず、まさに地球上から姿を消す寸前にきている。このような事態にあるトキ
長野県大町高等学校 のトキの標本 H4. 5. 19	天記	1体	長野県大町高等学校 大町3, 691-2 (南原町)	の標本は大変貴重なものである。 市立山岳博物館のトキは大正8年(1919)に、長野県の大町高等学校のトキは大正6年(1917)に、それぞれ美麻村で捕獲されたものである。
一本木神社のカシワ H3. 5. 31	天記	1本	一本木神社 常盤4, 733-1 (上一本木)	目通り周囲3.35m。樹高25.5m。推定樹齢300年。二次林の構成種としてはまれにみる大木。
仏崎観音寺のアカマツ H4. 5. 19	天記	1本	仏崎観音寺 常盤5, 445-2 (泉)	目通り周囲4.2m。樹高20m。2本の独立幹が肥大成長にともなって融合した「和合木」。大町地方としては稀に見る大木。
たんせい 弾誓寺観音堂木造伝 弾誓上人坐像 H4. 5. 19	有文	1軀	弾誓寺観世音保存会(九日町) 大町4, 188	像高75cm。檜材寄木造。17世紀中頃の作。 彫りは丁寧で写実性に富み、完成度の高い作品である。
弾誓寺観音堂木造伝 長音上人坐像 H4. 5. 19	有文	1軀	弾誓寺観世音保存会(九日町) 大町4, 188	像高78cm。檜材寄木造。 元禄13年(1700)の作。弾誓寺4世「願誓岳空寂阿」によって造像された。
海ノ口のアカマツ (カサマツ) H5. 6. 25	天記	1本	海ノ口・一津・崩沢共有 平13, 109-1 (東海ノ口)	目通り周囲4.17m、樹高18m。樹齢推定300年以上。樹形は単幹で傘型をしており、別称『カサマツ』と呼ばれ親しまれている。稀に見る大木である。
中シマのモリアオガ エル繁殖地 H6. 4. 28	天記	地域 指定	西沢可雄 平23, 109-1 (中綱湖東)	指定地面積1,543㎡。モリアオガエルは樹上に泡状の卵を産む特異な生態をもつカエル。

注：有文＝有形文化財 天記＝天然記念物

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備考
須沼薬師堂のカツラ H6. 4. 28	天記	2本	清水仲間 常盤4, 203 (須沼)	東幹の樹高20. 5m、目通り周囲3. 5m。 西幹の樹高25. 5m、目通り周囲4. 1m。 薬師堂の門木の位置にある。
盛蓮寺木造虚空蔵菩薩坐像 H6. 4. 28	有文	1軀	盛蓮寺 社2, 937 (曾根原)	像高24. 1cm。桂材の寄木造。室町時代前半の作。光背、台座などは江戸時代後期に補われている。
天正寺木造 薬師如来立像 H7. 4. 26	有文	1軀	天正寺 大町4, 729 (十日町)	像高261cm。檜材寄木造。体内木札より延宝5年(1677)「生誉蓮入比丘」の作と判明している。かなりの巨像で、しかも丁寧に仕上げられている。
西山西原のイチイ H7. 4. 26	天記	1本	横沢毅昌 常盤8, 063-5 (西山)	目通り周囲2. 95m、樹高12. 5m、稀に見る巨木で樹形も美しく、ひときわ目立つ。
大黒町追分のシダレザクラ H7. 4. 26	天記	1本	大黒町自治会 大町1, 514-1 (大黒町)	目通り周囲3. 05m、樹高8. 5m。推定樹齢150年で市内最大のものと思われる。大黒天石像の脇に生息しており「大黒様のシダレザクラ」と呼ばれている。
大黒町追分の石像 大黒天像 H8. 3. 25	有文	1基	大黒町自治会 大町1, 514-1 (大黒町)	嘉永5年(1852)に、高遠町の石工によって彫られた像。現在のところ松本平では最大(全高約2m)にして最古のもので彫刻技術も秀れている。
新郷1号古墳及び副葬品一括 H8. 3. 25	史跡 有文	1基 出土品等	大町市教育委員会 平8, 040-443 (新郷)	南北10m×東西9mの円形の積石塚で、内部の埋葬状態もよく、副葬品も多数出土している。
若一王子神社木造伝十一面観音菩薩立像 H9. 3. 24	有文	1軀	若一王子神社 大町2, 097 (俵町)	推定像高180cm。檜材寄木造。11世紀の作。明治初年に燃やされ、体部に損焼をうけているが、神社の本地仏と伝えられ、最古の社宝である。
仏崎観音寺の千有一馬集絵馬 H9. 3. 24	民資	1面	仏崎観音寺 常盤6, 966 (泉)	安政2年(1855)に製作された縦210cm、横475cmの大型の絵馬。村ごとに寄進者名が記され、当時の庶民信仰のあり方などがうかがえる貴重な資料である。
三日町若宮八幡宮のヒノキ H9. 3. 24	天記	1本	飯島昌他7名 大町8, 254 (三日町)	目通り周囲5. 1m、樹高29m。三日町分水集落の氏神、若宮八幡宮の御神木で、全国的にもまれな大経木である。
西山城山のエドヒガン H9. 3. 24	天記	1本	倉科善吉 常盤8, 099-1 (西山)	根回り周囲5. 33m、樹高29mの二幹に分かれた大木。西山城址の急峻な北斜面に生育し、谷側に大きく枝を張っている。
仁科神明宮の銅製日岐盛貞奉納鏡 H10. 3. 25	有文	1面	仁科神明宮 社1, 159 (宮本)	鏡の直径は、約27cmを計る。鏡背には大日如来等の梵字と奉納者名、紀年銘、製作の趣意が陽鑄されている。
仁科神明宮の木造棟札 H10. 3. 25	有文	6枚	仁科神明宮 社1, 159 (宮本)	重要文化財に指定されている棟札以外の明治から昭和にかけての棟札で、明治維新から昭和の大戦をも乗り越えて伝統を守ってきた、式年造営の証として貴重である。

注：有文＝有形文化財 天記＝天然記念物 民資＝民俗資料

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備考
仁科神明宮木造 小笠原秀政禁制札 H10. 3. 25	有文	1枚	仁科神明宮 社1, 159 (宮本)	檜板に書かれた高札で縦34cm、横61.3cmを計る。松本領主小笠原秀政が領内社寺の主要な所へ交付した内の1枚で、年号を記した高札としては、市内における最も古いもののひとつである。
高根町曾根田のエドヒガン H10. 3. 25	天記	1本	高根町自治会 大町7, 174-1 (高根)	単幹。目通り周囲465cm、樹高12mを計り、傘型のエドヒガン特有の樹冠を呈する。昭和初期以前には、このサクラの東側にお堂があり、その堂守との関係から植栽されたものと考えられる。
山下神社 木造 小笠原秀政禁制札 H11. 2. 26	有文	1枚	山下神社 社6, 097 (北野)	檜板に書かれた高札で縦33.8cm、横59cmを計る。松本領主小笠原秀政が領内社寺の主要な所へ交付した内の1枚で、年号を記した高札としては、仁科神明宮の高札同様に古いもののひとつである。
大町市のキザキコミ ズシタダミ H13. 6. 27	天記		木崎湖、中綱湖	日本産ミズシタダミ科の希少種の一つ。カワシンジュガイとともに氷河期の遺存種ともいえる貝。「種」の指定。
八坂神社の旧神輿 H14. 2. 22	有文	1具	若一王子神社 大町2, 097 (俵町)	一間社(124cm四方)、高さ155cmを計る。大町の人々から「天王様の神輿」と慕われていた。江戸時代中期の作。
飯嶋善士氏所有「信越連帯新道」関係史料及び飯嶋家文書一括 附、その他史料 H15. 2. 26	有文	1式 (712点)	飯嶋善士 平92(野口) 保管は大町市文化財センター	飯嶋家文書一括指定ほか、関連する歴史史料。その内最も注目されるのが表題に掲げられる「信越連帯新道」関係の文書及び旅宿看板などの歴史史料である。明治初年、信州一越中間の最短の交易路として整備された「信越連帯新道」の開発経緯を記した文書記録である。
八日町毘沙門堂の木造毘沙門天立像 H16. 2. 19	有文	1軀	八日町自治会 大町1, 134-9 (八日町)	像高114cm。総高168cm。檜材寄木造。頭部は鎌倉時代製作当時のものであるが、軀部以下は江戸時代に補われたものである。
姿見池のマメシジミ H16. 2. 19	天記		西沢茂人ほか3名 平18, 235~18, 240 (海ノ口)	マメシジミは、二枚貝綱マルスダレガイ目マメシジミ科に属し、これが生息する姿見池は、平西海ノ口地籍の標高1, 100mの山腹にある。
西沢正雄氏所有文書一括 附、その他の史料 H16. 2. 19	有文	1式 259点	西沢正雄 平55-1(野口) 保管は大町市文化財センター	西沢家は、江戸時代初期には野口村庄屋を勤め、江戸時代末の文政2年(1819)から明治までの半世紀は大町5か村を束ねる大庄屋役を勤めており、この関係文書が貴重である。

注：有文＝有形文化財 天記＝天然記念物

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備考
栗林士郎所有文書 一括 H17. 3. 25	有文	1式 2,581点	栗林士郎 大町4,084 (下仲町) 保管は大町市文化 財センター	栗林家は、江戸時代初期から村役を勤め、少なくとも享保年間から大町組の庄屋・大庄屋を勤めた家である。この役目上から残された文書は、分野が多彩で数多く貴重なものである。
しょうぶ 生婦平出土銅造端花 そうちゅうはちりょうきょう 双鳥八稜鏡 H18. 3. 27	有文	1口	大町市 八坂1,108-1番地 八坂支所(大平)	八坂大平生婦平で昭和40年代に出土。 直径11.7cm、縁高0.7cm、鏡厚0.3cmを計る。制作年代は平安時代後期と考えられる。
大平地蔵堂の木造 地藏菩薩立像 H18. 3. 27	有文	1軀	大平自治会 (大平) 八坂1,298番地	像の制作年代は南北朝時代(14世紀前半)檜材、寄木造で玉眼を嵌入する。全身に彩色を施しており、像高は36.5cm、頭長は7.1cmを計る。中央の仏師の造りと考えられる像。
小松尾諏訪神社本殿 H18. 3. 7	有文	1棟	小松尾諏訪神社 (小松尾) 八坂5,693番地	江戸時代後期の文化13年(1816)の建造。一間社・流造りで、向拝軒唐破風付、柿葺、総檜造りである。大工は大町組の金原周蔵で、彫刻は、浅川豊八(大隅流)により、彫刻は優れ、丸彫りの唐獅子、象鼻や雲に麒麟の透彫りが残される。
医王谷飯綱神社 筒粥占い神事 H9. 3. 24	民資		飯綱神社 (梨平) 八坂25,794番地	もと医王谷飯綱神社は八坂北桑梨・西の窪地に所属し、この神事はそこで行われていた。毎小正月の1月15日、神社に集まり、小豆粥を炊き、世の中、気象関係、農作物関係、天皇家など40項目の占いを行う神事。
野平神社本殿 H18. 3. 27	有文	1棟	野平神社 (野平) 八坂14,695番地	本殿は、三間社・流造り・柿葺き、総檜造りである。現社殿は江戸後期の再建であり、白木彫刻に優れている。大町の曾根原甚五郎、越後石地宿又四郎、仁熊村(麻績組)大工。
矢田川磨崖仏 H18. 3. 27	有文		八坂医王会・大日 講中 (矢田川) 八坂9,641-1番地	高さ約6m、幅約4mの砂岩製岩塊に、年代の古いものから①青面金剛像(庚申像)が元禄から享保年間。②地藏菩薩像が江戸中期の享保3(1718)年。③庚申塔が江戸後期の文化14(1807)年。④徳本上人合碑が19世紀前半。⑤大日如来像が幕末の嘉永3(1850)年となる。
北条蜂の徳本上人 追善供養塔 H18. 3. 27	有文	1基	寺島昭一ほか3名 (北条) 八坂13,609-ロ-1番地	砂岩製で残存する石碑高が108cmを計る。碑文には「念仏供養 名蓮社号誉上人称阿弥陀陀佛徳本文政元年寅年十月六日 徳本行者云々」とある。制作年代は、江戸後期の文政元年(1818)。

注：有文＝有形文化財 民資＝民俗資料

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備考
曾山の善光寺千人参り名号塔 H18. 3. 27	有文	1基	如来様講中 (曾山) 八坂9, 179-4番地	江戸時代後期の弘化2年(1845)の製作。材質は砂岩製。総高は322cm、そのうち塔身高は253cmを計る。「南無阿弥陀佛」と大書する。筆當大勸進権僧正願拜。石工は大平村石原、若林嘉久治勝重と高遠清水八五良安信による平成6年道路工事で現在地に移転されたが、もとは美麻地積に所在した。
富士浅間神社本殿 H18. 3. 27	有文	1棟	富士浅間神社 (大塩) 美麻2, 708番地	一間社・流造。規模は間口1間2尺、奥行1間5尺。現社殿は江戸時代後期の文化12年(1815)9月12日に再建されたもので、立川豊八(安曇郡長尾組岩原住)による建築。附属指定として、棟札3枚がある。
富士浅間神社楽殿 H18. 3. 27	有文	1棟	富士浅間神社 (大塩) 美麻2, 708番地	江戸時代後期の建立。木造茅葺き、6間四方で三面が板壁。舞台中央には直径4.6mの廻り舞台を持つ。明治中頃まで歌舞伎を奉納していたという。
富士浅間神社絵額 H18. 3. 27	有文	1棟	富士浅間神社 (大塩) 美麻2, 708番地	16面を指定。江戸時代幕末の嘉永から安政年間のものが多い。大型のものも多く、製作年間は安永6年(1777)年から昭和14年(1939)のもの。
千見神明宮本殿 H18. 3. 27	有文	1棟	千見神明宮 (千見) 美麻25, 878番地	現在の本殿は、江戸時代末期の天保12年(1841)9月の造営建築である。一間社・神明造。大工棟梁は大町の曾根原甚五郎、曾根原謙蔵。最も古い慶長17年(1617)の棟札と藩奉行6名の連署が見られる幕末の万延元年(1860)の禁制札の2点が附属指定。
千見神明宮絵額と句額 H18. 3. 27	有文	1式	千見神明宮 (千見) 美麻25, 878番地	千見神明宮に奉納される絵額(絵馬)のうち6面、句額のうち8面が指定。絵額の制作年代は、天明7年(1787)～安政2年(1855)。また句額の制作年代は、文化5年(1808)～明治33年(1900)のもの。
水上神社本殿 H18. 3. 27	有文	1棟	水上神社 (二重) 美麻9, 152番地	一間社・流造り。彫刻が優れる。現在の社殿は、文政8年(1825)建立で、大工棟梁は越後市振の片桐利七とその一門によるもので、装飾彫刻に優れている。
下條家関主門 H18. 3. 27	有文	1棟	下條秀則 (千見) 美麻26, 036番地	旧千見村に建てられた、関守の地位と格式を象徴する門である。建築年代不明。松本藩水野氏(1656～1735)の代に関守を置き下條家はその任をまかされ、警備にあたった。門正面は三間、奥行二間の門に、切妻屋根。

注：有文＝有形文化財

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
水上神社の神輿巡幸 H18. 3. 27	民資	1式	水上神社 (二重) 美麻9, 152番地	現在は、神殿部分が欠失し、代わって神体御幣と木製の四本鉾を神輿に立てて用いている。裱に帯刀姿の警護4人により巡幸の神事。
中村武本氏所有 文書一括 H18. 3. 27	民資	1式	中村一仁 (青具) 美麻17, 668番地	江戸時代初期の寛永21年(1644)から明治初期にかけての文書。青具村庄屋。藩政及び村政の実情をたどる上で貴重な史料である。
大塩高札場の高札 H18. 3. 27 H19. 3. 26④追加指定	有文	4点	山本はる子 ほか2名 旧中村家住宅土蔵 保管(青具) 美麻17, 668番地	指定された4点はいずれも江戸時代、大塩の高札場に掲げられていたものである。①「キリシタン禁制」正徳元年(1711)。②「毒薬禁制」正徳元年(1711)。③「にせ銭禁制」天保10年(1839)。④「親子・ ^{ぼくろ} 博奕・忠孝等の定め」正徳元年(1711)。
権現山堂屋敷跡 H18. 3. 27	有文		戴神社 (新行) 美麻権現山南東	権現山の山麓に堂屋敷と言いつた碑文が残る屋敷跡。付属指定として、ウラジロモミ(2本)、クロベ(2本)、カラマツ(1本)の計5本。
千見山城跡 H18. 3. 27	有文		千見神明宮ほか 6名 (千見) 美麻城山25, 450-ロ-3 ほか	伝承では、城主は上杉方大日方源吾長辰氏と言われる。また武田方の山県昌影により、弘治2年(1566)火攻めにされ落城したと伝えられる。本丸東西50m×南北20m、二の丸東西40m×南北30m、三の丸東西20m、南北15mを計る。
大塩山城跡 H18. 3. 27	有文		倉品愛子ほか5名 (大塩) 美麻855番地ほか	本丸跡(12×27m)、二の丸、一の曲輪、二の曲輪跡を具える複郭式山跡。兵糧倉、水槽、城内、攻城門跡、物見櫓跡等の施設が伝わる。山上に仁科氏を祀る祠あり。
堀の内遺跡 H18. 3. 27	有文		伊東久雄ほか5名 (大塩) 美麻938番地ほか	遺跡内では平成5年と平成12年における2回の発掘調査を実施。縄文時代早期から中世にかけての複合遺跡。中世の遺構としては、居館が確認されている。
向生仏屋敷出土灰 釉陶器広口瓶 H18. 3. 27	有文	1点	田中一志 旧中村 家住宅土蔵保管 (青具) 美麻17, 668番地	昭和初期に耕作中発見されたもので、器高19.7cm。産地は、岐阜県多治見市周辺の東濃地方産で、時期は10世紀前半。
横川重忠氏所有木造 阿弥陀仏如来立像 H18. 3. 27	有文	1軀	横川重忠 (須沼) 常盤4, 308-3番地	総高48.5cm、像高28cm、台座11cm。木食山居作と推定される江戸時代中期の木像。
千見細貝薬師堂の 木造薬師如来立像 H18. 3. 27	有文	1軀	横川重忠 (須沼) 常盤4, 308-3番地	薬師如来像は木食山居作と推定され、総高45cm、像高36.5cm。同じ堂にあった聖観音立像は木食山居作と推定される。江戸時代中期の木造が付属指定。

注：有文＝有形文化財 民資＝民俗資料

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
大倉のイチイ H18. 3. 27	天記		宮田武男 (青具) 美麻21, 770番地	坪庭に鉢植えしたのが、大木になったと伝えられ、伝承では、樹齢約1000年といわれている。目通り4.73m、根回り4.7m、高さ21.3m。
水上神社の大杉 H18. 3. 27	天記		水上神社 (二重) 美麻9, 152番地	水上神社ご神木。目通り6.3m、根回り7.67m、高さ53.1m。伝承では、樹齢750年余りと推定されている。
若栗のアオナシ H18. 3. 27	天記		種山賢児ほか3名 (高地) 美麻34, 161番地口 若栗峠	目通り周囲4.31m、樹高16.8m。長野県では第2位にあたる。樹齢約500年と伝承されている。成長に伴う融合性の幹枝。
たかはしひろお 高橋鴻生氏所有文書 一括 H18. 3. 27	有文	1式	高橋鴻生(松崎) 大町市文化財センター 保管 社6, 567番地	高橋家は、江戸期を通じて松崎村庄屋、潤田村庄屋を兼務した。所蔵文書は、村方文書を主とする文書がある。文政8年に当地で発生した赤蓑騒動の見聞を記した六角鬼洞による『赤蓑騒動』は唯一の現存本として大変貴重。
中村孝三述 『学びの糸口』 H19. 3. 27	有文	1冊	大町西小学校 大町4, 733-3 (北原町)	この手記は、明治維新の学制発布当時の大町の人々の動きを記録し、単なる制度の解説書ではなく、唐突な制度改正に戸惑う地方の人々の気持ちを活写し、民衆の気持ちも察せられる重要な文献史料である。

注：有文＝有形文化財 天記＝天然記念物



長性寺跡発掘調査

4 人権教育

基本的な考え方

大町市では、国際社会全体であらゆる人権問題を解決していこうとする気運の高まりに合わせ、2003年（平成15年）3月、「人権の世紀」と言われる21世紀の大町市における人権教育・啓発の指針となる「人権教育のための大町市行動計画」を策定した。

また、2007年（平成19年）には、先の「行動計画」を基にした人権諸施策を継続して推進するため、「大町市人権教育及び人権啓発に関する基本方針」を定めた。

さらに、平成21年度から23年度は、文部科学省人権教育総合推進地域事業の指定を受けて、学校・家庭・地域社会が一体となった人権教育の総合的な取り組みを行った。

人と人とのつながりを大切にした、共に生き支えあう社会の構築と、人権を尊重し差別のない大町市を実現するためには、一層の市民一人一人の人権意識の高揚を図ることが不可欠であり、そのための人権施策を積極的に推進することが重要となっている。

また、市政のあらゆる分野で人権尊重を基調においた施策を進めるとともに、家庭、学校、地域、企業、職場が、お互いに連携して人権教育・啓発事業を推進していくことが大切である。

差別の解消のために、教育及び啓発の果たす役割は、極めて大きい。従って、次の重点課題を目的に、「人権の世紀」にふさわしい人権教育・啓発事業を進めていく。

（1）重点課題

- ア 人権教育は、同和問題をはじめとする、性別・子ども・高齢者・障がい者・国籍（外国人）等のあらゆる差別の撤廃を目指す。
- イ 人権問題は、他人ごとではなく自分自身の課題であり、さらに、自分や家族・職場の問題でもあることに気づき、主体的に受け止めるよう啓発していく。
- ウ 人間誰しも、差別意識が心の中に内在しているという自覚と意識を持ち、日常生活の中で、人権感覚をより深いものにしていくことが大切であるということを、啓発していく。
- エ 人権教育を進めるにあたり、これまでの同和問題の解決に向けての取り組みや手法の成果や反省の上に立って、教育・啓発内容、方法に創意工夫をしていく。
- オ 人権教育は、住みよい活力のあるまちづくりの中核となる課題でもあるということの自覚を一層求めていく。

（2）平成27年度人権教育推進事項

ア 就学前教育関係

- （ア）市立保育園・私立幼稚園に人権教育の推進を呼びかける。
- （イ）幼児教育・保育関係職員の講座・研修会等への積極的参加を呼びかけ、また資料を提供する。

イ 学校教育関係

(ア) すべての教師が人権問題について正しい認識をもち、児童・生徒に対し差別の不当性を理解させ、差別のない社会をつくる人間の育成を目指す。

- ① 市内小中学校各1校を人権教育推進校として指定し、年に1回(秋)、人権教育授業を広く学社に公開し、学校人権教育に対する理解を広げる。
- ② 「学校人権教育研究委員会」を継続し、人権教育を推進するための研究協議を行い、市内幼保小中高等学校の人権教育の一貫した実践を図る。
- ③ 市内幼保小中高等学校教職員を対象とし、人権教育研修会・研究授業と研究会の開催や実践のまとめを行う。
- ④ 要請に応じて、市内幼保小中高等学校における人権教育に係わる講演会ほかの開催に協力・支援を行う。

(イ) 解放子ども会の運営

- ① 差別を見抜く力、差別に立ちむかい解決していく力の基盤となる学力保障を重点に運営していく。(平成20年度より休会)

(ウ) 人権教育の資料収集と整備、活用

- ① 小学校低中高学年用「あけぼの」・中学校用「あけぼの 人間に光あれ」の配布と活用の呼びかけ、「人権教育作品集(ヒューマンライツ)」および「大町市学校人権教育実践録」の作成と配布
- ② その他、資料の収集

(エ) 人権教育推進協議会、企業人権教育推進協議会等との連携

- ① 各推進協議会を通じて、学社一体の人権教育の推進を図る。

(オ) 人権教育関係ポスター・作文の募集、ポスター展を通して学校人権教育を進める。

ウ 社会教育関係

(ア) 社会人権教育関係機関・団体における人権教育・啓発活動を推進する。

- ① 公民館・公民館分室
- ② 連合自治会
- ③ 人権教育推進協議会
- ④ 企業人権教育推進協議会
- ⑤ 人権擁護委員・人権擁護審議会・社会福祉協議会・民生児童委員協議会
- ⑥ 女性団体・老人クラブ・補導員・子ども会育成会・その他諸団体
- ⑦ PTA連合会・各学校PTA
- ⑧ 部落解放運動各種団体

(イ) 人権・同和教育推進懇談会事業の推進。

- ① 歴史講演会、人権同和教育講座等を実施し、人権・同和教育問題に対する理解と認識を深め、地域での教育を推進する。

(ウ) 社会人権教育指導者を養成し確保する。

- ① 人権教育指導者養成のための研修への参加案内・呼びかけ
- ② 市役所職員の研修会開催(市内各地の研修会等の場において推進的役割を果たす)

ため)

- ③ 人権教育指導者による地域内外における人権教育の推進
- (エ) 社会人権教育設備及び教材の整備、同和教育集会所の整備強化をする。
- ① 視聴覚教材等の充実整備
 - ② 人権関係資料・教材の整備

エ 社会人権教育活動の推進

- (ア) 人権を考える市民の集い
- ① 市内6地区の学校・公民館等で開催
- (イ) 市内全地域・全市民対象の人権教育
- ① 各種団体の自主的な人権教育講座開設への協力
 - ② 広報活動の強化 「広報おおまち」に人権啓発記事を掲載、有線放送・ケーブルテレビの活用、資料の配布等
 - ③ 公民館の開設する学級等に人権教育学習を組み込む場合の協力
- (ウ) 企業人権教育の推進
- ① 企業人権教育推進協議会への加入と協力の推進
 - ② 大北地区企業人権教育推進連絡協議会への協力
 - ③ 企業人権教育指導者研修の実施
 - ④ 企業独自の人権教育の推進への協力
- (エ) 同和問題に対する教育の推進
- ① 大町市人権・同和教育推進懇談会事業計画の策定と学習の促進
 - ② 部落解放運動各種団体の自主的計画による学習会に協力
- (オ) 市内の人権擁護委員及び関係機関との協力
- ① 各種人権啓発事業での連携
 - ② 人権週間及び旬間の活用、人権問題の啓発、作文・ポスター募集などの協力

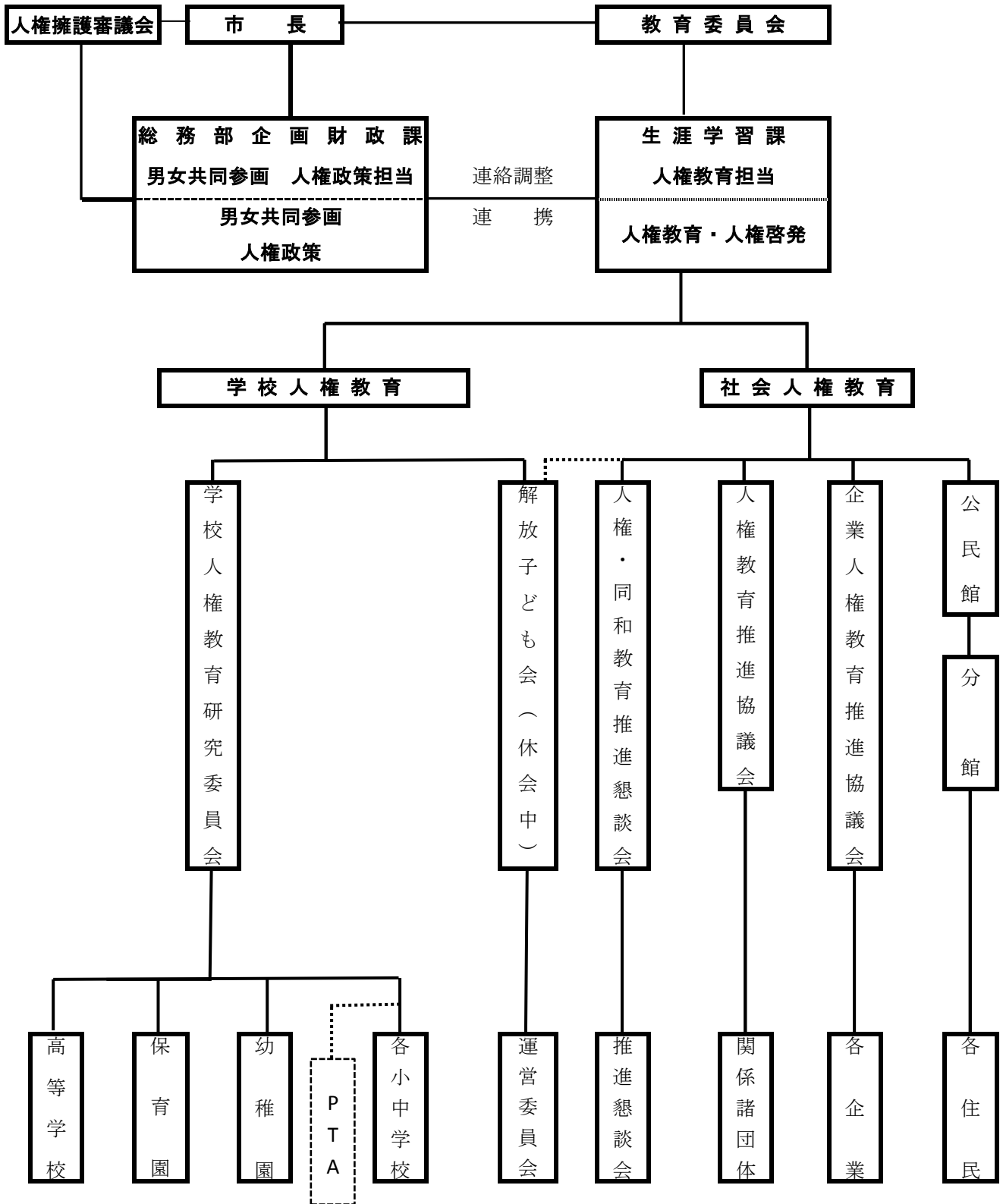
オ 人権教育の一層の推進に向けての今後の方針

- (ア) 人権教育の学社連携の強化
- ① 幼保小中高の一貫した人権教育の推進と授業公開への社会・企業人権教育関係者への参加呼びかけ
 - ② 社会人権教育推進としての「集い」へのPTA参加の強化（模索）
- (イ) リーダー養成・意識改革につながる研修・啓発の強化（模索）
- ① 「集い」の際の要項、団体・企業向け資料、広報紙による啓発活動
 - ② 各教育機関が人権教育を推進できるような情報・映像教材等の提供
 - ③ 各種機関・団体の人権問題への自主的な取り組みの促進
 - ④ 人権週間及び県民運動強調旬間に合わせての人権啓発事業の開催・資料の配付

(3) 平成27年度人権教育推進計画

	内 容 項 目	具 体 的 方 法	資 料 等	助 言 者 ・ 講 師 等
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ○指導者研修 ○地域の人権教育の推進 ○同和問題関係者との学習会 ○学校人権教育の推進 ○企業人権教育の推進 ○全市民に対する人権啓発活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会、企業、女性団体等の指導者に研修の機会を与える。 ○同和問題関係者の意識を理解し、今後の運動が高まるように啓発活動を推進する。 ○学校人権教育研究委員会と連携して、児童生徒への人権教育を進める。 ○企業経営者との連携を深め、企業内の人権教育の進展を図る。 ○「市民の集い」など研修活動の充実強化により全市民の人権感覚をより深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○映画、VTR ○[同和教育を進めるために] ○「アイユ」「人権長野」 ○各種講演・講座 ○先進地域の状況資料 ○その他の関係資料 	<ul style="list-style-type: none"> ○県教委教学指導課心の支援室 ○中信教育事務所 ○人権教育関係者 ○法務局関係者 ○人権擁護関係者 ○人権行政関係者 ○教育関係者 ○社会教育指導員 ○宗教関係者
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○市内6地区の学校や公民館で「人権を考える市民の集い」を開催 ○園児・児童・生徒を対象とした人権講演会への助成 ○公民館講座を利用した短時間人権講座の開催（随時） 			
事業計画	4	年度間事業計画樹立		
	5	学校人権教育研究委員会・研修会、人権教育推進協議会総会・研修会、		
	6	社会人権教育実践力スキルアップ講座、企業人権教育推進協議会総会・研修会、人権を考える市民の集い		
	7	社会人権教育研究協議会、人権を考える市民の集い（美麻）、企業人権セミナー		
	8	人権を考える市民の集い（八坂）		
	9	長野県人権教育リーダー研修会、人推協・企業人推協・人権擁護審議委員会 合同視察研修 長野県同和教育研究大会		
	10	社会人権教育実践力スキルアップ講座、人権を考える市民の集い（常盤）（大町）		
	11	学校人権教育公開授業（東小・一中）、人権を考える市民の集い（社）、スキルアップ講座、 人権作品の募集、大北地区企業人権教育推進協議会理事会（書面）、全国人権・同和研究大会		
	12	大北企業人権教育研修会、人権同和教育推進懇談会事業（体験交流会）		
	1	人権ポスター展示（児童生徒作品）、部落解放研究集会、人権同和教育推進懇談会事業（講演会）		
	2	人権教育作品集刊行、学校人権教育研究委員会 同和教育集会所運営委員会、学校人権教育実践録		
	3	年度間事業反省と次年度事業計画原案策定		
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○関係機関と連絡を密にする（学校・企業・自治会・その他の団体） ○企業人権教育推進協議会への未加入企業の加入促進 ○人権教育講演会・講座の工夫（自治会、企業・高齢者・児童生徒） ○地域住民・企業等の人権意識の実態把握 			

(4) 人権教育・啓発推進体制



5 公民館

公民館は、市民の自主的な学習活動を奨励し、援助することにより豊かな人間性を培うとともに、心豊かでより良い地域社会を生み出すことにある。多様化する社会にあって市民の要望を把握しながら、生涯学習時代に対応する公民館活動を推進する。

(1) 施設と機構

昭和29年の市制施行に伴い、大町市公民館を設置し、大町・平・常盤・社の4支館体制で運営してきたが、昭和58年から大町・平・常盤・社の4公民館を独立並列館とし、平成18年の市村合併により、美麻・八坂の公民館が追加、6公民館となる。

館名	所在地	対象地域	施設の概要
大町市 大町公民館	大町市大町1601-2 電話 0261-22-9988	大町地区 36分館	会議室 2 視聴覚室 料理実習室 講習室 学習室 実習室 児童室 延べ床面積681.67㎡ (昭和61年新築 文化会館併設)
大町市大町 公民館分室	大町市大町1058-13 電話 0261-22-0352		会議室 講堂 研修室 2 学習室 4 視聴覚室 栄養指導室 延べ床面積1,226.02㎡ (平成3年新築 中央保健センター併設)
大町市 平公民館	大町市平10352-1 電話 0261-22-0694	平地区 20分館	講堂 学習室 会議室 視聴覚室 実習室 延べ床面積996.63㎡ (昭和59年新築 女性未来館ピュア併設)
大町市 常盤公民館	大町市常盤3601-18 電話 0261-22-0321	常盤地区 8分館	学習室 3 研修室 2 視聴覚室 図書室 料理実習室 講堂 延べ床面積1,265㎡ (平成4年新築)
大町市 社公民館	大町市社3945-2 電話 0261-22-0378	社地区 7分館	会議室 作業室 大研修室 研修室 資料室 大展示室 延べ床面積891㎡ (昭和60年新築)
大町市 美麻公民館	大町市美麻11810-イ 電話 0261-29-2311	美麻地区 5分館	会議室 小会議室 中会議室 講堂 読書ストリート 延べ床面積545㎡ (平成19年新築 美麻支所併設)
大町市 八坂公民館	大町市八坂1133-1 電話 0261-26-2380	八坂地区 6分館	八坂情報コミュニティセンターアキツ併設 ホール 会議室 展示ホール 郷土資料室 図書コーナー 延べ床面積859.88㎡ (平成7年新築)

(2) 平成27年度事業計画

大町公民館	平公民館	常盤公民館	社公民館	美麻公民館	八坂公民館
大町地区市民運動会 大町地区球技大会(野球、ソフトボール、ソフトバレーボール、マレットゴルフ) 北アルプス囲碁・将棋大会(年2回) 各種講座の開設 大町地区文化祭	平地区市民球技大会(野球、ソフトボール、ソフトバレーボール) 平地区少年少女球技大会 平地区市民運動会 平地区市民マレットゴルフ大会 平地区市民ゴルフ大会 スマイルボウリング大会 各種講座の開設 文化祭(ピュアフエスタ)	球技大会(野球、ソフトボール、バレーボール、マレットゴルフ) 子ども球技大会 ゲートボール大会 運動会 少年駅伝競走大会 囲碁・将棋・マージャン大会 卓球・ソフトバレーボール大会 サークル活動展示会 各種講座の開設	社地区球技大会(野球、ソフトボール、ゲートボール、女子ソフトバレーボール、男女混合混合ソフトバレーボール、ゴルフ) 子ども球技大会 社地区親睦運動会 元旦マラソン 各種講座の開設 社地区文化祭・民俗資料館特別展	美麻地区運動会 夏季球技大会(ソフトボール、ソフトバレーボール、ゲートボール) トレッキング 探索ハイク 美麻地区文化祭 綱引き大会 各種学級・講座の開設	学友会お盆球技大会 (ソフトボール、マレットゴルフ) 八坂地区運動会 八坂地区登山 八坂地区文化祭 郷土かるたもちつき大会 レクリエーション スポーツ大会 ナイターソフトボール大会 湯俣噴湯丘見学会 各種講座の開設

(3) 講座・学級の開設状況

大町公民館

(平成26年度)

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
外国人のための日本語講座	4/2~3/25	39	10	走り方教室	7/12	1	51
すくすく広場	6/5~3/5	17	35組	健康ストレッチ教室	2/3~2/13	4	11
菊づくり講座	4/29~9/14	6	5				

平公民館

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
こくごの時間	5/2~12/5	8	15	初心者のための山野草講座	6/21	1	24
親子教室ひよこクラブ	5/13~2/24	15	35組	れきしの時間ーたいら郷土講座ー	8/8・9/12・10/21	3	20
親子でフィットネス	5/23~3/27	11	27組	いきいきトレーニング ニュー😊スマイル	11/11~2/24	14	25
信濃路の郷土料理講座Ⅰ	6/19~10/16	5	10	そば打ち講座	11/18~12/16	5	9
信濃路の郷土料理講座Ⅱ	11/20~3/19	5	7				

常盤公民館

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
サークル体験入学「太極拳常盤教室(太極拳)」	5/20・27	2	12	野菜作りからはじめる漬物教室「野沢菜漬け」	9/3~12/2	5	10
鍬の峰へのぼろう	5/24	1	25	はじめての中国語「日常会話編」	9/12~10/31	8	13
親子教室ともだち広場	6/11~2/25	16	30組	年越しそば教室	12/17~18	2	9

はじめての中国語「初心者入門編」	6/20～8/8	8	12	手軽にできる手楽膳料理教室	2/13	1	13
生涯学習支援講座「山岳講演会」	7/25	1	17	わら細工講座「円座とねこつぐら」	2/19～3/5	5	19
パソコン教室「基礎から学ぶ楽しいエクセル講座」	7/23～8/11	10	8	手軽にできて楽しいニューススポーツ「スポーツ吹矢教室」	2/25～18	4	22

社公民館

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
プランターで花の寄せ植え & 野菜作り講座	5月31日	1	9	そば打ち講座	11/30～12/14	3	24
親子教室なかよし広場	5/14～2/18	19	24組	タイ・ハーブ・ソルトビロー作り講座	2月25日	1	17
こけ玉づくり講座	7月12日	1	7	仁科路寺子屋講座	2月28日	1	21
ストレッチ&ヨガ教室	9/11～10/16	6	90	やしょうま作り講座	3/4～3/18	2	19

大町公民館分室 対象講座なし

美麻公民館

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
探索ハイク	4/29	1	12	親子教室バンダクラブ	5/12～3/4	10	14組
苔玉教室	6/15～10/26	2	18	親子教室コアクラブ	6/6～2/5	5	13組
ヨガ教室	4/9～3/11	12	103	みそづくり教室	6/13～2/14	15	11組
映画塾	4/23～3/25	21	162	高齢者学級	6/23～3/24	8	255
自然体験教室	5/28～6/1	1	7	お手伝いし隊	7・8・3月	8	195

八坂公民館

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
自然体験教室	5/28～6/1	1	5	八坂塾(そば打ち講座)	11/19～12/15	6	10
高砂大学	6/18～3/13	10	84	すこやか広場	6/30～3/13	10	6組
パソコン教室	11/18～12/4	6	11	北アルプス登山	9/20～21	1	40

大町公民館分室サークルー日体験開催状況(平成26年度)

サークル名(内容)	開催日	開催時間	サークル名(内容)	開催日	開催時間
レザークラフト(革細工)	11/13	19:00-21:00	書草会(書道)	11/20	9:30-11:30
秋翠会(短歌)	11/18	13:30-15:30	のぼらの会(健康体操)	11/20	13:30-14:45
大町シルバーダンスクラブ(社交ダンス)	11/18	13:30-15:30	ライズ(社交ダンス)	11/20	19:30-21:30
いとたけ会(箏曲)	11/19	13:30-15:00	むつみ会(社交ダンス)	11/21	13:30-15:00
せせらぎ会(俳句)	11/19	14:30-17:00	クロッカス(健康体操)	11/21	14:00-15:00
いとたけ会(尺八)	11/19	18:00-19:30	スリースリーズ(社交ダンス)	12/2	19:30-21:30

コール和リンガーズ（コーラス）	11/19	19:30-20:30	大町短歌会（短歌）	12/9	13:00-15:30
-----------------	-------	-------------	-----------	------	-------------

平公民館サークル一日体験開催状況(平成26年度)

サークル名(内容)	開催日	開催時間	サークル名(内容)	開催日	開催時間
押し花教室	7/23	9:30~12:00	ミュージックキイ・秋桜(キーボード)	9/18	10:00~11:00
あすなろクラブ(社交ダンス)	8/18	19:30~21:30	幸せのクローバー(編物)	12/17	10:00~15:00
静和会(茶道)	7/16	10:00~12:00	式部の会(茶道)	10/25	10:00~12:00

(4) 利用状況

(平成26年度)

館名	利用件数	利用延べ人数	館名	利用件数	利用延べ人数
大町公民館	1,934	25,551	大町公民館分室	2,298	23,957
平公民館(女性未来館との合計)	1,702	21,820	美麻公民館	298	6,111
常盤公民館	1,167	15,704	八坂公民館	219	1,817
社公民館	383	5,405	蔵の音楽館	304	869

6 図書館

(1) 基本方針

乳幼児期の絵本とのふれあいや、市民の読書と学習に役立つことができ、「暮らしの中に生きる図書館」として、利用拡大を図りながら「豊かな心を育む読書」の推進や、さまざまな学習に対する的確な情報提供を行う。また、市民のニーズに十分応えられるよう図書館資料の収集と充実を図り、生涯学習の拠点として「誰もが安心して利用」でき、魅力的で「親しまれる図書館」を目指し、積極的に図書館サービスを行う。

さらに「子供の読書活動の推進」を重点施策と位置づけ、乳幼児期から本に親しめ、成長段階に応じた読書推進を図る。

(2) 重点目標

- ・ 生涯学習、情報時代にふさわしい図書館を目指し、資料の整備、資料情報の質の向上を図る。
- ・ おはなし会など乳幼児期から積極的に読書活動を行う意欲を高めるための方策を講ずる。
- ・ 小中学校の学校図書館と連携し子どもの読書及び読書活動の推進を図る。
- ・ 高齢者、障害者が利用しやすい図書館づくりとサービスを進める。
- ・ レファレンス（調査相談業務）の充実と、その対応のための資料整備を図る。
- ・ 県立図書館や関係諸機関との連携を密にして、広範囲な資料要求に応える。
- ・ インターネットのホームページを利用した情報提供を推進する。
- ・ 読書ボランティアの育成と図書館活動の推進を図る。
- ・ 利用の拡大を図るため、広報活動の充実に努める。

(3) 施設

名 称	市立大町図書館		
所 在 地	大町市大町 4710 番地 6		
建 物	R C 造 2 階建		
	床面積	1 階	1,181.83 m ² 2 階 545.11 m ²
開館時間	火・水・木・金	午前 9 時 30 分～午後 6 時 30 分	
	土・日・祝日	午前 9 時 30 分～午後 6 時（12 月～3 月 午後 5 時）	
休 館	○毎週月曜日	○年末年始	○館内整理日（毎月最終の火曜日）
	○資料整理点検期間（毎年 6 月中の 必要期間 ）		

(4) 平成27年度事業計画

事業名	内 容	実施時期	参加対象者・数	方 法
子どもの読書推進	おはなしの森	月1回	幼児・小学生	ボランティア
	おいでえほんのおへや	月1回	幼児・小学生	ボランティア
	子ども朗読道場	月1回	小学生	ボランティア 朗読指導
	ブックスタート	月2回	4ヶ月・2歳児健診	読みきかせ・ブックトーク
	セカンドブック	年6回	4歳児	絵本のプレゼント
大人の読書推進	万葉集・古文書読書会	月1回	一般	サークル
展示コーナーの充実	新刊本の展示	随時	一般	読書ボラグループおすすめ本 もんぺの会
	話題本の展示	随時	一般	
	季節・行事に応じた図書の展示	随時	一般	
	えほん等のおすすめ本	随時	乳幼児から一般	
	ヤングアダルト向け図書	随時	中学生・高校生	
体験コーナーの設置	おりがみ教室	毎月第3木曜日	幼児～大人	職員
	読み聞かせ体験	随時		希望者
視聴覚障がい者サービス	視覚障がい者の方に 図書録音テープ 点字図書の貸出	随時	視聴覚障がい者	ボランティア 「かっこう」の会 「はたる」の会
くまの子文庫	園文庫の配本と巡回	年2回巡回	市内8保育園 市内3幼稚園 子育て支援センター 中央保健センター	4月 配本 9月 入れ替え 2月 回収
読書活動推進イベント	子ども読書の日・子どもの日イベント			4月下旬
高齢者の読書推進	高齢者施設へ出向いての読み聞かせ及び図書資料の貸出推進			随時 職員
夜間開館	竈神社祭典時に開館時間の延長			9月
松本山雅読書週間協力事業	松本山雅のテーマ展示及び選手の葉配布			10月下旬から11月上旬
手づくり絵本巡回展	手づくり絵本の展示	4月17日～19日	利用者全般	ボランティア
手づくり絵本による読み聞かせ	手づくり絵本による読み聞かせ	4月17日～19日	利用者全般	ボランティア
母の日イベント	ハートのデコカード作り	5月上旬	利用者全般	職員
蔵書点検	図書の整理	6月8日～15日		休館
七夕の夕べ	七夕飾り・七夕人形	6月下旬～8月上旬	利用者全般	職員・ボランティア
夕涼みおはなし会	おばけのお話の読み聞かせ	8月上旬	利用者全般	職員・ボランティア
夏休み工作	万華鏡づくり	8月上旬	利用者全般	職員
秋のおはなし会	民話のかたり	9月下旬	利用者全般	ボランティア
B o o K B o o K 2015	お話を中心としたイベント	10月中旬	利用者全般	ボランティア
ハロウィンイベント	ハロウィン小物作成	10月	利用者全般	職員
ボイストレーニング	ボイストレーニング・朗読指導	4・6・8・10・11・1・2月	利用者全般	ボランティア講師
絵手紙講座	絵手紙の書き方教室	11月中旬	利用者全般	講師依頼
クリスマスイベント	Xmasリース作り	11月下旬	利用者全般	職員
	紙芝居・Xmasコンサート他	12月中旬	利用者全般	職員・ボランティア
お正月イベント	お正月の切り紙教室	12月中旬	利用者全般	職員
	民話かるた大会	1月中旬	利用者全般	職員・もんぺの会
紙粘土人形作り	紙粘土による「まねきねこ」作り	1月下旬	利用者全般	講師依頼
節分豆まき会	お話会・豆まき	1月下旬	利用者全般	職員・ボランティア
リサイクル本	リサイクル本の配布	5・10・2月	利用者全般	
大活字本紹介	高齢者学級や高齢者施設に出向き読み聞かせと大活字本を紹介し、来館促進する。			
新刊本お勧め本紹介	新刊本の中で図書館が特に薦める資料を紹介			
所蔵本お勧め本紹介	館内所蔵の中で職員が特に進める資料の紹介			

(5) 平成27年度 子どもの読書活動推進計画

事業	内容	対象・回数
① 乳児から未就学児親子に対する絵本とのふれあい		
ブックスタート	保健センターの健診時を利用し、読みきかせボランティアの協力により絵本の読みきかせ、相談、読書の楽しさと大切さを知っていただく啓発活動を行う。	4ヶ月児と2歳児親子 (月1回ずつ)
セカンドブック	自分でも本を読む意欲を持ち始める時期の4歳児に本を贈ることにより、親子での読書を通じて読書習慣をつけることを目的とする。	年6回
親子読書の推進・啓発	○年齢に応じた絵本リスト紹介 ○児童図書の充実 ○親子折り紙教室・ブックトーク・絵本の読み聞かせの開催	乳幼児から保護者まで (通年)
おはなしの会	○乳幼児から未就学児を対象としたおはなし会の開催 おいでえほんのおへや	乳幼児から保護者まで
くまの子文庫 《園児の選書力》 《親子読書の推進》	○園文庫の配本と巡回 ○各施設との意見交換及び状況確認	市内の3幼稚園、8保育園、 子育て支援センター、中央 保健センター(巡回は年2回)
② 児童・生徒の読書活動の推進		
おはなし会等 *おはなしの森 *子ども朗読道場	○図書館と連携したボランティアによる読みきかせや語り ○小学生を対象とした朗読練習	市民全般(毎月) 小学生(毎月)
図書館利用の促進	○児童向け図書案内及び新刊コーナーの充実等 ○季節にちなんだ行事の開催(子ども読書の日、折り紙教室、七夕、夏休み特集、クリスマス、正月、節分、春休み特集等) ○読みきかせや交流の場の提供 ○学校司書との連絡会の開催 ○図書館見学、職場体験の受け入れ	児童・生徒
図書館協議会の促進	○学校図書館司書、司書教諭も含め市図書館との連絡(図書館運営・蔵書・選書などの意見交換) ○読みきかせボランティアを導入した「朝の読みきかせ」の推進・協力 ○小中学生へ「朝読書」の推進・協力	小中学校、図書館 市民代表(協議会委員)
中高生への読書推進 《読書に対する意欲の向上》	○ヤングアダルトコーナーの充実 ○読書推進の啓発	中・高生
③ 市民による子どもへの読書活動の推進		
ボランティア養成講座及び活動ボランティアとの連携	○読みきかせボランティアの養成と拡大 ○読みきかせボランティア養成講座 ○活動サークルとの連絡会、支援、協力 ○「手づくり絵本」展示会場の提供等	市民全般 登録ボランティア
イベントの開催 *BookBook2015	○ボランティア連絡会による活動発表会及び情報交換会	会員及び市民全般
公民館図書室の充実と連携	○公民館蔵書の配置 ○公民館図書室の実情の把握、改善 ○公民館活動との連携 ○子ども会育成会等との連携	地区公民館 地域市民
障がい者サービスの充実 *手づくり絵本*かつこう	○テープ図書の作成	障がいを持つ子ども
④ 広報活動		
	○広報、新聞、有線で新着図書紹介やイベント案内 ○図書館カレンダーに行事案内を掲載し配布 ○図書館ホームページの活用 ○各種の催しを、市内幼稚園、保育園、小学校にチラシ配布	市民全般

(6) 蔵書構成

(平成27年3月31日現在)

分 類		蔵書冊数	構 成 比	分 類		蔵書冊数	構 成 比
一 般 図 書	N 郷土資料	6,457 冊	4.8 %	児 童 図 書	児 童 図 書	33,142 冊	24.4 %
	0 総 記	4,440	3.3		紙 芝 居	1,000	—
	1 哲 学	4,041	3.0	合 計	135,717	100.0	
	2 歴史・地理	9,337	6.9	園 文 庫	3,920 点	—	
	3 社会科学	13,637	10.0	雑 誌	4,452	—	
	4 自然科学	9,668	7.1	視 聴 覚 資 料			
	5 工業・工学	7,342	5.4	C D	1,704 点	—	
	6 産 業	3,656	2.7	ビ デ オ	1,587	—	
	7 芸 術	10,651	7.8	D V D	615	—	
	8 語 学	1,771	1.3	テ ー プ 図 書	1,768 本	—	
	9 文 学	30,980	22.8	総 合 計	149,763	—	
	小計	101,980	—				
	文 庫	5,193	—				
	大 活 字 本	1,724	—				
参 考 図 書	324	—					
新 書	12,357	—					
点 字 図 書	595	—					

(7) 利用状況

ア 分類別貸出冊数

(平成26年度)

分類		児童	一般	合計	構成比
一般 図 書	0 総記	137	757	894 冊	1.05 %
	1 哲学	160	2,180	2,340	2.76
	2 歴史・地理	409	3,910	4,319	5.10
	3 社会科学	390	3,913	4,303	5.08
	4 自然科学	285	3,939	4,224	4.98
	5 工業・工学	1,165	13,006	14,171	16.72
	6 産業	280	3,116	3,396	4.01
	7 芸術	807	5,404	6,211	7.33
	8 語学	69	779	848	1.00
	9 文学	1,134	28,960	30,094	35.51
	E 絵本	28	35	63	0.07
	B 文庫	354	5,835	6,189	7.30
	D 大活字本	126	1,782	1,908	2.25
	R 参考図書	1	7	8	0.01
	S 新書	297	5,483	5,780	6.82
	小計		5,642	79,106	84,748
児童 図 書	0 総記	184	238	422	0.84
	1 哲学	78	175	253	0.50
	2 歴史・地理	394	486	880	1.75
	3 社会科学	423	292	715	1.42
	4 自然科学	874	1,345	2,219	4.41
	5 工業・工学	426	545	971	1.93
	6 産業	160	180	340	0.67
	7 芸術	713	912	1,625	3.23
	8 語学	100	102	202	0.40
	9 文学	3,738	6,513	10,251	20.35
	E 絵本	9,599	21,466	31,065	61.67
	K 紙芝居	391	879	1,270	2.52
D 大活字本	0	16	16	0.03	
S 新書	9	133	142	0.28	
小計		17,089	33,282	50,371	100.00
郷土資料		55	589	644	—
雑誌		674	6,049	6,723	—
視聴覚資料					
C D		155	2,514	2,669 点	—
ビ デ オ		132	510	642	—
D V D		1,113	3,480	4,593	—
テープ 図書		12	135	147	—
合計		24,872	125,665	150,537	—

イ 月別貸出数と登録者数

(平成26年度)

月	開館日数	貸出数	一日平均	学習室利用者数	一日平均	登録者数
4	25	13,530	541 冊	254	10 人	62
5	24	13,054	544	366	15	53
6	13	9,027	694	138	11	23
7	26	15,040	578	407	16	61
8	26	14,963	576	914	35	58
9	24	12,425	518	539	22	46
10	26	14,445	556	566	22	47
11	25	14,069	563	651	26	57
12	24	12,056	502	448	19	29
1	21	11,465	546	444	21	31
2	23	12,948	563	581	25	34
3	25	13,211	528	282	11	40
計	282	156,233	554	5,590	20	541

※貸出数は学習室利用を含む

(5) 利用状況

ア 入館者

年度	総数	一般個人			団体			無料減免
		大人	高校生	小中生	大人	高校生	小中生	
26	489人	291人		100人	21人		77人	
27	5,147	2,425		1,022	186		1,514	
28	13,092	8,922		2,229	725		1,216	
29	11,424	7,779		1,831	625		1,189	
30	10,885	6,831		1,664	1,445		945	
31	4,930	2,148		888	1,036		858	
32	5,298	1,934		658	826		1,880	
33	7,897	2,979		1,032	1,469		2,417	
34	7,113	2,972		626	1,727		1,788	
35	8,599	3,635		878	1,943		2,143	
36	10,163	4,181		1,329	2,132		2,521	
37	14,243	5,313		1,633	4,549		2,748	
38	15,893	6,394		1,854	4,727		2,918	
39	26,242	10,464		1,658	12,600		1,520	
40	25,560	14,214		1,696	8,050		1,600	
41	26,680	10,399		1,711	13,070		1,500	
42	25,900	12,891		1,649	8,301		3,059	
43	41,538	18,458		2,071	17,769		3,240	
44	32,967	16,273		2,100	10,845		3,749	
45	30,929	13,405		1,941	11,623		3,960	
46	39,326	18,414		3,001	14,718		3,193	
47	40,670	17,500		3,025	13,268		6,877	
48	58,373	25,809		4,178	22,612		5,774	
49	62,254	28,702		4,277	23,432		5,843	
50	67,692	32,345		4,896	23,616		6,835	
51	70,603	32,111		5,142	25,150		8,200	
52	54,700	26,155		4,311	18,907		5,327	
53	64,129	26,346		4,158	24,903		8,722	
54	63,943	27,769		4,485	25,089		6,600	
55	57,038	25,743		4,414	19,909		6,972	
56	65,132	31,697		7,558	16,182		9,695	
57	70,215	31,894	809	6,400	10,391	5,827	6,929	7,965
58	86,413	33,590	988	6,632	15,885	7,992	12,303	9,026
59	82,384	30,335	816	5,905	12,969	9,172	15,070	8,117
60	99,866	36,686	1,142	8,025	22,782	8,559	15,902	6,770
61	86,678	34,797	1,086	6,109	16,001	8,107	16,069	4,509
62	86,238	33,132	918	5,581	18,751	7,065	17,186	3,605
63	84,925	36,116	841	5,932	14,947	6,085	14,735	6,269
元	80,744	41,018	1,199	6,450	13,191	4,650	10,527	3,709
2	82,798	43,444	1,108	6,752	16,486	3,045	7,119	4,844
3	86,477	47,004	1,276	7,313	13,817	4,212	8,278	4,577
4	73,824	42,197	725	5,719	13,068	1,687	7,015	3,413
5	75,766	45,182	809	5,807	12,249	2,807	5,325	3,587
6	64,939	38,354	933	4,809	10,561	1,932	4,974	3,376
7	63,860	37,356	981	4,650	9,493	1,840	4,164	5,376
8	53,984	36,002	869	4,189	6,601	1,905	2,244	2,174
9	47,562	31,119	626	3,417	7,626	1,245	2,100	1,429
10	42,440	28,219	637	3,105	6,023	764	2,006	1,686
11	34,618	24,220	482	2,200	4,766	561	1,183	1,206

年度	総数	一般個人			団体			無料減免
		大人	高校生	小中生	大人	高校生	小中生	
12	34,059 人	23,082 人	501 人	2,273 人	5,344 人	648 人	1,024 人	1,187 人
13	35,013	24,064	439	2,163	3,389	671	1,577	2,710
14	28,399	20,527	472	1,744	2,518	675	808	1,655
15	28,322	19,693	535	2,152	2,184	785	1,082	1,891
16	21,551	14,664	376	1,073	2,875	602	644	1,317
17	19,265	12,065	213	630	3,138	692	928	1,599
18	23,363	14,056	135	996	3,120	545	1,836	2,675
19	17,572	10,991	120	742	2,401	407	1,037	1,874
20	18,515	11,532	130	803	2,766	381	578	2,325
21	17,942	11,269	100	704	3,055	61	1,098	1,655
22	15,147	9,578	103	594	2,665	466	467	1,274
23	21,020	12,363	127	855	2,963	328	1,396	2,988
24	16,133	9,818	114	640	2,344	498	587	2,132
25	12,237	7,550	97	522	2,008	142	353	1,565
26	20,919	12,249	119	893	3,146	655	370	3,487

7 山岳博物館

地域の総合博物館という基本的な性格をもち、観光施設として山岳及び地域の自然を紹介し、教養・文化創造・憩いの場を提供するとともに、資料の収集・保管、展示、調査研究、教育普及活動を進める。

(1) 施設概要

名称 市立大町山岳博物館
 所在地 大町市大町8056-1
 電話 0261-22-0211 F A X 0261-21-2133
 敷地面積 39,875.92㎡
 建物構造 鉄筋コンクリート地下1階地上3階
 床面積 1階：1,224.9㎡ 2階：686.1㎡ 3階：116.8㎡ 地階：159.2㎡
 附属施設 山岳図書資料館・付属園（本館裏）

(2) 平成26年度 資料収集事業

ア 収蔵資料

[平成27年3月31日現在]

人文科学系資料		自然科学資料			
区分	数量	区分	数量	区分	数量
山岳	7,379	菌類（液浸標本）	129	哺乳類（剥製等標本）	237
山岳・美術寄託	610	蘚苔類（乾燥標本）	674	鳥類（剥製標本）	651
歴史	12	維管束植物（液浸標本）	7	昆虫（標本ドイツ箱）	258
民俗	932	維管束植物（さく葉標本）	約6,000	昆虫（未標本作製）	約4,600
美術	390	魚類（液浸標本）	62	昆虫（液浸標本）	27
考古	0	両性爬虫類（液浸標本等）	72	その他液浸標本	103
図書・AV	33,893	貝・甲殻類（液浸標本）	13	図書・AV	5,854
計	43,216	地質	2,527	計	約21,214

イ 資料収集

昆虫資料、化石資料、山岳書籍、山岳資料等4,231点を寄贈により受け入れ。
 購入、製作により化石、剥製標本、山岳資料を48点収集。

ウ 飼育動物・栽培植物

[平成27年3月31日現在]

種名	雄	雌	不明	計	種名	雄	雌	不明	計
ホンドタヌキ*	1			1	カルガモ*			1	1
ホンドキツネ*	1			1	マガモ*	1			1
ハクビシン*	2	1		3	モズ*		1		1
ニホンカモシカ*	2	5		7	トビ*			8	8
					チョウゲンボウ*	1	1		2
					ニホンキジ*	2	1		3
					キジバト*			2	2
					オオコノハズク*			1	1
					フクロウ*			1	1
計	6	6		12	計	4	3	13	20

*保護動物を含む

傷病鳥獣保護受け入れ 哺乳類0種0個体、鳥類5種6個体（そのうち死亡3個体、放鳥獣3個体）
 栽培植物31種

(3) 平成27年度 調査研究事業

ア 主な調査研究事業

- ① 鹿島槍ヶ岳カクネ里雪渓（氷河）学術調査
- ② 高山植物の生活史に関する研究
- ③ スパールバルライチョウの飼育・研究
- ④ 爺ヶ岳におけるライチョウの生息域内の山岳気象観測

(4) 平成27年度 教育普及事業

ア 企画展・特別展

名 称	期 間
山博にライチョウがやってくる！ 山博「ライチョウの里」への再出発	6月12日～7月12日
山岳風景画の世界－山博収蔵コレクション－	7月18日～10月12日
北アルプスの自然に蝶が舞う	2月13日～4月10日

イ 常設展示

展示資料点数1,057点（自然科学系505点、人文科学系552点）

ウ 移動展示

名 称	期 間	場 所
「山の科学・研究トピックス」出張展示	4月15日～5月1日	大町市役所
人と生きもの つながり創生 全国フォーラム	9月19日	木曾文化公園
第10回安曇野アートライン美術館展	11月21日～12月23日	国営アルプスあづみの公園

エ 主な教育普及活動

名 称	期 間
シンポジウム「日本アルプスと氷河」	5月16日
山の歴史ウォーキング 体感！ 山岳文化都市おおまち 市街地編	6月20日
北アルプス爺ヶ岳でライチョウを観察しよう！	7月19日～20日
自然ふれあい講座 セミの抜け殻を探せ！	8月3日
さんぱくこども夏期だいがく－山の妖怪ウォッチ－	8月6日
さんぱくふぞくえんまつり(写生大会、どうぶつ観察ツアー、スタンプラリー他)	8月8日～16日
信濃大町山岳フェスティバル2015	9月12日
山の歴史ウォーキング 体感！ 山岳文化都市おおまち 高瀬入編	10月18日

オ その他の教育普及活動

名 称	期 間
学校との連携授業(市内小学校の博物館活用事業)	4月～3月
博物館実習の受入	8月(5日間)
学習会等への協力(出張講座等)	4月～3月
雪形まつりへの協力	5月～6月
市民登山への協力	9月
博物館資料の貸出(特別利用)	4月～3月
山岳図書資料館の利用	4月～3月
観覧者への展示解説(事前依頼者)	4月～3月

カ 情報発信

『山と博物館』の発行 毎月1回1,000部発行、3月号のみ市内全戸配布11,000部発行
『博物館総合案内』の発行
『山岳博物館紀要』の発行
『山岳博物館年報』の発行(平成26年度)
インターネット・ウェブサイトの運用

キ 他団体との連携

大町博物館連絡会
安曇野アートライン推進協議会・博物館美術館部会
山岳博物館友の会
ライチョウ会議
信州大学山岳科学総合研究所との研究協力協定
長野県環境保全研究所との連携・協力に関する協定
オーストリア・インスブルック市との友好提携協定

ク ミュージアムショップ・カフェの営業(委託)

(5) 平成27年度 動植物飼育栽培繁殖事業

ア 動物飼育繁殖

動物の生体展示

教育普及への活用

傷病鳥獣の救護

希少種の保護・繁殖

施設整備(ライチョウ舎の建設及び今後の付属園整備計画)

イ 植物栽培繁殖



さんぱくこども夏期だいがく「山の妖怪ウォッチ」～鷹狩山山頂～



ふぞくえんまつり～おおまぴよんとあそぼうの一コマ

8 民俗資料館

民俗資料館は、社地区に残された文化財をはじめ、仁科文化や、社地区に関係ある資料を中心に展示し、文化向上に寄与するとともに、地域のコミュニティーセンターとしての機能を持つものとする。

(1) 施設

名 称	大町市民俗資料館
所 在 地	大町市社 3945-2
電 話	0261-22-0378
床 面 積	891 m ²
開 設	昭和 60 年 4 月 1 日
開 館	月曜日（祝日の場合は翌日）を除く日 冬期（12 月から 3 月まで）は、土曜日・日曜日・祝日、年末年始を除く日 時間 午前 8 時 30 分～午後 5 時

(2) 展示室

ア 特別展示室

考古資料として、当資料館裏山に広がる山寺廃寺跡から出土した長野県宝の四耳壺・青白磁水注・写経石等を展示。当時の中国から輸入した陶器などがお墓の骨壺に使われていて、大きな寺があったことを物語っている。

また、民俗資料として、明治時代のひな人形・五月人形・七夕人形等を展示し、歴史資料として、地区内の歴史的建造物を写真パネルで紹介している。

イ 小展示室

江戸から昭和 30 年代に入るまで、社地区の主要産業として地域経済を支えてきた、松崎紙および宮本紙の資料（昭和 50 年市指定文化財〈民俗資料〉に指定）を展示。

釜・竈・すき舟・馬鋏などの紙すき用具のほか、紙すきの模様を説明した写真などを交え、歴史・工程両面から紹介している。

ウ 企画展示室

旧社小学校に所蔵されていた、明治から現在に至るまでの教科書資料を中心に、市内の学校の移り変わりを年表にまとめている。

(3) 利用状況

入館者状況

年 度	総 数
62	1,859 人
63	1,856
元	2,169
2	1,992
3	2,064
4	1,723
5	1,284
6	1,434
7	1,048
8	1,104
9	845
10	1,139
11	676
12	690
13	634
14	492
15	427
16	253
17	534
18	227
19	367
20	355
21	468
22	527
23	623
24	681
25	588
26	635

9 文化会館

大町市の将来像－「美しく豊かな自然 文化の風薫る きらり輝くおおまち」の実現に向けて、文化都市の創造と心豊かなまちづくり・ひとづくりを推進する拠点文化施設として、市民要望に応じた計画的な施設の改善を図りながら、優れた舞台芸術の鑑賞機会を充実させるとともに、市民の自主的な文化活動を支援し、地域文化の振興を図ります。

1 芸術文化活動の支援

市民の芸術文化活動の発表の場として、市民芸術祭を開催します。
また、自立して、団体独自で発表会等を実施する活動を積極的に支援します。

2 芸術文化に触れる機会の充実

劇団四季ミュージカルを実施し、市内高校生以下の児童・生徒が、低料金で鑑賞できるようにするほか、市民ニーズに沿ったコンサートなどを開催します。
また、舞台芸術を身近で感じられるように、学校・施設等での演奏会を実施します。

3 芸術文化団体の育成・支援

大町市芸術文化協会への加盟促進を図りつつ、市内芸術文化団体のそれぞれの活動への支援を通して育成し、自主的な芸術文化活動を促進します。
大町市少年少女合唱団の団員の加入促進、集団活動を通じた子どもたちの人間形成を図るなどの活動の支援を通して、地域の子どもの育成を図ります。

4 市民参加と協働による特色ある文化の創設

市民参加による、地域に根ざした特色ある芸術文化活動を支援し、協働で事業を実施します。

5 文化施設の整備

開館して29年を迎えた施設の計画的な改修に努め、市民芸術活動の拠点となる施設の整備と充実を図ります。

(1) 施設

名 称	大町市文化会館
ホールの愛称	エコーホール
所 在 地	大町市大町1601-2
電 話	0261-22-9988 F A X 0261-22-9849
設備概要	大町公民館、文化会館棟 大ホール1,144席（母子席、車椅子席あり）、リハーサル室、練習室3室、楽屋4室、展示室 サン・アルプス大町棟 大会議室（200人）、研修室（75人）、小会議室（25人）、和室研修室（20人）、中会議室（50人）
施設延べ面積	6,478.03㎡
開 設	昭和61年5月28日

(2) 平成27年度事業計画

事業名	期 日	主な出演者等
細川たかしコンサート	9月21日	細川たかし・杜このみ・まるまる
高橋あずみコンサート	11月3日	高橋あずみ
祭in大町・北安曇2015 Again	11月8日	大北地域の民俗芸能団体ほか
2015市民芸術祭日本舞踊・市民芸能ステージ	11月1日	日本舞踊・歌謡舞踊・カラオケ・太極拳・詩吟ほか
2015市民芸術祭Sky Blueコンサート	11月15日	器楽演奏・合唱の団体
2015市民芸術祭Dance! 2013	11月22日	ジャズダンス・モダンバレエ・ヒップホップダンス・クラシックバレエ
芸術文化ふれあい拡充事業	11月26日～28日	小谷口直子・塩見亮
東京スカパラダイスオーケストラコンサート	12月12日	東京スカパラダイスオーケストラ
大町市少年少女合唱団定期演奏会	12月20日	大町市少年少女合唱団
大町市芸術文化協会「はばたきの集い」	2月28日	大町市芸術文化協会加盟団体
劇団四季 むかしむかしゾウがきた	3月21日	劇団四季

(3) 平成26年度実施事業

事業名	期 日	主な出演者等
ベンチャーズ 結成55th コンサート(共催)	7月21日	ベンチャーズ
劇団若獅子「蛍火 殺陣 春夏秋冬」	8月9日	劇団若獅子 仁科亜季子
TOMOMI KAHARA CONCERT TOUR2014	9月14日	華原朋美
芸術文化ふれあい拡充事業	11月6日～8日	小谷口直子・塩見亮
2014市民芸術祭日本舞踊・市民芸能ステージ	11月2日	日本舞踊・歌謡舞踊・カラオケ・太極拳・詩吟ほか
2014市民芸術祭Sky Blueコンサート	11月16日	器楽演奏・合唱
2014市民芸術祭Dance! 2014	3月1日	モダンバレエ・ジャズダンス・モダンダンス・フラダンスほか
大町市少年少女合唱団定期演奏会	12月14日	大町市少年少女合唱団
大町市芸術文化協会「はばたきの集い」	3月15日	大町市芸術文化協会加盟団体
おおまちファミリーコンサート	2月28日	坂田おさむ・坂田めぐみ・いとうまゆ
劇団四季 ふたりのロッテ	3月22日	劇団四季

(4) エコーホール利用状況

(平成26年度)

利用件数 116件
 利用者数 31,715人
 ホールオープンからの延べ利用者数 1,163,768人

(5) サン・アルプス大町利用状況

(平成26年度)

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
件数	44	36	43	61	45	39	40	46	33	35	41
利用者人員	1,720	1,939	2,597	2,182	2,367	2,095	5,222	3,875	1,955	983	3,634
開館日数	25	24	25	26	27	23	26	24	23	23	23

月別	3	計
件数	53	516
利用者人員	1,247	29,816
開館日数	25	294

10 女性未来館ピュア

女性労働者および勤労者家庭の女性などを対象に職業生活ならびに家庭生活に必要な指導、講習等を行う。また、レクリエーション等余暇活動の場と機会を提供し、女性の福増進を総合的に進める。

(1) 施設

名 称	大町市女性未来館ピュア
所 在 地	大町市平10352-1
電 話	0261-22-0694
建 物	鉄骨耐火被覆構造 平屋建て 床面積 614.46㎡
各 室	第1講習室、第2講習室、茶室、料理講習室、音楽室、 軽運動室、図書室、託児室、相談室、談話室、事務室
開 設	昭和59年4月1日
開 館	開館時間 午前8時30分～午後9時30分

(2) 平成26年度実施事業

	名 称	実施月	回数	受講者数・延人数
講 座 の 開 設	ピュアに輝く女性講座	4～2月	10回	40人・延343人
	落語教室	7月	5回	5人・延19人
	普段着の着物着付け	4～7月	7回	15人・延94人
	こくごの時間	5～2月	8回	25人・延164人
	手づくり絵本講座	8～10月	4回	8人・延26人
	保育サポーター養成講座	8～10月	5回	3人・延19人
	SANNBAの会・産後ママのエクササイズ	春コース	3回	6人・延14人
	SANNBAの会プログラム秋冬のアクティビティ	12～3月	4回	24人・延84人
	SANNBAの会プログラム・女性のための	12～3月	4回	24人・延65人
	SANNBAの会プログラム・産後ママエクササイズ	秋コース	3回	14人・延26人
	シュークリーム作り	7月	2回	20人・延40人
	くんせい作り	10月	1回	12人
	木目込み人形講座	11～12月	4回	10人・延34人
	ヘクセンハウス作り	12月	2回	10人・延20人
	ブッシュ・ド・ノエル作り	12月	2回	18人・延36人
	手書きメッセージカード講座	2～3月	3回	20人・延54人
	桃の節句ひな祭り寿司	2月	2回	27人
ブリザードフラワーのコサージュ作り	3月	1回	10人	
マカロン作り（親子主体）	2月	2回	31人	
そ の 他	運営委員会	11・3月	2回	10人
	利用者の会清掃（春・秋）	5・11月	2回	152人
	第27回仁科の里ピュアフエスタ	11月	1回	400人
	サークル1日体験	随時	5サークル6回	約26人
	ピュアコンサート	9月	1回	150人

(3) 施設利用状況（平公民館との合計）

ア 利用者数

利用者の区分 利用方法	総 数	女子労働者	勤 労 者 家庭主婦等	その他	備 考
総 数	21,820	4,582	15,274	1,964	
個 別 利 用	5,456	1,146	3,819	491	
グループ活動等 による団体利用	13,091	2,749	9,164	1,178	
そ の 他	3,273	687	2,291	291	

イ 年齢階層別利用者数

総 数	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50歳以上
21,820	1,527	2,618	3,055	14,619



木目込み人形講座



SANBAの会プログラムより



ブリザーブドフラワーでコサージュ作り



ヘクセンハウスでのお菓子の家

1 1 大町市文化財センター

(1) 施設

名 称	大町市文化財センター
所 在 地	大町市大町 4700 番地
電 話	0261-23-4760
施 設	鉄骨 2 階建て、1 階総面積 460.68 m ² 、2 階総面積 247.98 m ² 、 総床面積 738.66 m ² 1 階…展示室 219 m ² のほか事務室、研究室、保存作業室、収蔵庫。 2 階…学習室 94 m ² のほか資料室、整理作業室、収蔵庫（貴重品庫）。 学習室は、市民に開放し、講座などをおこない、資料室は市民の方々の知 りたい郷土の歴史等、情報資料の提供をする。
開 館	開館時間 午前 9 時～午後 5 時 休館日 毎週日曜日、国民の祝日、年末年始

おもな収蔵品

市内各地の遺跡出土品（常盤大崎遺跡、平一津遺跡、平上原遺跡など）
加藤朝鳥（文筆家）資料＜加藤寿々子寄贈品＞
市所蔵・寄託古文書
市所蔵絵画 など

1 2 国重要文化財旧中村家住宅

(1) 施設

名 称	国重要文化財旧中村家住宅
所 在 地	大町市美麻 17668
電 話	0261-29-2580
施 設	主屋（おもや）…木造平屋茅葺、総床面積 298 m ² 土蔵…木造二階建茅葺、総床面積 159 m ² 、展示施設、収蔵庫 管理棟…木造平屋建トタン葺、総床面積 33.924 m ² 、事務室、トイレ 国重要文化財の民家を公開。土蔵には、旧中村家及び美麻に関する歴 史的資料を展示・公開。
開 館	開館時間 午前 9 時～午後 5 時（入場は午後 4 時 30 分まで） 休館日 毎週月曜日・火曜日（月曜日・火曜日が休日の場合は翌日 及び翌々日）、12 月 1 日～3 月 31 日

13 社会教育施設一覧表

名称	所在地 電話番号	建築面積 (㎡)	休館日 開館時間	利用できる施設・設備	使用料・入館料 併設施設
大町公民館	大町1601-2 0261-22-9988	681.67	月曜・祝日の翌日 ・年末年始 8:30~21:30	第1会議室(14人) 第2会議室(25人) 学習室(24人) 視聴覚室(25人) 料理実習室(20人) 実習室(24人) 児童室(和室:15人) 講習室(和室:10人)	使用料金表による ◇文化会館 ◇勤労者福祉施設
	文化会館 サンアール ブス大町	6,478.03	月曜・祝日の翌日 ・年末年始 大ホール 9:00~22:00 大ホール以外 8:30~21:30	ホール(1,172席) 楽屋(4室/33㎡~82㎡) 練習室(3室/15㎡~38㎡) リハール室(94㎡) ほか 展示室(90㎡) 研修室(75人) 大会議室(200人) 小会議室(25人) 和室研修室(20人) 軽食喫茶室(40人)	使用料金表による ◇大町公民館 ◇スケートボードパーク
平公民館	平10352-1 0261-22-0694	996.63	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	講堂(300人) 実習室(16人) 会議室(15人) 視聴覚室(30人) 学習室(30人)	使用料金表による ◇女性未来館ピュア
女性未来館ピュア	平10352-1 0261-22-0694	614.46	火曜・祝日の翌日 ・年末年始 10:00~21:30	軽運動室(104㎡) 音楽室(20人) 講習室(2室/60人) 料理講習室(25人) 相談室・託児室・図書室・茶室	使用料金表による ◇平公民館
常盤公民館	常盤3601-18 0261-22-0321	1,264.70	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	学習室3室 研修室2室 視聴覚室 図書室 料理実習室 講堂	使用料金表による
社公民館	社3945-2 0261-22-0378	891.00	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	大研修室(300人) 研修室(50人) 会議室(15人) 展示室(4室)	使用料金表による ◇民俗資料館
民俗資料館	社3945-2 0261-22-0378		月曜・年末年始 8:30~17:00	作業室(20人) 資料室(20人)	使用料金表による ◇社公民館
大町公民館分室	大町1058-13 0261-22-0352	1,226.02	月曜・祝日の翌日 ・年末年始 8:30~21:30	会議室(15人) 講堂(130人) 研修室2室(50人) 学習室4室(90人) 視聴覚室(20人) 栄養指導室(30人)	使用料金表による
蔵の音楽室	大町2542-1 0261-22-0420	79.30	月曜・祝日の翌日 ・年末年始 8:30~21:30	1 F 演奏室 2 F 倉庫	施設利用料 1時間200円 冷暖房使用量 1時間100円
図書館	大町4710-6	1,726.94	月曜・最終の火曜日 ・祝日(一部開館) ・年末年始 3月~11月9:30~19:00 ~18:00 12月~2月9:30~18:00 (土・日) ~17:00	一般閲覧コーナー、児童コーナー プラウジコーナー、AVコーナー 地域資料室 視聴覚室(兼学習室50人)	
文化財センター	大町4700 0261-23-4760	738.66	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~17:00	展示室(1室) 学習室(40人) 資料室(1室) 整理作業室(2室)	無料
山岳博物館	大町8056-1 0261-22-0211	2,683.95	月曜・年末年始 但し7月・8月は無休 9:00~17:00	エントランスホール・展示室(5室) 講堂(100人) ミュージアムカフェ・ショップ 付属園(付属動物園) 山岳図書資料館	大人 400円 高校生 300円 小・中学生 200円 ◆30名以上の団体 大人 350円 高校生 250円 小・中学生 150円
勤労青少年ホーム	常盤5638-18 0261-22-7658	796.22	年末年始 9:00~21:00	軽運動室(20人) 調理実習室(30人) 談話室(20人) 音楽室(20人) 図書室(20人) 講習室(2室) 集会室(50人) ほか	無料(登録別)
同和教育集会所	常盤3601-18 0261-23-2001	131.98	必要に応じ随時開館	学習室(20人) 会議室(20人) 図書室(7人)	無料 使用申し込み 生涯学習課人権教育担当
ギャラリー・ いーずら	大町3300-1 0261-22-0420	120.00	水曜日 10:00~18:00	展示室(2室)	展示室(大)7,000円(小)3,000円 ◇いーずら特産館、3F遊企画ホール
八坂公民館	八坂1133-1 0261-26-2380	859.88	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	交流ホール(約100人) 会議室(2室) 図書コーナー	使用料金表による ◇コミュニティセンター・アキツ
コミュニティ センター・アキツ	八坂1133-1 0261-26-2380	859.88	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	交流ホール(約100人) 会議室(2室) 図書コーナー	使用料金表による ◇八坂公民館
美麻公民館	美麻11810-1 0261-29-2311	545.00	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	小会議室(6人) 中会議室(24人) 講堂(108人) 読書ストリート(1,400冊)	使用料金表による ◇美麻支所
旧中村家住宅	美麻17668-1 0261-29-2580	480.00	月曜・火曜 12月~3月 9:00~17:00	主屋、土蔵(見学・展示) (国重要文化財指定施設)	大人 300円、子ども 150円 一般団体 200円、小人団体 100円

IV 社 会 体 育



1 社会体育

社会体育基本方針

市民の皆さんが健康でいきいきとした生活を送るために、スポーツ活動は大変重要な役割があります。

現代の私たちは、高度な経済成長により「便利さ」を手に入れたものの、運動不足や精神的ストレス、一人暮らしなど、健康を維持するためには、必ずしも良い環境にない状況であり、更に少子高齢社会の進行により医療や介護費用が増加する中で、効果的な対策を効ずる必要があります。

幼児期から青少年期における運動能力の低下や、成人は運動習慣がなくなるなどの傾向が見られ、日常生活の中にスポーツ活動を効果的に取り入れながら、心と身体の健全な発達を図り、生活習慣病等を予防し、いきいきと健康な生活リズムを確立していくことが、これらの問題を改善し、今日の社会にとって、重要な役割を果たしていくものです。

様々なスポーツの体験や、身近で気軽にスポーツを楽しめる環境を整えるとともに、スポーツによる健康、体力づくりに向けた意識の啓発などにより「生涯スポーツ」を推進します。

(1) 平成27年度重点目標

- ア 市民を対象に「健康づくり」「体力づくり」「仲間づくり」のスポーツ施策の展開
 - (ア) 各種スポーツ大会の開催及びスポーツ教室の開催
 - (イ) スポーツ推進委員や地区公民館と連携したスポーツ教室の充実
(各種年代層に応じたスポーツ教室の開催)
- イ スポーツ少年団と連携し、青少年のスポーツ活動と健全育成の推進
- ウ 体育協会などスポーツ競技団体の育成支援と連携及び「大町スポーツクラブ」の活動支援
- エ 小中学校及び地域と連携したスポーツ活動の推進
- オ 体育施設利用者の利用マナー向上推進、利用者ニーズの把握
 - (ア) 利用調整会議・合宿調整会議の開催、施設利用実態調査の実施
- カ 安全で楽しく利用しやすい体育施設の整備充実と保守管理の徹底
 - (ア) 施設の状況に応じた計画的な維持管理改修
- キ 各種スポーツ大会の誘致、合宿利用の推進
- ク 各種スポーツ指導者の育成

(2) 事業計画

ア 各種スポーツ大会等の開催（主催大会）

開催月	大会名
7月	・市民スポーツ祭（夏季）
8月	・少年少女球技大会 ・木崎湖カップカヌー大会 ・復興支援サッカー大会
9月	・大北縦断駅伝大会の協力 ・大北スポーツ競技会
10月	・大町アルプスマラソン ・B & G会長杯争奪少年武道大会
1月	・市民スケート大会
2月	・市民スキー大会

イ 各種スポーツ教室の開催

年代別対象教室	教室名
幼児期	・運動あそび教室（年長児クラス）
児童・青少年期	・親子ふれあいスポーツ教室 ・小学生スキー教室 ・少年海洋教室 ・JFAこころのプロジェクト「夢の教室」
成年期	・ママさんフリータイム広場（夏季） ・カヌー体験教室 ・親子対象スポーツ教室 ・スキー、スノーボード教室
実年期	（運動の習慣づけのための教室） ・気軽に取り組めるニュースポーツ教室 ・健康づくりサークルなど ・ヨガ・ピラティス教室

ウ 姉妹都市スポーツ交流の開催

体育協会等と連携し立川市、氷見市、島田市とのスポーツ交流の派遣など

エ 体育協会等スポーツ団体との連携

- (ア) 体育協会事業全般にわたる支援
- (イ) 「大町スポーツクラブ」への支援
- (ウ) スポーツ少年団への支援、指導者の育成

オ 小中学校及び地域と連携したスポーツ活動の推進

- (ア) 学校授業、PTA及び地域のスポーツレクリエーション活動の受け入れと指導協力（海洋センターを利用したカヌー・ヨット体験活動、冬季の運動公園を利用した歩くスキー体験活動、歩くスキーの貸し出し、ニュースポーツ用品の貸し出しなど）
- (イ) 中学校部活動への支援（指導者の発掘、確保など）

カ 体育施設利用調整会議の開催

- (ア) 体育施設の有効利用と利用者のニーズの把握
- (イ) 大会行事等主催団体の利用調整（年1回）

(ウ) スポーツ合宿等のための市内旅館、民宿利用調整（年1回）

(エ) スポーツ活動通年利用団体の利用調整（年2回）

キ 体育施設の整備充実、保守管理

(ア) 運動公園及び市内体育施設の保守管理、清掃の徹底

(イ) 体育施設管理員及び学校施設開放と連携のとれた保守管理の実施

(ウ) 弓道場水洗化工事

(エ) B&G海洋センター艇庫トイレ等改修工事

(キ) 運動公園陸上競技場スタンド前補修工事

ク 各種スポーツ大会の後援及び支援協力

(ア) ソフトバレーボール北信越フェスティバル大町大会

(イ) 全国選抜少年サッカー大町大会

(ウ) 北信越高等学校総合体育大会サッカー競技大会など

ケ 各種スポーツ指導者の育成

コ その他の施策

(ア) 総合体育館の有効活用の推進

① トレーニングルーム利用講習会の開催（毎月2回）

② スポーツ情報コーナーの活用推進

③ 大町市公共施設予約システムの導入、運用

(イ) 北アルプス北部地区山岳遭難対策協会との連携

① 遭難防止夏山常駐隊活動への協力

② 人命救助用ヘリポートの管理（消防防災課や警察等関係機関との調整）

(3) 体育施設
(社会体育施設)

NO	名	称	位 置	開設年	面 積	利 用 競 技 種 目
1	西 公 園	運 動 場	大町市大町4687	S42年	12,198.02㎡	野球(2面)・ソフトボール(2面)・ゲートボール(2面) スケートリンク(1面)・ナイター照明
2		体 育 館	〃	S42年	966.24㎡	バレーボール(1面)・バドミントン(3面)・空手道 バスケットボール(1面)・剣道
3		陸上競技場		S53年	21,755㎡	フィールド内(ゲートボール16面)・サッカー(1面)
4		メインスタンド棟		S52年	1,097㎡	収容メインスタンド1,400人、芝スタンド4,000人
		サッカー場			12,401㎡	更衣室(2)・倉庫(3)・役員室(1)・事務室(1)・医務室(1)・便所ほか (1面)
		メインスタンド棟		S52年	739㎡	収容メインスタンド743人、芝スタンド2,000人
5	運動公園	総合体育館		S63年	4,863.01㎡	大アリーナ(1,627㎡)、小アリーナ(558㎡)、ランニングコース(170m)、 バレーボール(4面)、バドミントン(13面)、バスケットボール(3面)、卓球(20台)、 体力測定室ほか
6		マレットゴルフ場		S57年	36ホール	ギヤラリー(固定席544)・収容人数2,500人
7		こども広場		S62年	900㎡	北コース 18ホール(パー72) 南コース 18ホール(パー72)
8		弓道場		S62年	609.22㎡	遠的(1面)・近的(1面)
9		多目的広場		S62年	255.57㎡	射場129.6㎡、的場44.82㎡、6人立、更衣室81.15㎡
10		庭球場		S56年	2,815.74㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・サッカー(1面)・ナイター照明(2面分)
		全天候		S58年	2,908.8㎡	クレー(4面)・ナイター照明
		野球場		S61年	12,677.232㎡	野球(1面)
11		メインスタンド棟		S61年	704.09㎡	収容人数 スタンド562人、内野階段スタンド352人、内野芝生スタンド1,070人、 外野スタンド2,616人、更衣室(2)・事務室(1)・本部席(1)・放送室(1)・便所ほか
12		屋内運動場		H6年	987.13㎡	運動場(925.44㎡)・ゲートボール(2面)・テニス(1面)・ミニサッカー(1面)
13		多目的芝生広場		H25年	2,700㎡	ゲートボール(2面)・グラウンドゴルフ(1面)
14		体育研修センター		H27年	796.22㎡	軽運動室・会議室
15	平 野	球 場	平9539-3	S35年	10,550㎡	野球(1面)
16	平 運	動 場	〃 9370-1	S52年	12,071㎡	ソフトボール(2面)・サッカー(1面)・ナイター照明(ソフトボール1面分)
17	平 ゲ	ー ト ボ	ー ル 場	S57年	1,550㎡	ゲートボール(2面)
18	B & G 海 洋	体 育 館	〃 10352-2	S54年	1,627.8㎡	第1体育館(747.3㎡)・バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(3 面)・テニス(1面)・卓球(4台)・第2体育館(524.7㎡)・柔道(50畳)・空手道・剣道
19	セ ン タ ー	艇 庫	〃 9707-2	S54年	450㎡	カヌー(27)・OPヨット(14)・12ftヨット(2)・カッター(2)・ボードセーラー(9)ほか
20		多目的広場	社3945-3	S57年	11,279㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・ナイター照明
21	常 盤 運 動 場	常盤3516-38	〃 3945-3	S42年	9,845.41㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・ナイター照明
22	や し ろ 公 園 運 動 広 場	社8200	〃 8200	H8年	5,000㎡	ソフトボール(1面)・ナイター照明
23	八 坂 運 動 場	八坂8408	〃 8408	S50年	11,000㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・ナイター照明
24	八 坂 テ ニ ス コ ー ト	〃 8408	〃 8408	S50年	1,636㎡	人工芝(2面)・ナイター照明
25	八 坂 ト レ ー ニ ン グ セ ン タ ー	〃 11642	〃 11642	S58年	1,703㎡	バスケットボール(1面)・バレーボール(2面)・バドミントン(4面)・卓球室
26	八 坂 山 村 広 場	〃 14850-120	〃 14850-120	S60年	6,000㎡	ソフトボール(1面)・ナイター照明
27	八 坂 ゲ ー ト ボ ー ル 場	〃 14850-120	〃 14850-120	H5年	1,467㎡	屋内ゲートボール(1面)
28	八 坂 マ レ ッ ト ゴ ル フ 場	〃 8411-2	〃 8411-2	H5年	9,600㎡	18ホール
29	美 麻 運 動 場	美麻14239	〃 14239	S48年	6,492㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・各種スポーツ
30	美 麻 丸 山 運 動 場	〃 13707	〃 13707	H4年	28,873㎡	ネットなし：野球(2面)・ソフトボール(2面)・サッカー・ラグビー(1面)
31	美 麻 テ ニ ス コ ー ト	〃 14250-1	〃 14250-1	H3年	5,857㎡	人工芝(6面)
32	大	塩	〃 3366	S62年	1,171㎡	屋外(1面)
33	美 麻 ゲ ー ト	見	〃 28751-1	S57年	2,531㎡	屋外(2面)・ナイター照明
34	二 重 屋 内	〃 8410	〃 8410	H5年	1,411㎡	屋内(1面)
35	美 麻 ト レ ー ニ ン グ セ ン タ ー	〃 11690-1	〃 11690-1	S56年	650㎡	バスケットボール(1面)・バレーボール(1面)・バドミントン(3面)

(学校施設)

名	称	位 置	面 積	利 用 競 技 種 目
1	大 町 東 小 学 校 運 動 場	社6700	12,067㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)
2	大 町 西 小 学 校 体 育 館	大町4773-3	1,002㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(2面)・バドミントン(2面)
3	大 町 南 小 学 校 運 動 場	常盤3543-1	13,169㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・サッカー(1面)
4	大 町 北 小 学 校 体 育 館	大町5806-8	1,486㎡	バレーボール(2面)・剣道・空手道
5	大 町 東 小 学 校 運 動 場	八坂1090	16,275㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・サッカー(1面)・テニス(1面)
6	大 町 西 小 学 校 体 育 館	美麻27503	1,247㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(2面)
7	大 町 北 小 学 校 運 動 場	大町4528	10,215㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・サッカー(1面)
8	大 町 東 小 学 校 体 育 館	大町3759	982㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・サッカー(1面)
9	八 坂 小 学 校 運 動 場	八坂11648	8,190㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(3面)
10	八 坂 小 学 校 体 育 館		1,027㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・サッカー(1面)
11	美 麻 小 学 校 運 動 場		12,878㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・サッカー(1面)
12	美 麻 小 学 校 体 育 館		1,227㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(2面)
13	第 一 中 学 校 運 動 場		12,455㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・サッカー(1面)
14	第 一 中 学 校 体 育 館		4,073㎡	バレーボール(4面)・バスケットボール(3面)・卓球(10台)
15	仁 科 台 中 学 校 運 動 場		14,198㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・サッカー(1面)
16	仁 科 台 中 学 校 体 育 館		1,487㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(2面)
17	八 坂 中 学 校 運 動 場		9,388㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・サッカー(1面)
18	八 坂 中 学 校 体 育 館		1,198㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(4面)

※東小体育館では、バスケットボールとバレーボールは女子と中学生以下の男子に限り使用できる。

(4) 体育施設の利用状況

(人)

施設名	平成24年度	平成25年度	平成26年度
大アリーナ	28,998	34,531	31,299
小アリーナ	14,931	16,719	14,419
トレーニングルーム	2,793	2,926	4,276
陸上競技場	16,002	10,337	11,797
サッカー場	1,602	8,988	6,437
クレール庭球場	4,261	4,999	4,581
全天候庭球場	15,074	22,291	21,275
野球場	4,167	6,790	4,501
マレットゴルフ場	14,399	13,986	14,357
弓道場	1,948	2,895	2,878
多目的広場	14,715	13,658	17,806
屋内運動場	18,371	17,055	17,840
多目的芝生広場	—	360	1,049
会議室	865	1,079	1,285
B & G 第一体育室	11,507	5,051	7,990
B & G 第二体育室	4,155	518	3,589
B & G 多目的広場	3,968	1,909	4,166
社公園運動広場	6,387	7,025	7,370
西公園体育館	16,768	13,158	10,574
西公園運動場	10,500	7,794	7,999
平野球場	4,408	3,797	2,495
平運動場	10,310	7,307	9,142
常盤運動場	9,830	4,766	7,140
東小体育館	7,510	8,585	10,696
西小大アリーナ	13,590	15,430	15,440
西小小アリーナ	3,823	1,917	717
南小体育館	9,927	4,792	4,801
北小体育館	4,965	2,739	3,342
一中大アリーナ	9,351	9,326	8,094
一中小アリーナ	1,808	1,834	1,362
仁中体育館	7,650	7,904	8,480
仁中柔剣道室	860	669	643
東小グラウンド	1,415	921	864
西小グラウンド	944	566	370
南小グラウンド	1,310	580	200
北小グラウンド	8,015	4,615	696
一中グラウンド	60	0	60
仁中グラウンド	680	460	200
B & G 艇庫	1,542	681	1,058
八坂運動場	690	511	625
八坂テニスコート	0	52	10
八坂マレットゴルフ場	30	0	50
八坂トレーニングセンター	3,904	5,002	5,529
八坂山村広場	18	12	30
八坂ゲートボール場	1,849	1,290	1,193
八坂小学校グラウンド	500	337	375
八坂小学校体育館	890	543	360
八坂中学校グラウンド	318	12	0
八坂中学校体育館	420	0	0

(人)

施設名	平成24年度	平成25年度	平成26年度
美麻運動場	325	803	1,752
美麻丸山公園運動場	160	670	1,210
美麻テニスコート	1,685	1,745	2,237
美麻トレーニングセンター	1,622	2,308	3,454
大塩屋外ゲートボール場	360	540	260
二重屋外ゲートボール場	0	0	0
二重屋内ゲートボール場	320	1,259	938
千見屋外ゲートボール場	300	575	260
美麻小中学校校庭	678	460	390
美麻小中学校体育館	509	208	210
合計	303,987	285,285	290,171

(5) スポーツ大会等開催状況

(平成 26 年度)

スポーツ大会等名	実施日	実施場所・内容	参加者数
平成 26 年度 市民スポーツ祭 夏季大会 (体協共催)	7 月 7 日 7 月 13 日	開会式 運動公園陸上競技場 市内体育施設 16 か所	1,566 人
平成 26 年度 少年少女球技大会	8 月 3 日	開会式 運動公園総合体育館 野球 2 チーム 男子ソフトバレー 11 チーム 女子ソフトバレー 12 チーム	142 人
おおまびよんカップ 女子サッカー大会 ～福島県復興支援～	8 月 9 日 ～10 日	会場 運動公園サッカー場・ 陸上競技場・多目的広場 参加 12 チーム (福島県から 2 チーム招待) (主催 おおまびよんカップ女子 サッカー大会実行委員会)	269 人
第 64 回 大町市民登山	9 月 5 日 ～7 日	槍ヶ岳縦走 (雨天等のためコース変更)	35 人
第 13 回 大北スポーツ競技会	9 月 21 日	開会式 運動公園陸上競技場 市内体育施設 11 か所、10 競技	1,500 人
第 31 回大町 アルプスマラソン	10 月 19 日	開会式 運動公園陸上競技場 (主催 アルプスマラソン実行委員会)	3,749 人
第 36 回 B & G 少年武道大会	10 月 13 日 11 月 2 日	会場 B & G 体育館ほか 柔道 22 人 剣道 43 人	65 人
平成 26 年度 市民スケート大会 (天候不良により中止)	平成 27 年 1 月 25 日	会場 西公園スケート場 分館対抗によるスケート競技 (競技主管 大町市スケートクラブ)	90 人
平成 26 年度 市民スキー大会	平成 27 年 2 月 15 日	会場 鹿島槍スキー場 分館対抗によるアルペン大回転競技 (競技主管 大町市スキークラブ)	138 人 (申し込み数)
第 3 回 ワンバウンドふらば ーるバレー大会	平成 27 年 3 月 15 日	会場 仁科台中学校体育館 参加 6 チーム (主管 大町市スポーツ推進委員会)	60 人

(6) スポーツ教室の開催状況

(平成 25 年度)

教室名	実施期間 (回数)	実施場所・内容	参加者数
健康づくり サークル	6月22日 ～3月15日 (全14回)	会場 運動公園、文化会館ほか 内容 ウォーキングほか 指導者 スポーツ推進委員	21人
ママさん フリータイム広場	6月27日 ～7月25日 (全5回)	会場 総合体育館大アリーナ 内容 キンボールほか 託児所による子ども預かり(28人) 指導者 スポーツ推進委員	30人
運動遊び教室A (年長児クラス) 午後3時20分～	5月27日 ～10月7日 (全15回)	会場 総合体育館、陸上競技場 内容 フロアリズム運動 指導者 スポーツ推進委員ほか	27人
運動遊び教室B (年長児クラス) 午後4時25分～	5月27日 ～10月7日 (全15回)	会場 総合体育館、陸上競技場 内容 フロアリズム運動 指導者 スポーツ推進委員ほか	40人
ピラティス 体験教室	9月5日 ～9月19日 (全3回)	会場 総合体育館小アリーナ 内容 ピラティス 指導者 市川智恵	35人
親子ふれあい スポーツ教室	11月7日 ～12月12日 (全6回)	会場 総合体育館大アリーナ 内容 ニュースポーツほか 指導者 スポーツ推進委員	50人
小学生スキー教室	1月24日 1月31日 (全2回)	会場 爺ガ岳スキー場 内容 小学生対象スキー教室 指導者 スポーツ推進委員	60人
スキー・スノボ・ク ロスカントリー教 室 with ママさん フリータイム広場	1月26日 ～2月16日 (全4回)	会場 爺ガ岳スキー場ほか 内容 母親対象スキー教室 託児所による子ども預かり(16人) 指導者 スポーツ推進委員	45人
ワンバウンドふら ばーるバレー教室	2月27日 ～3月13日 (全3回)	会場 西公園体育館 内容 ワンバウンドふらばーるバレー 指導者 スポーツ推進委員	60人
海洋性スポーツ 体験教室	5月23日～ 8月23日 (全13回)	会場 B&G海洋センター艇庫 内容 カヌー、OPヨット等	252人

2 勤労青少年ホーム（平成27年3月31日廃止）

市内に居住もしくは勤務する、主として30歳以下の勤労青少年を対象にした福祉施設で、サークル等の余暇活動の場として利用を進め、勤労意欲の増進および利用者間の交流を図る。

（1）施設

名 称	大町市勤労青少年ホーム
所 在 地	大町市常盤 5638-18
電 話	0261-22-7658
構 造	鉄筋コンクリート一部2階建 床面積 796.22 m ²
各 室	第1講習室、第2講習室、第1集会室、第2集会室、音楽室、 図書室、料理実習室、娯楽談話室、相談室、軽運動室、 管理人室、事務室
開 設	昭和50年5月8日
開 館	開館時間 午前9時～午後9時 休館日 年末年始（12月29日～1月3日）

（2）平成26年度利用状況

施設名	利用者数（人）
1階会議室	902
第1・2集会室	1,291
第1講習室	45
第2講習室	40
図書室	22
音楽室	98
軽運動室	1,430
ロビー	12
計	3,840

V 資 料 集



平成27年度 教 育 要 覧

平成28年3月発行

発 行 大町市教育委員会

TEL 0261-22-0420

FAX 0261-23-7001
